事務事業分析シート(令和5年度) No1 事務事業コード 01-01-01 戦略プラン ○ 協働 ○ 業務 ○ 財務 〇人事 部課名 総務企画部総務企画課 課長名 中野 事務事業名 政務活動費 担当者名 渡辺 2224 内線 01-05-01 政務活動費 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(5年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 (○5年度 ○4年度 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業)年度 地方自治法第100条第14項から第16項、荒川区議 開始年度 2001 根拠 平成 13 年度 終期設定 法令等 会政務活動費の交付に関する条例ほか ○ 有 ● 無 実施基準 ● 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ○計画 分野 VII 計画推進のために 行政評価 区民の主体的な区政参画と連携強化 政策 13 事業体系 施策 04 議会運営 区議会各会派に対して調査研究その他の活動に必要な経費の一部を交付することにより、各会派の調査 研究その他の活動を通した区議会の一層の活性化を図ることを目的とする。 目的 区議会各会派(1人会派を含む。) 対象者 区議会議員の調査研究その他の活動に要する経費の一部とし、区議会各会派に対し政務活動費を交付 (交付対象) 区議会各会派 (交 付 額) 各月の1日における会派の所属議員数に月額8万円を乗じた額 (交付方法) 議長から区長への会派に関する届出の通知に基づき交付決定し、各会派からの請求に基づ いて半期ごとに交付する。 (使途基準) 議員の調査研究その他の活動に要する経費のうち、研究研修費、会議費、調査旅費、 内容 通信運搬費、資料作成費、資料購入費、広報費、広聴費 (収支報告) 各会派の経理責任者が、翌年度の4月30日までに収支報告書、実績報告書及び領収書の原 本等を議長に提出する。議長はその写しを区長へ送付する。 還) 交付を受けた政務活動費に残余があれば返還する。 荒川区議会政務調査費の交付に関する条例施行 平成13年4月 平成19年4月 議員提案により条例改正 (①額の改定 (所属議員1人当たり月額16万円→8万円) ②使途基準の厳格化③領収書の原 本の提出の義務化等) 地方自治法等の改正に伴い、政務活動費へ名称変更 平成25年3月 令和 3年7月 行政手続の簡素化等の観点により実施している押印省略の取組に基づく様式変更に伴 経過 い、条例改正

各会派の調査研究等のために必要な経費である。 必要性

実施 方法

3

(1直営

○ 会計年度任用職員)

(直営の場合 ● 常勤職員

 事務事業の分類
 分類についての説明・意見等

 5年度
 引き続き適正に管理していく。

 継続
 継続

状

事務	事業	美コード		01-01-0	2				略プラン			〇業		財務	○人事
事務	事業	美名		公益通幸	₈ 者保護制			担当	者名 涯	辺	画部総務	企画課	課長名 内線		中野 2224
		を構成する事業コー			01-0	2-09	公益通	设者保護	制度事	業費			-		
					(0 5 4		45-		0.7	·	NII.		1	1 - 666	6 4 1 11
				·規事業 	(〇 5年		4年度) += +n		上設事			それ以外		
開始。終期記			平成		200	5)	年度 年度	根拠 法令等					区外部2 益通報3		報事務手
実施表				●無 令基準内	1	其淮内	●区独			区分	九川四明	〇計		●非	
			分里			生進のた		日本年		区刀		O fil	<u> </u>	● 카	前凹
		評価	政領				情報の多	作品と信	頼される	5区政(の推進				
手	・美	体系	施領				公正な執		12.0		7,2,0				
		公益通報							は員を雇.	用する	事業者	として	の区とい	いう2 つ	の立場か
目的	,				受付・処					の保護	を図る	ととも	に、行政	運営	の公正の
	י	確保と透	5明性(の向上及	び事業者	の法令選	要守の推	進を図る	0 0						
		F +0 //	- 	+0 +/ 1 //	* 'Z +n +	· /□ =# \⊥	* 0 & ** **		1 7 W	1±1 +y)亡,中,14	I=1 +y /	<u> </u>	+- \	/π. □
対象:	者				·益通報者 区の出資										
等					送の面貝										
				<u>貝ラル事</u> 公益通報		マクは7	(本只)		710亿日	- <u>-</u> -100	人民人	10 化木	<i>只∖</i> (C Ø.	, , , , , ,	P /
					』 づき、区	内の事業	業者の法	令遵守を	推進し	、外部	3公益通	報者保	護を図る	。 ため.	、要綱に
		基づき、	通報	を受ける	体制を整	えている	る。また	、外部公	`益通報						
					公益通報	アドバイ	イザーを	設置して	いる。						
				らの公益			May 1. =		. , , .				\ = +□ .		v = 1 +
内容	ř				と透明性							の公益	通報につ	いて	必要な事
		頃を正め)た安:	棡を制正	し、公益	:	父貝に よ	つ 囲 報 窓	口を設	直して	いる。				
		平成17年	10日	1日 芸1	区職員等	全小益 通	報宝施理	網施行							
		平成18年			区職員				改正(訓	調査に む	おいて、	事実に	は認めら;	れない	もの
			• •		改善の。									. •	
		平成18年			益通報者 (
		平成18年			区外部					145					
経過	1	平成22年	- 9月		区職員等		報実施男	と	汝止(▷	との措証	重を不」	上防止多	受員会に	報告す	්ර
		平成31年	1日		と等を追加 ロロリング		事 終手続	· 英細及7	が芸川区	で職員等	等小益证	4 報字的	π更細— ∶	机水市	:
		1 /2,017	- 7/1		報受付時									마ၒ	-
		令和4年	6月		区外部									部改正	_
				(保	:護される	対象者及	及び通報	内容を拡	大する	ととも	に責任	者等の	規定を追]加)	
		公益通	報者	保護法に	より、処	分権限 3	を有する	行政機関	におい	て、诵	報の受	付及び	適正処理	が義	務付けら
必要怕	#				員等から										
		要である) 。												
		(<mark>1直営</mark>	ı)	(直堂の地	易合 ●	党勤職員) 会計:	年度任月	田職員)		
実施					者を「外									てい	る。
方法	-	71 HX -1	- 22 111	C 11 / W	пс /I	HP	<u> </u>		, 20		L X T T T T T	בייענו	1-5740		•
								指標の推	隹移						
指		事務事業	の成り	果とする	指標名		I	l	5年度	T ⊟ t	標値	1	指標に関	する記	说明
刊						2年度	3年度	4年度	見込み		F度)				
		TH 1	Tπ <i>Μ</i> z 🖶	+			1	1		, ,	1				
	\bigcirc	職員向ける	咁 修夫	:他凹釵		I					1				
	2	PR (区	報・職	員報掲載)	2	2	2		2	2				
標	٧		TIX 1194		,			۷		1					
	3														
	_	古 致	市娄 Λ	ハノン米石											
	Е		尹未り	0分類	由			:	分類につ	いて	の説明・	: 意見等			
	5	年度		6年)		21-4-4	生土生中	(人) 次上ゴナ	シ軍中ナ	図フ ロ	- l- + !-	生山市	の田たい	- 女マ u	Z
						51ざi	続き制度	の適切る	・理用を	凶ると	_ C + 1 -	、利及	い向知し	-分(4)	ବ
	á	継続		継糸	売										

												/ <u>124</u>	No2
予 質	. :			29年度	ŧ I	30年度	T =		2年度	Ŧ T	3年度	(<u>里</u> 4年度	位:千円) 5年度
予算		八开识寸07正19		95		952	_	5 平 /文 952		52	631	165	165
		(5年度は見込み)		60		600		626		0	0	0	165
実		事項名(5年度は見込	み)	29年度	ŧ	30年度	Ī	亡年度	2年度	ŧ	3年度	4年度	5年度
績	処	理件数			0	0			0	0	0	C	
の													
推													
移													
予算	• %	文 算の内訳											
		令和3年度(決算)		h-h-	令和	04年度 (-h-		F度(予算	
節		主な事項	金額(千円)	節	+ロ =火	主な事	<u> </u>		金額(千円)	節		<u>な事項</u>	金額(千円)
報償	〔	相談謝礼ほか	0	報償費	相談	謝化			0 軒	資費	相談謝礼	·L	165
												(単	位:千円)
		勘定科目	3年度	4年	F度	差額			助定科目		3年度	4年度	差額
		給与関係費	4	68	472		4		方税等		0	C	_
行		物件費		0	0		0		車支出金		0	0	
) 1]		維持補修費		0	0				支出金		0	C	
		扶助費		0	0		U	ᆘᄭᄁ	金及び負担		0	0	
ス		補助費等		0	0		0	^	別料及び手数	以料	0	0	
-	費田	減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0		0		の他 女収入合計	(0)	0	(
計	т	「一个例の技・負担の日本機の報 賞与・退職給与引当金繰入額		99	25		٠.		<u>X 収入 古 計</u> 差額 (a) - (b):		<u> </u>	▲ 497	•
算		その他行政費用		0	0				又支差額(0	497	
書		行政費用合計(b)	5	67	497		_		差額(c)+(d):		▲ 567	▲ 497	•
	特	別費用(g)		0	0				又入(f)	(-)	0	(
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				支差額(e)+	(h)	▲ 567	▲ 497	70
備考		制度の運用に携わる職員 、補助費等が発生してし		関係費を	主な	内容とし	てし	いる。	公益通報	相談員	員への相 認	炎等実績が	なかったた
問題点・課題	職	外部からの公益通報に対します。 員向け研修等の一層の対 区民や区職員、区の事務。	た実を図	る必要が	ぎある	0							
	上	· 課題の改善策											
问起	只 '	・誄越の以苦束 								1			
		令和4年度に取り約 具体的な改善内3	容			和4年度						度以降に取 的な改善内	
		法改正の内容を周知する							ハて、適				に対し、適
(1)		、公益通報に対する適宜							正の内容				内容等の充
	凶る	るため、引き続き研修る	₹元 9	に対。 た。	ルいしん	こ職員向	717	じてき	天心し	表を		、啾貝門「	け研修を実
			<u> </u>		+	- 1 · ·	. 0		<u>+</u> +=				14 +4 F-
2	知	区民、区職員へ法改正の するとともに、受託業者 の周知方法の充実を図る	者等への	制職員	向ける	区ホーム・ 研修におり き周知を	いて	、法	丁内報、 改正に対		氏、凶職 度の周知		業者等へ広
3													
,他		(実施 22	区	未実	施	0		区	不明		0	区)	
施 状況 の実	窓	口は全区設置済み											
没の		綱制定15区、条例制定6	区、要網	等未制	定1区								
が実			, , , , , , ,										
 況議													
△ 会													
要旨)													
) 状													
_					_			_		_			 .

						事	務事	業	分札	斤シ	_	 	(=	合和	5 ^左	丰度	(圣							
古致	丰 业	ミコード		101	-01-														₩3	k	0	口工 交友		o1
							르 보다표비소	± TL 18	4人小小	金金	~		課名	プラン <mark>治</mark> 総	務企)協 画部			業別課			財務	中里	<mark>)人事</mark>
事務	争录	€名		特	別垌	Z 議 与	員報酬等							名犬						内	線		219	1
		を構成す 事業コー					01-0	02-02	牛	寺別職	議員	報酬	州等力	及び糸	料審	議会	<u></u>							
事務	事業	きの種類	0 }	新規:	事業		(〇 5年	∓度	O 4	年度)			〇建	設事	業			•	それ	以外	· の 組	継続事	業
開始	年度	Ę	昭和	□ 3	39	(196) 左	F度	根			荒川			議員	報西						
終期			_	有 ●		+	(###		度		令等				737 J.5W	µтх 5-							
実施				<u>法令</u> 野		VII		基準内 推進の			日型	华		計画	区方			O	計画	<u> </u>		●非	計画	
		評価		<u>五</u> (策		14		的な区			発信	と信	頼さ	れる	区政	の推	進							
寻	**	体系		策		03		の適正																
目白	勺	区議会 料の額に る。					及び区 で構成																	
対象等		区議会	議議	∄ 、[2	玄議	会各	·会派、	区長、	副印	区長、	教育	長												
内容	4/1	・員・長・長舗審及委開議の長期議が関する。	学及で 内容に 女育・ は、 [び給料 は、 E 長の約 区内の	料の蒸業給料の	額法の無い	ついて 員の議 iとする i団体等	、審議 員報 か。 「の代表	議会(州及(長者-	の意見 び区議 その他	を聴 会各 !区民	く 会 こ の	もの 派に うち	とする 対し3 から[る。 を付す 区長 が	ナるi が委!	政務 属す	活動 る者	b費0 f (1	D額:	並び 以内	に区) で	長、	副区
経道		昭和39年 平成13年 平成19年 平成24年 平成27年	E度E度E度	政条条係を	〉务列列列教師調ののの育	時査名一一長の一番の	職審を変改改給輸会議(((の)	議対 開催 (自治治 (自地 (自) (自) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	に追加 法改〕 法改〕 と改育の との)	加 正に伴 正に伴 行政の	う変との	を更) な正 な及び	:「i び運'	営に関	目する	る法(律の	改正	日に作	¥∂ī	改正			
必要′	性	荒川≧ する条例					等及び しよう															給料	-の額	に関
 実が	<u>뉴</u>	(<mark>1直営</mark>	, I)	(直営の	か場 [・]	合	常	勆職	員	0	会計	年度	复任)	用職	員))				
天 方 																								
											指標	票の	推移	,										
指	:	事務事業	の成	え果と	:す	る指導	標名	2年月	臣 :	3年度	44	丰度		年度 込み		標値 年度			指	標(こ関す	する	説明	
	1																							
標	2																							
	3																							
		事務	事業	の分	類								八坐	51- ~	<u></u>	Λ=	400	<u></u>	日生					
	5	年度				年度							分到 	原につ	いて	の訪	4明	· 息. 	兄寺					
	4	继続			¥	米続		人 する。		員会 <i>€</i>	勧告	- の[内容	や社会	会経済	斉情:	勢等	を路	また	₹、	適宜	審議	会を	開催

継続

継続

No2 (単位 : 千円) 元年度 予算・決算額等の推移 29年度 30年度 2年度 3年度 4年度 5年度 予算額 294 221 221 150 285 221 68 決算額 (5年度は見込み) 59 0 44 51 50 0 150 事項名(5年度は見込み) 29年度 2年度 30年度 元年度 3年度 4年度 5年度 実 審議会開催回数 0回 1回 0回 績 1回 1回 1回 2回 の 推 移 予算・決算の内訳 令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予算) 金額 (千円) 節 主な事項 節 主な事項 金額 (千円) 節 主な事項 金額 (千円) 委員報酬 138 **極好** 委員報酬 48 委員報酬 0 報酬 報酬 旅費 0 9 旅費 委員旅費 旅費 委員旅費 委員旅費 需用費 賄 需用費 賄 0 需用費 賄 3 (単位:千円) 勘定科目 3年度 4年度 差額 勘定科目 3年度 4年度 給与関係費 1, 452 472 **▲** 980 地方税等 物件費 **▲** 2 0 0 0 国庫支出金 0 行都支出金 行 維持補修費 0 0 0 0 0 0 郡支出金 収 分担金及び負担金 使用料及び手数料 政 行扶助費 0 0 0 0 0 0 \Box 0 0 0 政補助費等 0 0 0 ス 費減価償却費 0 0 0 0 0 0 その他 ۲ 行政収入合計(a) 用不納欠損・貸倒引当金繰入額 0 0 0 0 0 0 計 297 25 272 行政収支差額(a)-(b)=(c) 賞与・退職給与引当金繰入額 751 497 254 その他行政費用 0 n 0 金融収支差額(d) U n n 行政費用合計(b) 1. 751 497 1, 254 通常収支差額(c)+(d)=(e) 751 **▲** 497 254 1. 特別費用(g) 0 0 0 特別収入(f) 0 0 特別収支差額(f)-(g)=(h) 0 0 0 当期収支差額(e)+(h) **▲** 497 751 1, 254 審議会委員報酬のほか、事務局職員の給与関係費を主な内容としている。なお、令和4年度は審議会を開催 しなかったため、給与関係費及び物件費が減少している。 問 題 点 課 題 問題点・課題の改善策 令和4年度に取り組む 令和4年度に実施した 令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容 改善内容および評価 具体的な改善内容 1 2 3 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 施状況の実 況議 〜会 要質

旨問状

מכל	4									
	車攻車業の	出田しまて七冊々			指標の推			151年17日子で設定		
指	争伤争未の	成果とする指標名	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	指標に関する説明		
	1									
標	2									
	3									
	事務事	業の分類								
	5年度	6年度						I 本元寸		
			23区共同で効率的に事務を行う。							

継続

継続

No2 (単位 : 千円) 元年度 4年度 予算・決算額等の推移 29年度 30年度 2年度 3年度 5年度 予算額 500 500 500 500 500 500 500 決算額 (5年度は見込み) 500 500 500 500 500 500 500 30年度 2年度 事項名(5年度は見込み) 29年度 元年度 3年度 4年度 5年度 実 績 分担金の額 500 500 500 500 500 500 の 推 移 予算・決算の内訳 令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予算) 主な事項 主な事項 節 金額 (千円) 節 金額 (千円) 節 主な事項 金額 (千円) 負担金補助等 500 負担金補助等 分担金 500 負担金補助等 分担金 500 (単位:千円) 勘定科目 3年度 4年度 差額 勘定科目 3年度 4年度 給与関係費 187 地方税等 0 物件費 0 0 0 0 国庫支出金 0 行都支出金 行 維持補修費 0 0 0 0 0 0 政 が が担金及び負担金 使用料及び手数料 政 行扶助費 0 0 0 0 0 \Box 500 500 0 0 政補助費等 0 0 ス 費減価償却費 0 0 0 0 0 0 その他 ۲ 行政収入合計(a) 用不納欠損・貸倒引当金繰入額 0 0 0 0 0 計 40 賞与・退職給与引当金繰入額 10 30 行政収支差額(a)-(b)=(c) 699 28 その他行政費用 n 0 0 金融収支差額(d) 0 0 0 行政費用合計(b) 727 699 28 通常収支差額(c)+(d)=(e) 727 **▲** 699 28 $\overline{\mathbf{A}}$ 特別費用(g) 0 0 0 特別収入(f) 0 0 0 特別収支差額(f)-(g)=(h) 28 0 0 0 当期収支差額(e)+(h) **▲** 699 補助費等は特別区協議会への分担金である。 考 問 題 点 課 題 問題点・課題の改善策 令和4年度に取り組む 令和4年度に実施した 令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容 改善内容および評価 具体的な改善内容 1 2 3 施状況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 況議 〜会 要質 旨問

状

,									
	車攻車業の	成果とする指標名			指標の推			指標に関する説明	
指	争伤争未の	风米 と 9 る 拍 保 石	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	拍标に関する就労	
	1								
標	2								
	3								
	事務事	業の分類	- 分類についての説明・意見等						
	5年度	6年度			•	カ灰に ノ	ひ・この方式の	· 本元寸	
			23区	共同で効	率的に事	務を行う	ð 。		

継続

継続

No2 (単位 : 千円) 元年度 予算・決算額等の推移 29年度 30年度 2年度 3年度 4年度 5年度 予算額 151, 010 153, 010 171, 010 175, 540 175, 540 175, 540 175, 540 決算額 (5年度は見込み) 151, 010 153, 010 171, 010 175, 540 175, 540 175, 540 175, 540 29年度 30年度 2年度 3年度 4年度 5年度 実 事項名 (5年度は見込み) 元年度 151, 010 153, 010 171, 010 175, 540 175, 540 175, 540 175, 540 績 区分担金の額 の 事務組合一般会計歳入に占める分担金の割合 0.474 0.513 0.546 0.558 0.575 0.570 0.610 推 移 予算・決算の内訳 令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予算) 主な事項 主な事項 節 金額 (千円) 節 金額 (千円) 節 主な事項 金額 (千円) 175, 540 負担金補助等 分担金 175, 540 負担金補助等 分担金 175, 540 負担金補助等 (単位:千円) 勘定科目 3年度 4年度 差額 勘定科目 3年度 4年度 給与関係費 187 地方税等 0 物件費 0 0 O 0 国庫支出金 0 行 行 維持補修費 0 0 0 都支出金 0 0 0 政 が が担金及び負担金 使用料及び手数料 政 行扶助費 0 0 0 0 0 \Box 175, 540 175, 540 政補助費等 0 0 0 0 ス 費減価償却費 0 0 0 0 0 0 その他 ۲ 行政収入合計(a) 用不納欠損・貸倒引当金繰入額 0 0 0 0 0 0 計 賞与・退職給与引当金繰入額 40 10 30 行政収支差額(a)-(b)=(c) 175, 767 175, 739 28 その他行政費用 n 0 0 金融収支差額(d) U n 行政費用合計(b) 175, 767 175. 739 28 通常収支差額(c)+(d)=(e) **175, 767** 175, 739 28 $\overline{\mathbf{A}}$ 特別費用(g) 0 0 0 特別収入(f) 0 0 28 特別収支差額(f)-(g)=(h) 0 0 0 当期収支差額(e)+(h) ▲ 175,767 175, 739 補助費等は特別区人事・厚生事務組合への分担金である。 考 問 題 点 課 題 問題点・課題の改善策 令和4年度に取り組む 令和4年度に実施した 令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容 改善内容および評価 具体的な改善内容 1 2 3 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 施状況の実 況議 〜会 要質 旨問

状

事務事業分析シート(令和5年度) No1 事務事業コード 01-01-06 戦略プラン ● 協働 ● 業務 〇 財務 〇人事 部課名 総務企画部総務企画課 課長名 中野 事務事業名 包括外部監査 担当者名 渡辺 2224 内線 外部監査費 01-09-01 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(5年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 (○5年度 ○4年度 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業)年度 地方自治法第252条の27、荒川区外部監査契約に 開始年度 根拠 平成 13 2001 ● 有 ○ 無 令和 7 (2025) 年度 終期設定 法令等 基づく監査に関する条例 ●非計画 実施基準 ● 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 〇 計画 分野 VП 計画推進のために 行政評価 政策 積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進 事業体系 監査機能の充実 施策 06 財務管理、事業の経営管理等に関する知識を有する外部の専門家による監査を実施することにより、監 査機能の充実を図り、より一層の区政運営の効率化及び合理化に資することを目的とする。 目的 区の執行機関、財政援助団体、指定管理者等 対象者 地方自治法第2条第14項及び第15項の規定の趣旨(住民福祉の増進、最少の経費で最大の効果、組織及び 運営の合理化、規模の適正化)を達成するために、地方公共団体の財務管理、事業の経営管理その他行政 運営に関し優れた識見を有する専門家(公認会計士、弁護士等)の監査を受ける。 包括外部監査は、都道府県、政令指定都市及び中核市で実施が義務付けられているほか、包括外部監査 について条例で定めた区市町村で実施するものであり、当区では条例を定めて実施している。 内容 荒川区外部監査契約に基づく監査に関する条例施行、包括外部監査の実施 平成13年4月 平成30年4月 条例の一部改正(自治法改正に伴う改正:実施年度を「毎会計年度又は2会計年度」と定 める) 経過 特定のテーマについて、条例を改正し2会計年度にわたって監査可能となったことなどから、専門家の視 点で深く掘り下げて監査を実施することにより、広く区の事務全般について監査を行う監査委員による監 必要性 査を補完して監査機能の充実を図り、より一層の区政運営の効率化及び合理化に資する。 (直営の場合 〇 常勤職員 (3委託 ○ 会計年度任用職員) 実施 公認会計士へ委託 方法 指標の推移 事務事業の成果とする指標名 指標に関する説明 5年度 目標値 指 2年度 3年度 4年度 見込み (8年度) (1)

標	(2)							
	3							
	事務事	業の分類				ン粘につ	いての説明	1.音目笙
	5年度	6年度						1. 总元寺
	継続	継続	引き	続き現状	の内容を	∵維持して	ていく。	

										NUZ
									(単位	立:千円)
予算	・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年	F度	3年度	4年度	5年度
予算額	預		8, 26	6 8, 266	8, 419	9 6,	, 341	8, 419	8, 419	8, 419
決算額	額(5年度は見込み)		8, 26	5 8, 265	8, 418	3 6	, 314	8, 418	8, 418	8, 419
実	事項名(5年度は見込	み)	29年度	30年度	元年度	2年	F度	3年度	4年度	5年度
績	指摘事項等の件数(件)			33 51	(62	42	82	96	
の	指摘事項等の対応件数([・]	件)		33 48	(60	35	78	77	
推										
移										
予算	・決算の内訳									
	令和3年度(決算)			令和4年度	(決算)			令和5年	F度(予算)	
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事	項	金額(千円)	節	Ì	な事項	金額 (千円)
委託	科 包括外部監査	8, 418	委託料	包括外部監査	Ē	8, 418	委託料	包括外部	『監査	8, 419
								1		

(単位:千円)

							\ +	<u></u> .]/
	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	給与関係費	5, 614	5, 670	56	地方税等	0	0	0
, _	物件費	8, 418	8, 418	0	』 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	が 都支出金 ひちゅう	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス	政補助費等	0	0	0	λ 使用料及び手数料	0	0	0
	費減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
笛	賞与・退職給与引当金繰入額	1, 190	304	▲ 886	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 15, 222	1 4, 392	830
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	15, 222	14, 392	▲ 830	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 15, 222	1 4, 392	830
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 15, 222	1 4, 392	830
	ᄴᄲᄬᅼ ᅿᄯᆏᅘᄧ	大切少进一十	. 7	·	·			

物件費は、包括外部監査契約費である。

問題点

課題

考

包括外部監査における指摘内容には、監査対象部署のみならず、他部署にも共通する事項が含まれていることを踏まえ、全庁共有を図る。あわせて、指摘内容の是正に向けて検討することとした事項等について、監査 年度以降においても継続的に改善状況等を把握していく必要がある。

問題占・課題の改善策

問題	点・課題の改善策		
	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した 改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1	引き続き、外部監査の指摘内容や 改善状況を継続的に把握し、効率的 かつ効果的な制度運用を図る。	外部監査の指摘内容を全庁共有するととともに、これまでの指摘に対する改善状況を継続的に把握した。	指摘内容・改善状況を全庁で共有し、各課の事務改善に活用することにより、区政運営全体の効率 化及び合理化を図る。
2			
3			
他区の実	(実施 3 区 〇包括外部監査導入区…3区 〇個別外部監査導入区…11区	未実施 19 区 不明	0 区)
況 (要旨)	○平成19年二定 包括外部監査のあ	り方について	

		車数車業の	成果とする指標名			指標の推	移		指標に関する説明	
指		事物争未の	似未と 9 る相保石	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	拍标に関する就明	
	1	<mark>庁有車稼働</mark> 率	巫 (平日) 【%】	58	70	76	76	72	※マイクロバスを除く	
標	2	事故発生件数	文【件】	0	0	0	0	0		
	3									
		事務事	業の分類	ハ粉に のいての説 明 ・辛見笠						
		5年度	6年度	— 分類についての説明・意見等 						
				引き続き現状の内容を維持していく。						

継続

継続

											(畄 / :	No2 立:千円)
予 質			29年度	Ŧ	30年度	元年月	₽	2年度	<u> </u>	3年度	4年度	<u>4.〒円)</u> 5年度
<u>ァ 弄</u> 予算			46, 12		47, 483	46, 1		46 , 692		48, 206	47, 345	47, 416
	·照 類 (5年度は見込み)		45, 31		43, 599	43, 5		39, 438		41, 179	41, 331	47, 416
	事項名(5年度は見込み)	7, \	29年度		30年度	元年		2年度		11, 179 3年度	41, 331	<u>47,410</u> 5年度
実績	安全運転講習会受講者数			235	215		262	2十戊	-	0十戊	4十尺	
利の	女王建拟拥自云文拥有奴	1/1		.55	213	•	202		_	-	-	240
推				-					-			
移												
	<u> </u>											
<u> </u>	<u>・ </u>			<u>수</u> 된	04年度(油 質)				스웨다	F度(予算)	
節		金額(千円)	節	ገን ለነ 			金額(千	· m \	節		+皮(ア <u>昇)</u> Eな事項	金額(千円)
			需用費	(時: 小)	主な事! 悪生	녓			-			
	費燃料費等	1, 086 97				老 尼	1, 06			燃料費等		1,384 等 24
役務:					運転管理 業務委託		20 21				医管理者届等	手 24 35, 657
委託		30, 200	委託料		業務委託		30, 35				多委託料 フック	
	料等車両リース料等	9, 792			リース料		9, 91	_			一ス料等	10, 346
負担金補	安全運転管理者講習負担金	5	負担金補助等	女主理	[転管理者 請	第省 其担金		5 負担金	:補助等	女生理転回	管理者講習負担	!金 5
											(22/)	
	# # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	ᄼᄼ	1 45		 	_	#1 1	3 —		0 /= 		<u>立:千円)</u>
	勘定科目	3年度		度	差額	00 111	勘定和		,	3年度	4年度	差額
	給与関係費	3, 2		3, 307			方税等			0	0	0
行	物件費	41, 1		1, 327		7_	庫支出			0	0	0
政	維持補修費		0	0			支出金			0	0	0
	行 扶助費		0	0		U ID 分		び負担金		0	0	0
ス	政 補助費等		5	5				び手数料	科	0	0	0
 	費減価償却費		0	0			<u>の他</u>	A = 1 /	,	0	0	0
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0				(合計 (a		0	0	000
算	賞与・退職給与引当金繰入額	0	94	177		17 行政収			()		4 4, 816	333
書	その他行政費用	4F 1	0	0 010				<u>€額(d)</u>	\ A	0	0	0
	行政費用合計(b)	45, 1		4, 816		33 通常収			(2)		4 4, 816	333
	特別費用(g)		0	0		0 特別		•	\ A	0	0	000
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	記 まこ リレ マケ	<u>0</u> モデルロ	0							▲ 44, 816	333
備 考	物件費の主な内容は、近に伴う運転業務委託料の地						る。単	・画の史	.新に	1千つり-	-人科及ひえ	八件貨品騰
問題点·課題	〇区職員(庁有車運転業系防止するための取組を継続 〇車両の更新の際、使用所 〇環境面に配慮した車両で	売的に実 用途、災 ^り	施する必 害対応等	要が の観	ある。 点から総							こ、事故を
	点・課題の改善策											
	令和4年度に取り約 具体的な改善内容				和4年度/ 双善内容 オ				4		度以降に取り 的な改善内	
1	庁有車運転業務従事者及 務委託事業者による事故る。				■転業務征 ける交通						業務従事者者による事	

		令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した
	1	庁有車運転業務従事者及び運転業 務委託事業者による事故を防止する ための取組を引き続き行う。	
	2	車両更新及び運転業務委託について、適正な運用となるよう、適宜見 直しを図る。	
1	3		ー 車両更新の際には、環境面に配慮した車両の導入検討を進めていく。
施划污	他区の実	(実施 <u>22</u> 区	未実施 0 区 不明 0 区)
(要	議会質問状	〇令和2年6月会議 災害停電時におり	のための電気自動車やハイブリッド車の配置について ける電気自動車の活用について ロエミッション車への切り替えについて

73 12	4							
	市政市業の	成果とする指標名			指標の推	移		指標に関する説明
指	事物争未の	成朱 と 9 る 拍 標 石	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	1 相保に関する武功
	① 儀礼交際用約	圣費対象件数	0	4	95			2~4年度は新型コロナウイルス感染 症の影響により減少した
標	2							
	3							
	事務事	業の分類				ン粘につ	いての説明	1.音目笙
	5年度	6年度				り扱にフ	し、この元の	1. 总元寺
	継続	継続	区政策を図るが	運営に密 こめに必	接に関係 要な経費	のある名 であり、	各種団体と 今後とも	の一層の連携と信頼関係の強化 適正な執行に努める。

No2 (単位: 千円)

予算・決算額等の推移 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 予算額 2,610 2,610 2,846 1,430 1,710 2,53 決算額(5年度は見込み) 2,437 2,478 2,756 0 20 44 実 事項名(5年度は見込み) 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 積 件数 545 551 611 0 4 一件あたり平均額(単位:円) 4,471 4,496 4,510 0 5,000 4,7 推移 令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予算) 令和5年度(予算) 令和5年度(予算) 金額(千円) 節 主な事項 金額(千円) 節 主な事項 金額(千円) 新生な事項 金額(千円) 第十十分 第	30 2,610 52 2,610 5年度 95 758 \$
決算額(5年度は見込み) 2,437 2,478 2,756 0 20 45 実 事項名(5年度は見込み) 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 付数 545 551 611 0 4 一件あたり平均額(単位:円) 4,471 4,496 4,510 0 5,000 4,7 予算・決算の内訳 令和3年度(決算) 令和5年度(予 節 主な事項 金額(千円) 節 主な事項	52 2,610 5年度 95 758 算) (全額 (千円)
実 積 仲数 事項名(5年度は見込み) 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 の 推 移 一件あたり平均額(単位:円) 4,471 4,496 4,510 0 5,000 4,7 予算・決算の内訳 令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予 金額(千円) 令和5年度(予 金額(千円) 第 主な事項 金額(千円) 節 主な事項	5年度 95 758 算) 金額(千円)
横 件数 545 551 611 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	95 758 算) 金額 (千円)
の 推 移 一件あたり平均額(単位:円) 4,471 4,496 4,510 0 5,000 4,7 予算・決算の内訳 令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予 金額(千円) 令和5年度(予 金額(千円) 第 主な事項 金額(千円) 節 主な事項	算) 金額(千円)
推 移	算) 金額(千円)
移 予算・決算の内訳 令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予 節 主な事項 金額(千円) 節 主な事項	金額(千円)
予算・決算の内訳 令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予 節 主な事項 金額(千円) 節 主な事項 金額(千円) 節 主な事項	金額(千円)
令和3年度(決算) 令和4年度(決算) 令和5年度(予 節 主な事項 金額(千円) 節 主な事項 金額(千円) 節 主な事項	金額(千円)
節 主な事項 金額 (千円) 節 主な事項 金額 (千円) 節 主な事項	金額(千円)
報償費 儀礼交際用経費 20 報償費 儀礼交際用経費 452 報償費 儀礼交際用経費	2, 610
	単位:千円)
勘定科目 3年度 4年度 差額 勘定科目 3年度 4年度	
給与関係費	0 0
物件費	0 0
	0 0
	0 0
7	0 0
	0 0
	0 0
(a) 「	
_書 その 他行政費用	0 0
T	
特別費用(g) 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 0
特別収支差額 (f) - (g) = (h) 0 0 当期収支差額 (e) + (h) ▲ 587 ▲ 9	
備	
点 課 題 問題点・課題の改善策	
令和4年度に取り組む	喜内容
引き続き、適正に執行するととも 請求書等提出書類の厳格な審査を 請求書等提出書類の に、必要に応じて支出基準の見直し 行い、適正な支出を行った。 を行い、適正に執行すると	
2	
3	
(実施 17 区 未実施 5 区 不明 0 区) (大の) (実施	
他施区状の況実 況議	
他 (実施 17 区 未実施 5 区 不明 0 区) ボスの 況実 況議 会	
他 (実施 17 区 未実施 5 区 不明 0 区) 状の 沢実 「況議 (会 要質	
(実施 17 区 未実施 5 区 不明 0 区) (大の) (大の) (大の) (大) (\tau) (\tau	

事務事業分析シート(令和5年度) No1 事務事業コード 01-01-09 戦略プラン ○ 協働 ○ 業務 ○ 財務 〇 人事 部課名 総務企画部総務企画課 課長名 中野 事務事業名 保護司会支援事業 2224 担当者名 布野 内線 保護司会補助 01-11-01 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(5年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 (○5年度 ○4年度 〇 建設事業 ●それ以外の継続事業)年度 開始年度 根拠 |昭和 53 1978 荒川区保護司会事業補助金交付要綱 ● 有 <mark>○</mark> 無 令和 7 <u>(2025)</u> 年度 終期設定 法令等 実施基準 〇 法令基準内 〇 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ○計画 ●非計画 分野 7.7 文化創造都市 行政評価 政策 活力ある地域コミュニティの形成 事業体系 青少年健全育成運動への支援 罪を犯した人の更生保護活動や犯罪予防活動、青少年健全育成等を行う荒川区保護司会の運営を支援す ることを通じて、犯罪のない明るい地域社会づくりを推進することを目的とする。 目的 荒川区保護司会 対象者 〇荒川区保護司会事業補助金交付要綱に基づき、荒川区保護司会が実施する「社会を明るくする運動」や 「荒川区更生保護サポートセンター」管理運営等に要する経費の補助金を交付し、支援している。 <保護司会> 保護司法に基づき、法務大臣の委嘱を受け、更生保護の職務を遂行している保護司で構成されている。 日常的な保護司の活動はもとより、「社会を明るくする運動」に積極的に参加し、その一環として、あら かわ「社明」コンサートを毎年主催している。区では、あらかわ「社明」コンサートを共催するなど、協 内容 力体制をとっている。 〇荒川区更生保護サポートセンターへの場所の提供 <更生保護サポートセンター> 保護司の活動を支える地域拠点として、更生を図るための指導や助言等の保護司による処遇活動の支 援、関係機関・団体との連携、犯罪・非行の予防活動、地域住民の相談対応等を実施している。 平成17年度 補助条件の見直し(「社会を明るくする運動」に要する経費を補助要件に) 平成17年度~荒川区保護司会主催の「社明コンサート」の共催 平成27年度 荒川区更生保護サポートセンター開所に伴い、補助金交付要綱の一部改正 平成30年度 再犯防止等更生保護活動の支援の充実を図るため、補助金交付要綱を一部改正 令和3年度 「荒川区における再犯防止に関する取組方針」を策定し、荒川区保護司会とより連携を強化 経過 して更生保護の推進を図ることとした。 保護司会は、地域の犯罪予防活動や青少年の健全育成に積極的に取り組み、区の安全安心なまちづくり に寄与しており、当該活動を支援していく必要がある。 必要性 (1直営 (直営の場合 ● 常勤職員 ○ 会計年度任用職員) 実施 方法

	큠	b 双 市 类 の i	出田しまて比博々			指標の推	移		比無に眼士ス試の
指	=	₱務争未の)	成果とする指標名	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	指標に関する説明
	1 7	(参考) 性明コンサー	- ト入場者数(人)	1	1	ı	850	940	概算 ※2~4年度はコロナで中止
標	<u></u>	(参考)更生 ター面談利用	:保護サポートセン	52	58	57	80	180	保護観察対象者等との面談
	3								
		事務事業	美の分類				ン粘につ	いての説明	. 辛目笙
	5年	F度	6年度			•	カスト	ひ・こり元明	1 本元寸

犯罪の予防や青少年の健全育成、区の安全安心の向上のため、引き続き 保護司会に対する支援を行っていく。 継続 継続

											(単位	1102
接養館(5年度は見込み) 800 1,50	予算	・決算額等の推移		29年度	Ŧ	30年度	元年原	隻 2年	F度 F	3年度		
# 単原名(5年度は月込み) 29年度 30年度 2年度 2年度 3年度 4年度 5年度 10 0 0 0 至年度 10 0 0 0 0 日本 10 0 0 0 0 日本 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算	額		80	00	1, 500	1, 50	00 1	, 208	1, 500	1, 498	1, 500
検討・	決算	額(5年度は見込み)		80	00	1, 500	1, 50	00 1	, 100	513	1, 000	1, 500
安生保護サポートセンター面談利用回数 66	実	事項名(5年度は見込	み)	29年度	Ŧ	30年度	元年月	度 2年	F度	3年度	4年度	5年度
##	績	社明コンサートの開催(回 (回		1	1		1		-		1
		更生保護サポートセンター面記	炎利用回数		66	66		166	52	58	57	80
東京												
## 1	移											
### 1	予算	・決算の内訳										
(株理 2年 2年 2年 2年 2年 2年 2年 2					令₹							
勘定料目 3年度 4年度 差額 勘定料目 3年度 4年度 差額 数字科目 3年度 3	節			節					節			
おた料目 3年度 4年度 差額 助定料目 3年度 4年度 差額 数に対称等 0 0 0 0 0 0 0 0 0	負担金補	^{助等} 保護司会事業補助金	513	負担金補助等	保護	司会事業	補助金	1, 000	負担金補助等	保護司会	金事業補助金	1, 500
おた料目 3年度 4年度 差額 助定料目 3年度 4年度 差額 数に対称等 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
おた料目 3年度 4年度 差額 助定料目 3年度 4年度 差額 数に対称等 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
おた料目 3年度 4年度 差額 助定料目 3年度 4年度 差額 数に対称等 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
おた料目 3年度 4年度 差額 助定料目 3年度 4年度 差額 数に対称等 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
おた料目 3年度 4年度 差額 助定料目 3年度 4年度 差額 数に対称等 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
おた料目 3年度 4年度 差額 助定料目 3年度 4年度 差額 数に対称等 0 0 0 0 0 0 0 0 0												
終与関係費		ш 4 - 1 -				32.15		#1		0 – –		
物件費							70					差額
行政			5, 6									0
政	<i>4</i> =			-			7_		Ê			ŭ
□ スト		121111111111111111111111111111111111111							# IF A			•
			_	•	•		UV					-
下			5						手数料			
計算				•								0
				Ŭ						•	•	0
書			1, 1								▲ 3, 987	3, 330
特別費用(g)				ŭ						-	•	0
特別収支差額(f) - (g) = (h)	_		7, 3	17	3, 987	▲ 3, 3			(d) = (e)	▲ 7, 317	▲ 3, 987	3, 330
● 令和4年度の給与関係費について、令和3年度に荒川区における再犯防止に関する取組方針を策定し、これに関わった職員の人件費として給与関係費が増加していたため、前年度比で減少している。補助費等は、保護司会事業に対する補助金であり、事業実績の増加により補助費等が増加している。 保護司会の更生保護活動が円滑に行えるよう、引き続き支援を行うとともに、荒川区における再犯防止に関する取組方針を踏まえ、安全安心なまちづくりの推進に向けて、保護司会と連携・協力していく必要がある。				-	0						Ü	0
増わった職員の人件費として給与関係費が増加していたため、前年度比で減少している。補助費等は、保護司会事業に対する補助金であり、事業実績の増加により補助費等が増加している。												
考 会事業に対する補助金であり、事業実績の増加により補助費等は、保護司会事業に対する補助金であり、事業実績の増加により補助費等が増加している。	備											
問題 点・課題の改善策		携わった職員の人件費と	して給与	関係費が	増加	していた	ため、	前年度比	で減少し	している。	補助費等は	、保護司
対していく必要がある。										本 川 反 い	- わけて玉初	たより見
問題点・課題の改善策												
・課題の改善策	起		X	4477			1-J17 C .		A C Æ J	י בילונונו	201720.4	13 · W) · O
題 問題点・課題の改善策	尽											
題 問題点・課題の改善策	= =											
問題点・課題の改善策	題											
令和4年度に取り組む 令和4年度に実施した 令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容 実施 安全安心なまちづくりや再犯防止 保護司会に対し、コロナ禍におい 安全安心なまちづくりの推進に でも更生保護活動が支障なく行える おうがましまがき、保護司会への支援を おうがましまがます。 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区 区		上 調節のお羊笠										
具体的な改善内容 改善内容および評価 具体的な改善内容 安全安心なまちづくりや再犯防止	问起	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□										
安全安心なまちづくりや再犯防止の推進のため、再犯防止に関する取組方針に基づき、保護司会への支援を行う。 保護司会に対し、コロナ禍においても更生保護活動が支障なく行えるよう必要な支援を行った。 安全安心なまちづくりの推進に向け、引き続き保護司会へ支援を行う。 ② (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 施也状の況実 環議平成25年1定 職員保護司の職務について保護司会活動への支援について保護司会活動への支援について保護司会活動への支援について												
① 推進のため、再犯防止に関する取組力針に基づき、保護司会への支援をよう必要な支援を行った。 に基づき、保護司会への支援を行った。 ② (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 施性状のの実況実 沢議 平成25年1定 職員保護司の職務について、会質目問		具体的な改善内	容		라	対き内容は	および評	価		具体	的な改善内容	\$
① 推進のため、再犯防止に関する取組力針に基づき、保護司会への支援をよう必要な支援を行った。 に基づき、保護司会への支援を行った。 ② (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 施性状のの実況実 沢議 平成25年1定 職員保護司の職務について、会質目問		安全安心なまちづくり	や再犯防.	止 保	護司会	会に対し、	. コロナ	一禍におし	ハ安	全安心な	まちづくりの	の推進に
でである。				取 ても	更生的	呆護活動	が支障な					
②	(1)	組方針に基づき、保護司:	会への支持	爰 よう	必要な	よ支援を	行った。		行う	0		
③ (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 施区のの実 で成25年1定 職員保護司の職務について 平成26年1定 保護司会活動への支援について 保護司会活動への支援について 要質 旨問		を行う。										
③ (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 施区のの実 で成25年1定 職員保護司の職務について 平成26年1定 保護司会活動への支援について 保護司会活動への支援について 要質 旨問												
③ (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区) 施区のの実 で成25年1定 職員保護司の職務について 平成26年1定 保護司会活動への支援について 保護司会活動への支援について 要質 旨問												
他 他 状 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の	2											
他 他 状 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の				-								
他 他 状 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の				+								
他 他 状 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の 次 の				-								
況議 平成25年1定 職員保護司の職務について 会 平成26年1定 保護司会活動への支援について 要質 旨問	3											
況議 平成25年1定 職員保護司の職務について 会 平成26年1定 保護司会活動への支援について 要質 旨問												
況議 平成25年1定 職員保護司の職務について 会 平成26年1定 保護司会活動への支援について 要質 旨問	1.1	(中世 00	-	+ 🖶	 	0	- F-2	7	10	0	57 \	
況議 平成25年1定 職員保護司の職務について 会 平成26年1定 保護司会活動への支援について 要質 旨問	施世	(夫他 22	스	木美	加也	U	区	<u> </u>	УI	U	区)	
況議 平成25年1定 職員保護司の職務について 会 平成26年1定 保護司会活動への支援について 要質 旨問	状态											
況議 平成25年1定 職員保護司の職務について 会 平成26年1定 保護司会活動への支援について 要質 旨問	況宝											
平成26年1定 保護司会活動への支援について 要質 旨問												
要質旨問												
要質 旨問 状	〜 会		動への支	援につい	ハて							
<u></u> <u> </u> <u> </u>	要質											
	巨問											
	状											

		車致車業の	成果とする指標名			指標の推	E移		指標に関する説明
指		争伤争未の	以未とりる担保石	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	11保に関する武功
	1	連携自治体数		134	133	129			
標	2	連携事業数		17	19	35			
	3								
		事務事	業の分類				ン粉につ	いての説明	1.辛目笙
	ļ	5年度	6年度			,	万規に フ	し、この形式の	1.总兄守
		推進	推進	荒川[持・向 ₋	▼を含む Lが期待	東京、全 できるた	:国各地域 :め、推議	或の持続的 [;] 進する。	な発展、住民の生活の質の維

													(畄 /		lo2 千円)
予算	· }	 快算額等の推移		29年度	ŧ	30年度	Ī	元年度	夏 2年	- 度	3年月	隻	4年度		Tロ / 年度
予算	額			12, 35	8	13, 920		8, 01	0 7	629	3, 7	55	8, 747	2	2, 003
決算	額	(5年度は見込み)		11, 51		10, 478		5, 59		86		78	630		2, 003
実		事項名(5年度は見込	み)	29年度	Ę	30年度	Ī	元年度	图 2年	- 度	3年月		4年度	5:	年度
績の															
推					-										
移															
	· 爿	・ ・ ・ ・ 算の内訳													
<u> </u>		令和3年度(決算)			令和	口4年度(決算	算)			令	和5年	F度(予算)		
節		主な事項	金額 (千円)	節		主な事	項		金額(千円)	節			な事項	金	注額(千円)
旅費		旅費	1	旅費	旅費				2	旅費	旅費		1+=+ A 7 10	, ,	3
需用		釧路特産品販促キャンペーン消耗品 釧路特産品販促キャンペーン広告	131 547	需用費 委託料		品販促キャン/ 産品販促キャン			97 532	負担金補助	等 父流	推進	協議会負担	金 2	2, 000
安武	个十	釧路付度加駅ルイヤンペーン広告	347	安託科	驯岭 行》	生的双ルイヤン		・ノムロ	332						
														-	
															千円)
		勘定科目	3年度		度	差額	00		勘定科目		3年月		4年度	Ž	<u> 差額</u>
		給与関係費物件费	2, 3		2, 362 630		23 49		方税等 庫支出金			0	0		0
行		物件費 維持補修費	C	678 0	630		48 0		厘文出金 支出金	<u> </u>		0	0		0
政		扶助費		0	0		0		<u> ス 山 亚</u> 担金及び1	自扣金		0	0		0
	政	補助費等		0	0		0	UV	用料及び			0	0		0
スト	費	減価償却費		0	0		0	へそ	の他			677	629		▲ 48
計		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0		0		政収入合			677	629		▲ 48
算		賞与・退職給与引当金繰入額	4	196	127				支差額(a)-		▲ 2,		▲ 2, 490		346
書		その他行政費用 行政費用合計(b)	3, 5	0	0 3, 119				収支差 額 _{支差額(c)+}		A 2.	0 836	0 ▲ 2, 490		0 346
	焅	1] 政复用口前 (D) 別費用(g)	3, 0	0	<u>3, 119</u>				VEAR(C)+(V	(a) – (e)	A Z,	000	0		040
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				双支差額(e) + (h)	A 2.	836	▲ 2, 490		346
備		釧路地域特産品販促キー	ャンペー	ンの実施	に要	した費用	اع	して、	物件費	及び行				助金	
考	発:	生している。													
		特別区長会や他区と協力	お油堆!	夕 国油	i t隹 プ	ロジェク	L (カムダ	をのも向	₩. ■	体的重	***	分検討を行し	101	つ推進
問題		^{行が区長去で他区と励え} 図るが必要である。	力圧汚し	、土凶廷	135 /	ロノエノ	1.0	מו די טו	又マノノ」「宀」	IT - 77	・一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	**	ノ1天 n i で i i i i	٠,	ク推進
退点		正もたることでいる。 連携事業について、共和	字共栄と	いうプロ	ジェ	クトの目	的(こ照ら	。 らし、一:	過性の	もので	なく	(、継続的、	持約	続的な
*	連	携となるよう仕組みづっ	くりを行	う必要が	ある	0									
課															
題															
問題	点・	・課題の改善策													
			 月す:		<u></u>	和4年度	こ実	腫し	. <i>†-</i> -		介和 !	5年月	 度以降に取り	ノ組 さ	a :
		具体的な改善内				を善内容は							的な改善内		_
		今後も、区長会主導の ⁻	下、プロ	区	長会主	E導の下、	事	業の	実施方法	<u> </u>	区長会	の方	針等を踏ま	えて	こ、プ
		ェクトを推進する。		等に	ついて	C23区でき	共有	を図	りつつ、				推進する。		
1				プロ	ジェク	ァトの推済	進に	取り	組んだ。						
		引き続き、関係自治体の				インスト:							との連携を		
2		に深めながら、事業のヨ ついて検討・工夫し、ネ											の実施内容		
		っいて検討・エスし、』 を目指す。	ተ <u>ተ</u> ባንቦ ዘ ጋ ' <mark></mark> ራ			5性化を			1111/1 CV		授削・ 指す。	_ ^	. 一、 中四小儿口:	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	=173 C
	Ë			+				0		+-					
3															
佃		(実施 22	区	 未実	施	0		区	不明	月	0		区)		
施区		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		117		-		_	1 '						
心状況の															
況実															
況議	平	成27年度11月会議「全国	国連携プ	ロジェク	トに	ついて」									
〜 会															
要質															
旨問状															
-1/\															

	車変車業の武田 レナス 化煙タ			指標の推	移		指標に関する説明
	事務争未の成果と 9 る相保石	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	拍标に関する説明
1	実績評価における法令基準への適合状況比率(単位:%)	100	100	100	100		対象: A施設(法令等による施設運 営基準の定めがある施設)
2	実績評価における総合評価の 「S」「A」比率(単位:%)	100	100	95	100	100	対象: B施設(サービスや事業内容 に創意工夫の余地がある施設)
3							
	事務事業の分類				分類につ	いての説明	- 音目笙
	1	① 合状況比率(単位:%) ② 実績評価における総合評価の「S」「A」比率(単位:%) ③	2年度 1 実績評価における法令基準への適合状況比率(単位:%) 100 2 実績評価における総合評価の「S」「A」比率(単位:%) 100 3	事務事業の成果とする指標名2年度 3年度① 実績評価における法令基準への適合状況比率(単位:%)100100② 実績評価における総合評価の「S」「A」比率(単位:%)100100③	事務事業の成果とする指標名	2年度 3年度 4年度 5年度見込み ① 実績評価における法令基準への適合状況比率(単位:%) 100 100 100 100 ② 実績評価における総合評価の「S」「A」比率(単位:%) 100 100 95 100 ③ 事務事業の分類	事務事業の成果とする指標名 2年度 3年度 4年度 5年度 見込み (8年度) ① 実績評価における法令基準への適合状況比率(単位:%) 100 100 100 100 100 ② 実績評価における総合評価の「S」「A」比率(単位:%) 100 100 95 100 100 ③

5年度 6年度 民間事業者のノウハウを活かしたサービスの向上と費用の縮減の両立を 図るという制度の導入趣旨を踏まえ、全庁的な調整を図りながら、適切に 重点的に推進 重点的に推進 運用していく。

										(畄ん	No2 t:千円)
予算	・決算額等の推移		29年度	3	0年度	元年月	度 2年	度	3年度	4年度	5年度
予算			3, 857		6, 962	6, 51	10 6,	690	6, 313	6, 845	6, 381
	額(5年度は見込み)		3, 010		5, 073	5, 65		089	4, 354	5, 776	6, 381
実	事項名(5年度は見込		29年度		0年度	元年月			3年度	4年度	5年度
績	導入施設数(各年度4月1日	現在)	5	6	56		56	53	53	54	52
の +#											
推移											
	<u>l</u> ・決算の内訳										
J' 71	<u> </u>			介和	4年度(決算)			介和5 5	年度(予算)	
節		金額 (千円)	節		主な事		金額 (千円)	節		<u>- (ス・、) // /</u> Eな事項	金額 (千円)
報償:		3, 304	報償費 タ				4, 516	報償費	数 外部専門	『家への報償	費 4,669
委託	料 社労士による実績評価	1, 050	委託料 社	生労士	による事	ミ績評価	1, 260	委託米		こよる実績評値	
								旅費	施設視察		28
								重要費	会議賄り	٦,١	4
										(単化	1 2:千円)
	勘定科目	3年度	4年月	度	差額		勘定科目		3年度	4年度	差額
	給与関係費	14, 9	72 15,	120	1.	48 地	方税等		0	0	0
<i>4</i> -	物件費	1, 0	50 1,	260	2	7 <u>—</u>]庫支出金	:	0		0
行政	維持補修費		0	0			支出金		0		0
コ	行 扶助費	0.0	0	0	1.0	UV	担金及び負		0		0
ス	政補助費等	3, 3		516	1, 2		用料及び引	- 数料	0	,	0
 	費 減価償却費 用 不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0			·の他 ·政収入合	‡+ (a)	0		0
計	賞与・退職給与引当金繰入額		-	810	A 2 3	0 13			▲ 22, 499	•	793
算書	その他行政費用	0, 1	0	010	— 2, 0		収支差額		0		0
音	行政費用合計(b)	22, 4	99 21,	706	A 7		支差額(c)+(▲ 22, 499	▲ 21, 706	793
	特別費用(g)		0	0			収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0			又支差額(e)			▲ 21, 706	793
備	外部専門家(中小企業診										
考	占めている。補助費等の: ものである(令和3年度:	「中加は、 4施設・	公認去司 - 合和4年度	10施	との別伤 設)。	計画のクラ	天心に ノい	,, , , ,	刈 涿 旭 政 /	い垣加したこ	اد د د د
問	・区の運用方針に基づく					体調整刀	及び施設所	听管課	からの様々	マな相談に応	じていく
題	必要がある。										
点	・施設所管課が施設の管理							– –	理者がより	リー層連携を	図り、区
•	民に対するより良い施設 ・安定的な区民サービス								上门自口	、体砂電台に	- 向けてる
課題	の時の状況に応じた対応					ᇨᄭᄶᄛ	다 . ㅇㅇ> >) //	ᅜᄭᇛ	、より及い	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-14)17 ((
問題	点・課題の改善策										
	令和4年度に取り				和4年度(度以降に取り	
	具体的な改善内	容		改	善内容は	ふよび評	価		具体	的な改善内容	容
	運用方針に基づいた適正									用を行うた	
1	めの全体調整を行うとと									家への相談	や施設所
	に応じて外部専門家への 所管課への助言を行う。	相談や他語			また、智対応を構		≸等の影響 -	官	诛への助言	等を行う。	
		a \= 1# · ^						11.	-n - <i>r t-</i>		+n 11 -t- 1
	施設所管課と指定管理者 り一層強化されるよう、						者会議の 施設所管			、の助言や情 :り良い施設	
2	と密に連携を取り、助言				報共有で理者の過					、り及い旭設)向上を図る	
	等を行う。	. 11174/	「	.~ =		_ 1/2 14 16	J3 V J	~		<u>—</u> e == 0	Ĭ
								+			
3											
1. 他	(実施 22	区	未実施	1	0	区	不明	1	0	区)	
施状況の実											
次の											
"寒											

況議 平成28年度 9月会議 令和元年度 2月会議 令和元年度 11月会議 令和 2年度 1月会議 令和 2年度 2月会議 令和 3年度 2月会議 「指定管理者制度の見直し及び区内事業者の育成」について 「指定管理と委託」について 「指定管理者制度」について 「区施設の事業内容の充実」について 「区施設の事業運営のあり方」について

															NO I
事務	事業	業コード		01-01-1	12				略プラ		○協働			財務	〇人事
事務	事業	美名		行政評价	価の推進		Toward Exp	担当	省名	横尾	企画部総 、大山、		課 課長名		漆畑 2112
		を構成する			01-0	01-07	行政評価	価システ	ムの推	<u></u> 進					
重 務	丰当	業の種類	○ 新	·担事業	() 54	年度 () 4年度)	0	建設	宝業	-	● それ以:	ぬの継	編 重業
開始				1 九事末 ; 17 ((200		年度			建成	.尹木		(10%)	グトレノ小正	机中木
終期				無無	(()	年度	法令等							
実施				令基準内	勺 〇 都	基準内	●区独		計	画区:	分		計画	〇非	計画
1	西	(評価	分里			推進のた				w/h					
		体系	政策					よる行財			略的推進	<u> </u>			
目的		前年度 営を図る また、 任を果た	ること 分析 たす。	した全政 で、区民 ・評価結	対策・施策 ピサービス	後・事務₹ スの向上(事業の評 に努める	0	し、=	コスト			果的かつ気おける、区		·
対象等		区民、区	基職員												
内容		体系」に 析・評価 させる。 また、	こ基づ 面を行 各施	きシート う。結果 :設の分析	、を作成の ≹について	D上、公: Cは決算 ^を を作成し ⁻	会計制度 特別委員 て評価・	による詳 会前に公 分析を行	ŧ細な郥 ≷表し、 テうとと	財務情 . 区詞 ともに	青報等も 議会等の	活用し、 意見を	成される 、 スルコフ 新年度予 を全庁で-	ストに 算の編』	よる分 成に反映
経過	교귀	平成26年 平成27年 平成29年 令和 2年 令和 3年	手	事務がいた。事務がいた。またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのではでは、またのではでは、またのではでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、また	巻分析シークトン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン	ートの様: 公会導入し、 は事業に は 事業の休止	式度、業い・をに基にて完なよ準終公了	財務情報定設用にを設定の対象を設定の対象を記述を明めます。	最を反映 こで、 (原則代 いたフノ	映。 が 事 務 和 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	施設分析 事業の分 3 年度末 スト分析	シート 類を開) を行い、	始 、必要性ヤ	⇔有効∜	性等
必要怕	生				ソールとし K政運営を							する以: 	果及び効り	果を分。 	析するこ
		(2一部	逐託)		直営の	場合 C	常勤職員	員	〇会	計年度任	壬用職員	<u> </u>		
実施方法					で委託、平										
73 14		〇平成2	5年度	はシステ	テム開発を	左委託し.	、平成26	年度から	はシス	ステノ	ム保守を	委託			
		事務事業	≝の成.	甲レオス	七 堙夕			指標の推	達移				指標に関	▋╅る┋	台 田
指		争仍予へ	E07)-,,,,	未Cyw	拍徐石	2年度	3年度	4年度	5年月 見込る		目標値 (8年度)		扫伝に]9 V¤	አ ማ
	1	新規充実	事業提	- 皇案件数		56	6 60	58		63	50			_	10
標	2	改善事業	提案件	-数		37	7 53	10		10	50	改善・ 案件数	見直し・イオ	ト止・元	了事業の提
	3		→ ₩ /	- 八 华五								ЖR31‡	サンセット	の結果	と含む
		<u> </u>	争耒∪	の分類 6年	· 🛨			1	分類に	つい	ての説明	月・意見	!等		
重		的に推進		重点的问		切に提	供してい		二、不到	要不急			必要な区別し、選択の		

												No2
	٠.	h ht hT ht a 14.15		1 00 	- 1 /	20 4 4 1		- 1 0/		0 		: 千円)
		や算額等の推移		29年度		30年度	元年度		丰度 0F.C	3年度	4年度	5年度
予算 決算		/5年毎け目にない		4, 80		2, 005 1, 824	1, 98 1, 80		, 056	1, 804 1, 804	1, 804 1, 804	1, 804 1, 804
	码((5年度は見込み) 事項名 (5年度は見込	7 , \	4,802 29年度		30年度	<u>1, 00</u> 元年度		<u>, 0/3</u> 丰度	3年度	4年度	5年度
実績	/ /〒1	<u>事項句(3年度は免込</u> 政評価の対象 【事務事			81	968		42	+ 度 947	930	915	890
の	111	<u> </u>			86	86		86	86	86	86	86
推		【政策】			15	15		15	15	15	15	15
移		【施設】			81	182		82	184	181	181	
予算	• 決	と算の内訳 ・										
		令和3年度(決算)			令和]4年度(:	決算)			令和5年	F度(予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節		主な事項		金額 (千円)	節		な事項	金額(千円)
委託	料	行政評価システム保守委託	1, 804	委託料	行政評	価システム	保守委託	1, 804	委託料	1 行政評価:	ンステム保守委託	£ 1,804
											/ 32/ / 1	
	T	#h 습 된 ㅁ	2左由	1 1/=	· 庄	差額		勘定科目	- T	0左座	(単位 4年度	: 千円) 差額
		勘定科目	3年度	4年	-	一方知	1	品,正 个 L	∃	3年度	4112111111	
		公片間 返弗	1/1 0									_
		給与関係費 物件费	14, 0	36 14	, 647		1 地	方税等		0	0	0
行		物件費	14, 0 1, 8	036 14 804 1	, 647 , 804	6	11 0 国	方税等 庫支出3		0	0	0
政		物件費 維持補修費		036 14 804 1 0	, 647 , 804 0	6	10 0 0 0 0 不都	方税等 庫支出金 支出金	金	0 0 0	0	0 0 0
政コ	行	物件費 維持補修費 扶助費		036 14 804 1 0	1, 647 , 804 0 0	6	10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	方税等 庫支出金 支出金 ^{担金及び}	金負担金	0 0 0	0 0 0	0 0 0
政コス	行政	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等		036 14 804 1 0 0	0 0 0	6	1	方税等 庫支出金 支出金 ^{担金及び} 甲料及び	金負担金	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0
政コスト	行政費	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費		036 14 804 1 0	1, 647 , 804 0 0	6	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	方税等 庫支出金 支出金 ^{担金及び} 用料及び の他	全 負担金 手数料	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0
政コスト計	行政費用	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等		036 14 804 1 0 0 0 0 0	0 0 0 0	6	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	方税等 庫支出金 担金及び 用料及び の他 政収入合	負担金 手数料	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
政コスト計算	行政費用	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額	1, 8	036 14 0304 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 775	0 0 0 0 785	6	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	方税等 庫支出金 担金及び 用料及び の他 政収入合 支差額(a)-	全 負担金 手数料 計(a)	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
政コスト計	行政費用	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損·貸倒引当金繰入額 賞与·退職給与引当金繰入額	1, 8	036 14 0304 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 775	0 0 0 0 785	△ 2, 19	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	方税等 東出金 世金及び 用料他 の収収合 支差額(a) - 収支差額	全 負担金 手数料 `計(a) (b)=(c)	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
政コスト計算	行政費用特別	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 その他行政費用 行政費用合計(b) 別費用(g)	2, 9	036 14 0304 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 775	0 0 0 0 785	△ 2, 19	1	方税等 東世金 世金及び 田料他 の収額(a)- 収差額(c)+ 収入(f)	全 負担金 手数料 i計(a) (b)=(c) 反(d)	0 0 0 0 0 0 0 0 18, 815 0	0 0 0 0 0 0 0 0 17, 236 0 17, 236	0 0 0 0 0 0 0 1,579 0 1,579
政コスト計算	行政費用特別	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 での他行政費用 行政費用合計(b) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h)	2, 9	036 14 0304 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 775 0 0 0 175 0 0	0 0 0 0 785 0 7, 236 0	▲ 2, 19 ▲ 1, 5	1	方税等 東出金 世金及び 用料及び の収入合 支差額(a)- 収入(f) 収支差額(全 負担金 手数料 (b)=(c) (d) (d)=(e) (e)+(h)	0 0 0 0 0 0 0 0 4 18, 815 0 4 18, 815	0 0 0 0 0 0 0 0 17, 236 0 17, 236 0 17, 236	0 0 0 0 0 0 1, 579 0 1, 579 0
政コスト計算書	行政費用特別	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 での他行政費用 行政費用合計(b) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h) 与関係費については人事	1,8 2,9 18,8	036 14 304 1 0 0 0 0 0 0 0 0 075 0 815 17 0 0	1, 647 , 804 0 0 0 785 0 7, 236 0 の見ī	6 ▲ 2,19 ▲ 1,5	1	方税等 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	全 負担金 手数料 (b)=(c) / (d) (d)=(e) / e)+(h) / 更によ	0 0 0 0 0 0 0 18,815 0 ▲ 18,815 0 ▲ 18,815	0 0 0 0 0 0 0 0 17, 236 0 17, 236 0 17, 236	0 0 0 0 0 0 1, 579 0 1, 579 0
政コスト計算	行政費用特別	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 での他行政費用 行政費用合計(b) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h)	1,8 2,9 18,8	036 14 304 1 0 0 0 0 0 0 0 0 075 0 815 17 0 0	1, 647 , 804 0 0 0 785 0 7, 236 0 の見ī	6 ▲ 2,19 ▲ 1,5	1	方税等 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	全 負担金 手数料 (b)=(c) / (d) (d)=(e) / e)+(h) / 更によ	0 0 0 0 0 0 0 18,815 0 ▲ 18,815 0 ▲ 18,815	0 0 0 0 0 0 0 0 17, 236 0 17, 236 0 17, 236	0 0 0 0 0 0 1, 579 0 1, 579 0
政コスト計算書 備考	行政費用 特別	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 その他行政費用 行政費用合計(b) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h) 与関係費については人事 件費については、システ	1,8 2,9 18,8 事異動や テム保守	336 14 304 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1,647 ,804 0 0 0 785 0 7,236 0 の見ī	▲ 2,19 ▲ 1,5 直しによ ため、前	1	方様 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	金 負担金 手数料 (a) (b) = (c) / (d) (d) = (e) / 更(c) / 更によ	0 0 0 0 0 0 0 4 18,815 0 4 18,815 0 4 18,815 り、差額か	0 0 0 0 0 0 0 0 ▲ 17, 236 0 ▲ 17, 236 0 ▲ 17, 236	0 0 0 0 0 0 1, 579 0 1, 579
政コスト計算書 備考 問	行政費用 特別	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 その他行政費用 行政費用合計(b) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h) 与関係費については人事 件費については、システ	1,8 2,9 18,8 事異動や テム保守 る景気の	336 14 304 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1,647 1,804 0 0 0 785 0 7,236 0 の見ī	▲ 2,19 ▲ 1,5 直しによ ため、施設	1	方康支担用の政権を 理事の政権を 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、	金 負担金 手数料 (a) (b) = (c) / 夏(d) (d) = (e) / 更が生じな	0 0 0 0 0 0 0 4 18,815 0 4 18,815 0 4 18,815 り、差額かている。	0 0 0 0 0 0 0 0 17, 236 0 ▲ 17, 236 0 ▲ 17, 236 0 ★ 17, 236	0 0 0 0 0 0 1,579 0 1,579 0 1,579
政コスト計算書 備考 問題	行政費用特別をおいます。	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 その他行政費用 行政費用合計(b) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h) 与関係費については、システ 件費については、システ 作今の物価高騰等による る区財政への影響を踏る	1,8 2,9 18,8 事異動や テム保守 る景気の まえ、持	36	1,647 1,804 0 0 0 785 0 7,236 0 の見ī	▲ 2,19 ▲ 1,5 直しによ ため、施設	1	方康支担用の政権を 理事の政権を 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、	金 負担金 手数料 (a) (b) = (c) / 夏(d) (d) = (e) / 更が生じな	0 0 0 0 0 0 0 4 18,815 0 4 18,815 0 4 18,815 り、差額かている。	0 0 0 0 0 0 0 0 17, 236 0 ▲ 17, 236 0 ▲ 17, 236 0 ★ 17, 236	0 0 0 0 0 0 1,579 0 1,579 0 1,579
政コスト計算書 備考 問	行政費用特別をおいます。	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 での他行政費用 行政費用合計(b) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h) 与関係費については入る 特費については入る 作今の物価高勝響を必必 よる事業実施を行う必	1,8 2,9 18,8 事異動や守る景文の まえがある。	36	1,647 ,804 0 0 0 785 0 7,236 0 の見ī みのカ	▲ 2,19 ▲ 1,5 直しによ前 ため、前 や、施設 で	1	方庫支担用の政友収支収支制コードに 税支出金及収支額(c)+ 以支制コードに を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	金 負担金 手数料 (b)=(c) の 頁(d) (d)=(e) の 更が 期れた財	0 0 0 0 0 0 0 0 18,815 0 ▲ 18,815 0 ▲ 18,815 0 へ 18,815 0 べ 7,200 0 へ 7,200 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 17,236 0 ▲ 17,236 0 ▲ 17,236 *生じている	0 0 0 0 0 0 1,579 0 1,579 0 1,579
政コスト計算書 備考 問題点・	行政費用 特特給物 ・よに・	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償・遺倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 での他行政費用 行政費用(g) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h) り時費については、シーにを踏ら のものでは、ここによる。 によるというでは、よる。 は、ここによる。 に、ここにまる。 に、ここによる。 に、ここに、ここに、ここに、ここに、ここに、ここに、ここに、ここに、ここに、こ	1,8 2,9 18,8 事異動や守る景文の まえがある。	36	1,647 ,804 0 0 0 785 0 7,236 0 の見ī みのカ	▲ 2,19 ▲ 1,5 直しによ前 ため、前 や、施設 で	1	方庫支担用の政友収支収支制コードに 税支出金及収支額(c)+ 以支制コードに を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	金 負担金 手数料 (b)=(c) の 頁(d) (d)=(e) の 更が 期れた財	0 0 0 0 0 0 0 0 18,815 0 ▲ 18,815 0 ▲ 18,815 0 へ 18,815 0 べ 7,200 0 へ 7,200 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 17,236 0 ▲ 17,236 0 ▲ 17,236 *生じている	0 0 0 0 0 0 1,579 0 1,579 0 1,579
政コスト計算書 備考 問題	行政費用 特特給物 ・よに・る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	物件費 維持補修費 扶助費 補助費等 減価償・遺倒引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 賞与・退職給与引当金繰入額 での他行政費用 行政費用(g) 別費用(g) 別収支差額(f)-(g)=(h) り時費については、 による による による による による による による による による による	1,8 2,9 18,8 事異 動や守 る 景え、あの まえがあれる。	36	1,647 00 00 00 785 00 7,236 00 ののかった対い	▲ 2,19 ▲ 1,5 直しい、施設を で、通営を ため、正常を	1000000000000000000000000000000000000	方庫支担用の政支収支収支制コードに 税支出金及の収支を収支制コードに回 の政権を関係のスート限の のでは、のでは、のでは、のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のの	金 負担金 計(a) (b)=(c) 頁(d) (d)=(e) 更が 期れ 組結果	0 0 0 0 0 0 0 0 18,815 0 ▲ 18,815 0 ▲ 18,815 0 へ 18,815 0 べ 7,200 0 へ 7,200 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 17,236 0 ▲ 17,236 0 ▲ 17,236 *生じている	0 0 0 0 0 0 1,579 0 1,579 0 1,579

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した 改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1	毎年の行政評価においてもサンセットの考え方を踏まえ、事業の見直しを行うとともに、区の歳出削減に努める。	行政評価における必要性や有効性等 の分析・評価結果を踏まえた事業の 見直しにより、歳出の削減に繋げ た。	行政評価における事務事業の効果 検証を踏まえながら、歳出の削減 に努める。
2	引き続き、行政評価においてフルコストによる分析を駆使し事業の見直 しを行っていく。		次回サンセットに向けた進め方の 検討、分類の見直しを行い、より 効果的な行政評価の実施に努め る。
3			実施計画の改定と合わせて、各施 策におけるアウトカム指標への見 直しを検討する。
施区	(実施 <u>22</u> 区	未実施 0 区 不明	0 区)
心状況の実			
況議	令和2年度9月会議 サンセット方式で	を活用した事業の見直しに係る進捗、幸	最告時期、今後の展開について
へ 会 要質	令和3年度6月会議 サンセット方式の	D進捗等について	
旨問	令和5年度6月会議 行政評価についる	5	

重点的に推進

重点的に推進

予 質											/ 224 /	No2
	<u>.</u> ধ			29年度	F I	30年度	元年月	年 1 2年	F.度	3年度	(<u></u>	立:千円) 5年度
予算		大昇領守の推修		294段	<u> </u>	00平皮	<i>J</i> L+1:	支 Z ⁺	- <u> </u>	3年度	44段	9年度
		(5年度は見込み)				_		_		_	_	_
実	1,7,	事項名(5年度は見込	み)	29年度	Ę ;	30年度	元年月	度 2年	F度	3年度	4年度	5年度
績	取	組項目数	,		62	160		159	149	176		175
の												
推												
移												
予算	·	央算の内訳										
		令和3年度(決算)			令和]4年度(F度 (予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節		主な事	頁	金額(千円)	節	主	Εな事項	金額(千円)
											(単	立:千円)
		勘定科目	3年度	4年	度	差額		勘定科目		3年度	4年度	差額
		給与関係費	10, 2		, 340	1, 0		方税等		0		0
4-		物件費		0	0			庫支出金	Ī	0	0	0
一行		維持補修費		0	0			支出金		0	0	0
政コ		扶助費		0	0		م ما 🏴	担金及び		0	0	0
ース		補助費等		0	0			用料及び	手数料	0		0
 		減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0			· の他 · Thull 1 今	=1 (a)	0		0
計			2, 1	0	0 608			政収入合 支差額(a)-		<u> </u>	•	526
算		賞与・退職給与引当金繰入額 その他行政費用	Ζ, Ι	0	000	A 1, 3		収支差額		12, 4/4		020
書		「での他行政員所 行政費用合計(b)	12, 4		948	A 5		女 左 哲 (c) +		▲ 12, 474	•	526
	特	別費用(g)	12, 7	0	0			収入(f)	(u) (u)	0		020
		<u>別収支差額(f)-(g)=(h)</u>		0	0			又支差額(e) + (h)	▲ 12, 474	•	526
備		あらかわ区政経営戦略		の策定は	、職	員が作成						
一件												-
.,			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 			15-50			Un	0	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	
問		昨今の物価高騰等による										
題		る今後の区財政への影響 踏まえた事業の徹底的な					王仏打り				この、必安に	+ 12 /8 3717
点			み元旦し			— III //) PW	盖を図.			. (X) .(V) \		T (117931X
		更なる区民サービスの「	カトと 業績								5取組に加え	
三生		更なる区民サービスの[体的に提案し、具体的 ⁷		務の効率	化を	図るため	には、	これまで	の業務	改善に係る	る取組に加え	
課題	主	更なる区民サービスの[体的に提案し、具体的 今後の財政需要をふまだ。	な取組につ	務の効率 つなげる	化を 組織	図るため づくりを	には、	これまで 進してい	の業務 く必要	S改善に係る Eがある。	る取組に加え	
題	主·	体的に提案し、具体的な 今後の財政需要をふまだ。	な取組につ	務の効率 つなげる	化を 組織	図るため づくりを	には、	これまで 進してい	の業務 く必要	S改善に係る Eがある。	る取組に加え	
題	主·	体的に提案し、具体的な	な取組につ	務の効率 つなげる	化を 組織	図るため づくりを	には、	これまで 進してい	の業務 く必要	S改善に係る Eがある。	る取組に加え	
題	主·	体的に提案し、具体的な 今後の財政需要をふまだ ・課題の改善策 令和4年度に取り	な取組に [*] えて、今ん えて、今ん 	務の効率 つなげる	化を 組織 る歳 令	図るため づくりを 入確保策 和4年度I	には、一層推議を検討を検討の実施し	これまで 進してい していく。 した	の業務 く必要	S改善に係る がある。 がある。 へ和5年原	隻以降に取 り	え、職員が り組む
題	主·	体的に提案し、具体的 ^を 今後の財政需要をふまだ ・課題の改善策	な取組に [*] えて、今ん えて、今ん 	務の効率 つなげる	化を 組織 る歳 令	図るため づくりを 入確保策	には、一層推議を検討を検討の実施し	これまで 進してい していく。 した	の業務 く必要	S改善に係る がある。 がある。 へ和5年原		え、職員が り組む
題	点引	体的に提案し、具体的な 今後の財政需要をふまだい。 ・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善内に き続き、サンセットの	な取組に えて、今1 組む 容 考え方を記	務の効率る後も更な 対象 対象 事	化を 名歳 令改 本まに	図 る た り 保 年 に 和 4 年 内 で に に に に に に に に に に に に に	には、に一を検討を検討によるよりの見るという。	これまでいく た 価 しを行	の業務要が	を を を がある。 令和5年 全な行財政	度以降に取 的な改善内 で運営を継続	え、職員が リ組む 容 するた
問題	主・点引ま	体的に提案し、具体的な 今後の財政需要をふまだける。 ・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善内に き続き、サンセットの え、行政評価による事態	な取組に、 会れ 祖む 容 考え方を記 業の徹底的	務の効率 の対 が 対 う と が う と の が う と の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の の の の の の の の の の の の の	化を 名歳 令改 下し	図づ入 和4年内 い次 和 年 で で に こ 、 次	に は を 実 び の も も も も も も も も う も う も う り も り も り も り	これましい た価 しょく を行う こうしょく かんしょく しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅう	のく必・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	度以降に取り 的な改善内 運営を継続 ト方式の考	え、職員が リ組む 容 で で で で で で で で で で で で で で で た で た で
問題	主・点引まな	体的に提案し、具体的な 今後の財政需要をふまだ。 ・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善内に き続き、サンセットので え、行政評価による事意 見直しを行うとともに、	な取組になる はむ を 著えの領域を がある。	務の 郊が が 対う 和 マ るな	化組る 令改 (に)	図づ入 和4年内 い次向け に に の で で に に に の に の に に の に に の に の に	に は を 実 び の も も も も も も も も う も う も う り も り も り も り	これましい た価 しょく を行う こうしょく かんしょく しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅう	のく必します。 は、大学なのでは、大学なのでは、大学なのでは、大学などのでは、ためには、大学などのでは、大学などのでは、大学などのでは、大学などのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そ	会会会会でなサームでなサームでなサームでなサームでかよでかよでよよ	度以降に取り 的な改善内 運営を継続 ト方式の考 して導入す	え、職員が リ組む 容 で で で で で で で で で で で で で で で た で た で
問題	主・点引まな	体的に提案し、具体的な 今後の財政需要をふまだける。 ・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善内に き続き、サンセットので え、行政評価による事業	な取組になる はむ を 著えの領域を がある。	務の効率 の対 が 対 う と が う と の が う と の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の が の の の の の の の の の の の の の	化組る 令改 (に)	図づ入 和4年内 い次向け に に の で で に に に の に の に に の に に の に の に	に は を 実 び の も も も も も も も も う も う も う り も り も り も り	これましい た価 しょく を行う こうしょく かんしょく しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅう	のく必します。 は、大学なのでは、大学なのでは、大学なのでは、大学などのでは、ためには、大学などのでは、大学などのでは、大学などのでは、大学などのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そ	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	度以降に取り 的な改善内 運営を継続 ト方式の考 して導入す	え、職員が リ組む 容 で で で で で で で で で で で で で で で た で た で
問題	主・点引まなセ区	体的に提案し、具体的符合後の財政需要をあまた。 ・課題の改善策の改善策のないでは、 ・課題の改善策のないでは、 ・課題の改善策のないでは、 ・課題の改善策のないでは、 ・課題の改善策のないでは、 ・課題の改善策のないでは、 ・課題の改善策のないでは、 ・課題の改善策に、 ・課題の改善策に、 ・課題の改善策に、 ・課題の改善策に、 ・課題の改善策に、 ・課題の改善で、 ・課題の改善で、 ・課題の改善で、 を表していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	なれて ・	務つ後	化組る 事と年後 業も度討 務にに)して	図づ入 和善 つ、にた おたり保 年内 い次向。 けめを策 度ま て回ける こ	に に に に に を に を ま を に を に を に の と の と の に の の に に に に に に に に に に に に に	これまでいく 上価 して た価 して で で で で で で で で で で で で で	のく必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で を で で で で で で で で で で で で で	度以降に取り 的な改善内 運営を継続 トてずる していく。 用した全庁	え、職員が り容 する方とと で えること で の見
問題	主 点 引まなセ 区を	体的に提案し、具体的符合後の財政需要をあまた。 ・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善内 き続き、対価にともでいる事でである。 見直に向けた準備を進るというでは、引き続きAI	なえ 祖容 表 祖容 表の次る が のの の の の の の の の の の の の の	務つ後	化組る 事と年後 業よを織歳 令改 (にに)して第	図づ入 和善 つ、にた お務 おり保 年内 い次向。 けの りの では は でいて は に は でいて は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	に に に に に を に を ま に を ま に の か に の の の の の の の の の の の の の	これして れして た価 直ッ方 でいく 入価 でいく 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一	のく必 テネタ 手合業必要 健め政歳 野直	会会があ令なサ価削 法取行ンに減 を組表取表取活をを経済を経済を経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済経済	度以降に取りな改善内はでは、 ででは、 ででは、 ででいく。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	え、職員が 組む お方こ の所 で で で で で で で で の 所 の 所 の 所 の の の の
問題	主 点 引まなセ 区をIC	体的に提案し、具体的符令後の財政需要をあまた。 ・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的なである。 き続き、サンセにともできる。 をはいるでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	なえ 祖容 表 祖容 表の次る が のの の の の の の の の の の の の の	8つ後踏的ン化) ずのなも効け更対う和善窓法わった。率るなまとりを可じせった。	化組る 事と年険 業よてを織歳 令改 にに)しに第こ	図づ入 和善 つ、にた おたり保 年内 い次向。 けめを策 度ま て回ける こ	に に に に に を に を ま に を ま に の か に の の の の の の の の の の の の の	これして れして た価 直ッ方 でいく 入価 でいく 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一 入一	のく必 テネケート はのの はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	全、評出 R し職を 	度以降に取り 的ながを 運営方でいいで ででないいで ででいいで ででいいで ででいいで ででいいで ででいいで ででいいで でいで でいいで でいる でいで でいる でいで でいで	え、職員が はなる方この所の がのでする。 をという。 をという。 をという。 をという。 をはいる。 をという。 をという。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 をいう。 を
問題	主 点 引まなセ 区をじて	体的に提案し、具体的の 今後の財政需要をあまた。 ・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的とでは、 表、行したでは、 でではないでは、 でではないでは、 でではないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	なえ 出容 考業、め 務・全 ・ お な 方・ を が あ の か の か 等 に 拡 が ま の か の か 等 に 拡 い か ま の ま の	務つ後踏的ン化りずのなも対う和善窓法わ共効げ更家と7を口にせ有	化組る 事と年後 業よてしを織歳 令改 にに)し に第こ。	図づ入 和善 つ、にた お務れるく確 年内 い次向。 けのまめを策 度お だ回け る見で	に一を は 層検 実よ 期サ、 T の で ま の で り で り で り で り で り で り り で り り り り り	これして れして た価 直ッ方 入った全 したよの トラス トラント トラント トラント トラント トラント トラント トラント	のく必 丁介女 早介に業必要 健め政歳 B直(と	ながある全、評出 Rし職がきなサ価削 まの員でなりでなりでなりでなりでを組自るを組自るだら体	度以降に取り ので、では、 ので、では、 では、では、では、 では、では、では、 では、では、 では、でき、では、 では、 では	え、職員が はむ お方この所う。 だをとの所う。
問題	主 点 引まなセ 区をじて ふ	体的に提案し、具体的の 今後の財政 等策 令和4年度に取り 一、課題の改善策 令和4年度に取り 一、本本のでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中	なえ 祖容 考業、め 務・全 と と を は の次る ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの	8つ後踏的ン化) ずのなも対う和善窓法わ共返対う和善窓法わ共返	化組る 事と年険 業よてし 品を織歳 令改 にに)し に第こ。 件	図づ入 和善 つ、にた お務れ うるく確 年内 い次向。 けのま 寄めを策 度	に一を は 層検 実よ 期サ、 TOし成 受 の ン実 の を果 入	に 生 は に に に に に に に に に に に に に	のく必 テキ女 手合に 選が要が 健め政歳 B直(と 区	では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、<td>度以降に取り に善りでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>え、 脚谷 すえる 業にをいと がったをと 見管こ でいる こく しんしん こく しんしん こく しん いんしん しん しん こく しん しん</td>	度以降に取り に善りでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	え、 脚谷 すえる 業にをいと がったをと 見管こ でいる こく しんしん こく しんしん こく しん いんしん しん しん こく しん
1 ②	主 点 引まなセ 区をじて ふ新	体的に提案し、具体的に提案し、具体的に提案を要をを要をを要をを要して、要をの改善策の改善策の改善を表して、のは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	なえ 祖容 考業、め 務・全 と と を は の次る ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの	8つ後踏的ン化) ずのなも対う和善窓法わ共返対う和善窓法わ共返	化組る 事と年険 業よてし 品を織歳 令改 にに)し に第こ。 件	図づ入 和善 つ、にた お務れ うるく確 年内 い次向。 けのま 寄めを策 度	に一を は 層検 実よ 期サ、 TOし成 受 の ン実 の を果 入	に 生 は に に に に に に に に に に に に に	のく必 テネタ ドネス 選が要が 健め政歳 野直(と)区ふ	会がある令なサ価削 手の員で 流さにる。年体 政ッ続図 活をら体 制税	度的 運り しつ しつ はい では でき 継の入り でき がっこう にいった と 務整 ひを でき ひを と ひ と と ひ と に と の を と と で と と で と と で と と で と と と と と と と	え、 り容 すえる 業にをい とし がったをと 見管こ したがく したがく したがく したがく したがく したがく しんがく しんがく しんがく しんがく しんがく しんがく しんがく しん
問題	主 点 引まなセ 区をじて ふ新	体的に提案し、具体的の 今後の財政 等策 令和4年度に取り 一、課題の改善策 令和4年度に取り 一、本本のでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中	なえ 祖容 考業、め 務・全 と と を は の次る ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの	8つ後踏的ン化) ずのなも対う和善窓法わ共返対う和善窓法わ共返	化組る 事と年険 業よてし 品を織歳 令改 にに)し に第こ。 件	図づ入 和善 つ、にた お務れ うるく確 年内 い次向。 けのま 寄めを策 度	に一を は 層検 実よ 期サ、 TOし成 受 の ン実 の を果 入	に 生 は に に に に に に に に に に に に に	のく必 テネタ ドネス 選が要が 健め政歳 野直(と)区ふ	会がある令なサ価削 手の員で 流さにる。年体 政ッ続図 活をら体 制税	度以降に取り に善りでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	え、 り容 すえる 業にをい とし がったをと 見管こ したがく したがく したがく したがく したがく したがく しんがく しんがく しんがく しんがく しんがく しんがく しんがく しん
1 ② ③	主・点 引まなセ 区をじて ふ新き	体的に提案し、具体的に提案し、具体的に提案を要をを要をを要をを要して、要をの改善策の改善策の改善を表して、のは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	なえ 祖容 考業、め 務・全 と と を は の次る ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの	8つ後踏的ン化) ずのなも対う和善窓法わ共返対う和善窓法わ共返	化組る 事と年険 業よてし 品を織歳 令改 にに)し に第こ。 件	図づ入 和善 つ、にた お務れ うるく確 年内 い次向。 けのま 寄めを策 度	に一を は 層検 実よ 期サ、 TOし成 受 の ン実 の を果 入	に 生 は に に に に に に に に に に に に に	のく必 テネタ ドネス 選が要が 健め政歳 野直(と)区ふ	会がある令なサ価削 手の員で 流さにる。年体 政ッ続図 活をら体 制税	度的 運り しつ しつ はい では でき 継の入り でき がっこう にいった と 務整 ひを でき ひを と ひ と と ひ と に と の を と と で と と で と と で と と で と と と と と と と	え、 り容 すえる 業にをい とし が か で で 見管こ した で した で した が に が とし た が か で か で した か か で した か で した か か で した か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か か で か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か で しゃ か か で しゃ
1 ② ③	主・点 引まなセ 区をじて ふ新き	体的に提案し、具体的に提案し、具体的に提案を要をを要をを要をを要して、要をの改善策の改善策の改善を表して、のは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	なえ 祖容 考業、め 務・全 と と を は の次る ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの	8つ後踏的ン化) ずのなも対う和善窓法わ共返対う和善窓法わ共返	・	図づ入 和善 つ、にた お務れ うるく確 年内 い次向。 けのま 寄めを策 度	に一を は 層検 実よ 期サ、 TOし成 受 の ン実 の を果 入	に 生 は に に に に に に に に に に に に に	のく必	会がある令なサ価削 手の員で 流さにる。年体 政ッ続図 活をら体 制税	度的 運り しつ しつ はい では でき 継の入り でき がっこう にいった と 務整 ひを でき ひを と ひ と と ひ と に と の を と と で と と で と と で と と で と と と と と と と	え、 り容 すえる 業にをい とし が か で で 見管こ した で した で した が に が とし た が か で か で した か か で した か で した か か で した か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か か で か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か で しゃ か か で しゃ
1 ② ③	主・点 引まなセ 区をじて ふ新き	体的に提案し、具体的を ・課題の改善策 令和4年度に取りを 令和4年度に改 ッよもを 実施でした。 を続いている。 を表え直に ビスの引きがいる。 を表え直に ビスの引きがいる。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。	なえ 祖容 考業、め 務・全 とて 和容 えの次る のRP庁 とも 引き底サ 率のに も引きにき	8つ多踏的ン化) ず読のなも対う和善窓法わ共返し効げ更対う和善窓法わ共返し	・	図づ入 和善 つ、にた お務れ う歳 たり保 年内 い次向。 けのま 寄入 めを策 度	に一を は層検 実よ期サ、 TOし成 受に がのン実 のを果 入努 のを果 入努	こ	のく必	全、評出 Rし職が 税る歳めがある つった なり価削 手の員で 流さ入きの カー インに減 を取りき 出と確にる。 ロー リセ継を 活をら体 制税保係。 (年体 政ッ続図 活をら体 制税策	度的 運トしつ 用行が制 (策制) では、運りでは、運力ででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一	え、 り容 すえる 業にをい とし が か で で 見管こ した で した で した が に が とし た が か で か で した か か で した か で した か か で した か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か か で か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か で しゃ か か で しゃ
1 ② ③	主・点 引まなセ 区をじて ふ新き	体的に提案し、具体的を ・課題の改善策 令和4年度に取りを 令和4年度に改 ッよもを 実施でした。 を続いている。 を表え直に ビスの引きがいる。 を表え直に ビスの引きがいる。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。 を表れている。	なえ 祖容 考業、め 務・全 とて 和容 えの次る のRP庁 とも 引き底サ 率のに も引きにき	8つ多踏的ン化) ず読のなも対う和善窓法わ共返し効げ更対う和善窓法わ共返し	・	図づ入 和善 つ、にた お務れ う歳 たり保 年内 い次向。 けのま 寄入 めを策 度	に一を は層検 実よ期サ、 TOし成 受に がのン実 のを果 入努 のを果 入努	こ	のく必	全、評出 Rし職が 税る歳めがある つっち なり価削 手の員で 流さ入きの カー インに減 を取りき 出と確にる。 ロー リセ継を 活をら体 制税保係。 ロー サール あり続図 活をら体 制税策	度的 運トしつ 用行が制 (策制) では、運りでは、運力ででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一	え、 り容 すえる 業にをい とし が か で で 見管こ した で した で した が に が とし た が か で か で した か か で した か で した か か で した か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か か で か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か か で しゃ か で しゃ か か で しゃ
題 問 ① ② 施状況 他区の実	主・ 点 引まなセ 区をじて ふ新き	体的に提案し、具体的を ・課題の改善策 令和4年度に改善内の ・課題の改善策 令和4年的と地域を ・では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	なえ 祖容 考業、め 務・全 とて せ えの次る のRP に も引 を底サ 率の広 にき	務つ後踏的ン化) ず読のなも対う和善窓法わ共返し未効げ更まと7を口にせ有礼、実	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	図づ入 和善 つ、にた お務れ う歳 の とり保 年内 い次向。 けのま 寄入 0 めを策 度	に一を は層検 実よ期サ、 Toし成 受に を果 入努 区 で のン実 のを果 入努 区 の の と の の の の の の の の の の の の の の の の	に 生 は し た に し に し に し に し に の に の に の に を に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。	のく必 業必要 健め政歳 BP直(と 区ふな	全、評出 Rし職が 税る歳をがある つった なり価削 まの員で 流さ入 でいる。 15具 財セ継を を組自る 抑納保 を組自る 抑納保 があり かい続図 活をら体 制税策	度的運入して、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では	え、
題 問 ① ② 施状況 記 過 他区の実	主・ 点 引まなセ 区をIC S新き 平	体的に提案し、具体的を 今後の財 の 改善策	なえ 祖容 考業、め 務・全 とて 区 経知 で まっからの次る のRP 庁 とも 営 学 を底サ 率の拡 にき と	務つ後 踏的ン ICD ず 読 でのなも 対う和善 窓法わ共 返し 未 改 対	作組る	図づ入 和善 つ、にた お務れ う歳 て たり保 年内 い次向。 けのま 寄入 0 て めを策 度	に一を は層検 実よ期サ、 Toし成 受に を果 入努 区 で のン実 のを果 入努 区 の の と の の の の の の の の の の の の の の の の	に 生 は し た に し に し に し に し に の に の に の に を に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。	のく必 業必要 健め政歳 BP直(と 区ふな	全、評出 Rし職が 税る歳をがある つった なり価削 まの員で 流さ入 でいる。 15具 財セ継を を組自る 抑納保 を組自る 抑納保 があり かい続図 活をら体 制税策	度的運入して、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では	え、
題 問 ① ② 施状況 況(の実 議会	主 <u> </u>	体的に提取 きまり (本) を	なえ 祖容 考業、め 務・全 とて 区 政底取て む えの次る のRP庁 とも 区 経し出へ 方徹回。 効等に も引 営ただした と行いた かい は にき	務つ後踏的ン化) ず続行政のなも対う和善窓法わ共返し未政改効げ更対う和善窓法わ共返し未改革本るなまと7を口にせ有礼、実革の	作組る	図づ入 和善 つ、にた お務れ う歳 て	に一を こ3 をりて は層検 実よ期サ、 TOし成 受に ク 大推討 施びのン実 のを果 入努 区 ク	こ 性し た 価 直ッ方 入っを をた プまてい しり法 BPc全 開。 アンドラ でいく でいく かんかん アンドラ かんしん アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	のく必 デキ女 EAS B直(と 区ふな ら が 発要か は の政歳 BD直(と 区ふな ら に に に に に に に に に に に に に	会がが 全、評出 Rし職が 税る歳 のきある つって サ価削 手の員で 流さ入 の 発にる。 ち具 財セ継を を組自る 抑納保 転 年体 政ッ続図 活をら体 制税策 担 	度的 運トしつ 用行が制 策制の区 に善 継の入く 全と改え と活を いたと務整 ひを討いて たと務整 ひを討いて かん とのです いている かんしん いている かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	え、
題問①②③施状況況(要は00 <td>主 <u> </u></td> <td>体的に提及の は</td> <td>なえ 祖容 考業、め 務・全 とて 区 政底る取て む えの次る のRP庁 とも 区 経しさとに今 を底サ 率の にも引 営たとにう</td> <td>務つ後踏的ン化) ず続行政税のなも対う和善窓法わ共返し未政改返効げ更対う和善窓法わ共返し未改革礼率るなにせ有 礼、実革の品</td> <td> 作組る 事と年後 業よてし 品新 施 に推っを織歳 令改 にじ)し に第こ。 件を 一つ進ン</td> <td>図づ入 和善 つ、にた お務れ う歳 て スたり保 年内 い次向。 けのま 寄入 0 て スたり保 度材 て回け 3.見で </td> <td>に一を は層検 実よ期サ、 TOL成 受に ク 税 ・推討 ・施びのン実 のを果 入努 区 ク 税</td> <td>こ 性し た 価 直ッ方 入っを をた プまてい しり法 BPc全 開。 アンドラ でいく でいく かんかん アンドラ かんしん アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア</td> <td>のく必 デキ女 EAS B直(と 区ふな ら が 発要か は の政歳 BD直(と 区ふな ら に に に に に に に に に に に に に</td> <td>全、評出 Rし職が 税る歳をがある つった なり価削 まの員で 流さ入 でいる。 15具 財セ継を を組自る 抑納保 を組自る 抑納保 があり かい続図 活をら体 制税策</td> <td>度的 運トしつ 用行が制 策制の区 に善 継の入く 全と改え と活を いたと務整 ひを討いて たと務整 ひを討いて かん とのです いている かんしん いている かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし</td> <td>え、</td>	主 <u> </u>	体的に提及の は	なえ 祖容 考業、め 務・全 とて 区 政底る取て む えの次る のRP庁 とも 区 経しさとに今 を底サ 率の にも引 営たとにう	務つ後踏的ン化) ず続行政税のなも対う和善窓法わ共返し未政改返効げ更対う和善窓法わ共返し未改革礼率るなにせ有 礼、実革の品	作組る 事と年後 業よてし 品新 施 に推っを織歳 令改 にじ)し に第こ。 件を 一つ進ン	図づ入 和善 つ、にた お務れ う歳 て スたり保 年内 い次向。 けのま 寄入 0 て スたり保 度材 て回け 3.見で	に一を は層検 実よ期サ、 TOL成 受に ク 税 ・推討 ・施びのン実 のを果 入努 区 ク 税	こ 性し た 価 直ッ方 入っを をた プまてい しり法 BPc全 開。 アンドラ でいく でいく かんかん アンドラ かんしん アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	のく必 デキ女 EAS B直(と 区ふな ら が 発要か は の政歳 BD直(と 区ふな ら に に に に に に に に に に に に に	全、評出 Rし職が 税る歳をがある つった なり価削 まの員で 流さ入 でいる。 15具 財セ継を を組自る 抑納保 を組自る 抑納保 があり かい続図 活をら体 制税策	度的 運トしつ 用行が制 策制の区 に善 継の入く 全と改え と活を いたと務整 ひを討いて たと務整 ひを討いて かん とのです いている かんしん いている かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	え、
題 問 ① ② 施状況 況(要旨 通 他区の実 議会質問	主・ 点 引まなセ 区をIC る新き 平令令	体的に提取 きまり (本) を	なえ 祖容 考業、め 務・全 とて 区 政底るるる取て む えの次る のRP庁 とも	務つ後踏的ン化) ず続行政税税のなも対う和善窓法わ共返し未改革礼度効げ更家と7を口にせ有礼、実革の品を	化組る 事と年後 業よてし 品新 施 に推コ活を織歳 令改 にじ)し に業こ。 件を つ進ン用	図づ入 和善 つ、にた お務れ う歳 て スたり保 年内 い次向。 けのま 寄入 0 て スたり保 度材 て回け 3.見で	に一を は層検 実よ期サ、 TOL成 受に ク 税 ・推討 ・施びのン実 のを果 入努 区 ク 税	こ 性し た 価 直ッ方 入っを をた プまてい しり法 BPc全 開。 アンドラ でいく でいく かんかん アンドラ かんしん アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	のく必 デキ女 EAS B直(と 区ふな ら が 発要か は の政歳 BD直(と 区ふな ら に に に に に に に に に に に に に	会がが 全、評出 Rし職が 税る歳 のきある つって サ価削 手の員で 流さ入 の 発にる。 ち具 財セ継を を組自る 抑納保 転 年体 政ッ続図 活をら体 制税策 担 	度的 運トしつ 用行が制 策制の区 に善 継の入く 全と改え と活を いたと務整 ひを討いて たと務整 ひを討いて かん とのです いている かんしん いている かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	え、

事務事	事美	業コード	0	1-01-1	5				略プラン		O 業		財務	〇人事
事務事	事業	業名	,	パブリッ	ク・コス	メント制	度の推進	部記担当		<mark>務企画部総</mark> 藤、高須	<u> </u>	課長名 内線		漆畑
事務事	業	を構成する	る小事業	名										
及び予	算	事業コー	ド(5年度	Ę)										
事務	丰美	業の種類		事業	(〇 5年	厚 ○	4年度)	〇建	設事業	•	それ以外	小の継	続事業
開始年			1 774	17 (200	5)		根拠		手続法第39			± 45	
終期記			○ 有 ●		()		法令等		区パブリッ				
実施		<u></u>	〇法令	_			● 区独	目基準	計画	<u> </u>	● 計	'	〇非	計画
		評価	<u>分野</u> 政策	VII 13		<u>作進のた</u> D主体的	<u>めに</u> な区政参	き画と連	生					
事	業	体系	施策	02		後能の充			乃 江 10					
		区の政						図ること	により、	区民に対す	する説明	責任を果	たす	0
目的	,					積極的に	こ取り入れ	れ、区政	に反映る	させること~	で、区民	の区政へ	の参	画を促進
Пн	J	し、開か	れた区	政を実	現する。									
		反日生	(A) Er th	ı - ナ. /-	/. #h	た出のす	<u>- 0</u> 151	力1- 古 3	元 古 *	*****	フ /田 I		フ.の	小 马名
対象:	者				、仕勤、 響を受け				が、争ま	業所を有する	の他人、	四14、3	っての	他、刈豕
等		ال رح رح ال	四 寸 C	ひ ファン	百と又い	の回 <i>八、</i>	121 Pr 37	,						
			機関											
		区長	、教育	委員会	、選挙管	理委員会	:、監査	委員						
		 2 対象												
				的な精	構想、計 画	画等の策	定及7,1次	定						
内容	2				構想、計画				È					
ביניו	1	(3)	区政の批	推進に係	系る基本的	りな制度	等の制定	及び改図	尧					
					果し、又に				訓定及び	改廃				
		(5)	その他ヲ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	員が特に が	少安と認	めるもの)						
		 平成17年	· 申 · 坽	計開始										
					(各所管	で実施)								
		平成19年	度:全	庁統一	基準を策	定(要組								
		令和3年	度:意見	見等の扱	是出方法で	を拡充(拡充した	提出方法	去:区ホ	ームページ	からのん	(九)		
4 ₹ 10														
経過	<u> </u>													
		ᆇᄱᄝ	r # - # ##	担の甘	士四会の	0 T t	- 7 [[]	□	hh+>++	- of / U = /	<u> </u>	<i>+</i> 由用 +	- 7 11	п. Ф
必要怕	4-									らづくりへの もの努力義和				
少安1	±				要である		以上、心。	九厶夯丁	がい天か	世のカカカ 大利	为70.7处70	C10 C 0)) ,	区以0723
		(<mark>1直営</mark>						光	3 0	会計年度任	1 田 幽 吕	1		
実施	<u> </u>			% □)			-			云訂平度15 気見募集を1)		
方法	=		担当床	心口、	四小一五	ハーン、	月	<u>ж</u> а—)	一寺であ	3兄夯未で1	1.0°			
								指標の推	移					
指		事務事業	の成果	とする:	指標名	0 /- -	0 /		5年度	目標値	1	指標に関	する	说明
18						2年度	3年度	4年度	見込み					
	(1)	パブリッ	クコメン	ト1件当	たり意	28	30	93	28	35	全意見数	7/パブリ	ック=	1メント実施
	U	見数				20	30	90	20	33	件剱			
標	2	反映した	意見の割	合		71	50	27	50	70	(反映し)件数)/:		┝既に	盛込済みの
البر البر	_										一致ノノニ	工心兀奴		
	3													
		事務	事業のタ	} 類					○ 米西! 一	レナのギョ	. 立口4	£		
	5	年度		6年/	变			5	が親につ	いての説明	『思見≒	于		
						区民等	等の意見	を施策に	的確に原	支映し、区.	民参加を	促進する	らため	、継続し
		継続		継糸	±	て実施す		• •						
		小企 心飞		祁 丕	טט									

No2 (単位: 千円)

(単位:千円) 予算・決算額等の推移 29年度 30年度 元年度 2年度 34年度 4年度 5年度												
予算・決算額等の推移 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度 予算額 -												
	額(5年度は見込み)					_	-		_	_		
実	事項名(5年度は見込		29年度	30年度	元年原			3年度	4年度	5年度		
績	パブリックコメントの実施		6 148		-	2	8	101	652	120		
の 推	パブリックコメント意見の	り竹剱	148	90		10	226	121	653	139		
移												
予算	・決算の内訳											
h.h.	令和3年度(決算)	A# (TT)		かれる		A# (Z.III)	<i>h</i> -		<u> (予算)</u>	金額(千円)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事	<u></u>	金額(千円)	節	土	な事項	金額 (十円)		
								<u> </u>		立:千円)		
	□ 勘定科目 □ 給与関係費	3年度 65	4年度	差額 61	6 坩	勘定科目 :方税等		3年度 0	4年度 0	差額の		
	指子関係質 物件費		0	0	0 1	<u>/万祝寺</u> 庫支出金		0	0	0		
行	維持補修費		0	0	0 行 都	支出金		0	0	0		
政コ	行扶助費		0	0	UV	担金及び負		0	0	0		
コス	政 対 対 対 対 は は は は は は は は は は は は は		0	0		用料及び手 の他	数料	0	0	0		
 	頁		0	0		<u>の他</u> 政収入合計	· (a)	0	0	0		
計算	賞与・退職給与引当金繰入額	13	9	35 🔺 1		支差額(a)-(b)		▲ 794	▲ 696	98		
書	その他行政費用		0	0		収支差額(0	0	0		
	行政費用合計(b)	79				支差額(c)+(d)	=(e)	▲ 794	▲ 696	98 0		
	特別費用(g) 特別収支差額(f)-(g)=(h)		0 0 0 特別収入(f) 0 0 当期収支差額(e)+(l)					▲ 794	▲ 696	98		
備	パブリック・コメントの				ムペー	ジの更新等	は、鵈	貴が行っ		• •		
考	等が発生せず、行政費用に	は給与関係	費と賞与	• 退職給与	引当金約	桑入額のみ	となっ	ている。				
問	より多くの意見を聴取る	することが	できるよ	う、ホーム	ページ	等を活用す	る等、	より回答	・しやすい那	彡でパブ		
題	リック・コメントを実施し	していく必	要がある	0								
点												
· 課												
題												
問題	点・課題の改善策											
	令和4年度に取り約	 且む		令和4年度	に実施し	<u>,</u> た		———— 令和5年度	と 以降に取り	り組む		
	具体的な改善内			改善内容は	および評	価			的な改善内			
	区ホームページの意見提出			ムページの					見の聴取に			
1	の活用や積極的な周知に「	可けて、全		を含め、意見		方法を幅			の活用等を	~~~ \		
				ナフロニニュ	ストニ	マ 中 め に		— pkii nii		宮めて全		
	庁統一的に取り組む。 		取り組み		るよう、	全庁的に	庁統	一的に取	り組む。	宮めて全		
		実施に当た	取り組み	んだ。								
	パブリック・コメントの り、施策の素案の内容を	より分かり	取り組み 多くの意	んだ。 意見聴取に「 メント実施の	向け、 <i>ハ</i> の際は区	パブリッ ニホーム	分か表を	りやすい 行うとと	形で施策の もに、SNS	素案の公 等の積極		
2	パブリック・コメントの り、施策の素案の内容を やすい形で公表し、SNSで	より分かり	取り組ん 多くの意 ク・コンページャ	んだ。 意見聴取にI メント実施の pSNSを積極	向け、 <i>ハ</i> の際は区	パブリッ ニホーム	分か表を	りやすい 行うとと	形で施策の	素案の公 等の積極		
2	パブリック・コメントの り、施策の素案の内容を	より分かり	取り組み 多くの意	んだ。 意見聴取にI メント実施の pSNSを積極	向け、 <i>ハ</i> の際は区	パブリッ ニホーム	分か表を	りやすい 行うとと	形で施策の もに、SNS	素案の公 等の積極		
2	パブリック・コメントの り、施策の素案の内容を やすい形で公表し、SNSで	より分かり	取り組ん 多くの意 ク・コンページャ	んだ。 意見聴取にI メント実施の pSNSを積極	向け、 <i>ハ</i> の際は区	パブリッ ニホーム	分か表を	りやすい 行うとと	形で施策の もに、SNS	素案の公 等の積極		
2	パブリック・コメントの り、施策の素案の内容を やすい形で公表し、SNSで	より分かり	取り組ん 多くの意 ク・コンページャ	んだ。 意見聴取にI メント実施の pSNSを積極	向け、 <i>ハ</i> の際は区	パブリッ ニホーム	分か表を	りやすい 行うとと	形で施策の もに、SNS	素案の公 等の積極		
	パブリック・コメントの り、施策の素案の内容を やすい形で公表し、SNSで	より分かり	取り組ん 多くの意 ク・コンページャ	んだ。 意見聴取にI メント実施の pSNSを積極	向け、 <i>ハ</i> の際は区	パブリッ ニホーム	分か表を	りやすい 行うとと	形で施策の もに、SNS	素案の公 等の積極		
③	パブリック・コメントの別り、施策の素案の内容をあわすい形で公表し、SNSで周知を徹底をする。	より分かり	取り組ん 多くの意 ク・コンページャ	んだ。 意見聴取にI メント実施の pSNSを積極	向け、 <i>ハ</i> の際は区	パブリッ ニホーム	分か表を	りやすい 行うとと 活用によ	形で施策の もに、SNS	素案の公 等の積極		
③	パブリック・コメントの別り、施策の素案の内容をあわすい形で公表し、SNSで周知を徹底をする。	より分かり も実施の <u></u> 区	取り組ん多くの意ク・コンページを公表し	んだ。 意見聴取に「 メント実施(やSNSを積極 した。	向け、ハ の際は区 的に活	パブリッ ホーム 用し、素案	分か表を	りやすい 行うとと 活用によ	形で施策の もに、SNS り、周知を	素案の公 等の積極		
③	パブリック・コメントの別り、施策の素案の内容をあわすい形で公表し、SNSで周知を徹底をする。	より分かり も実施の <u></u> 区	取り組ん多くの意ク・コンページを公表し	んだ。 意見聴取に「 メント実施(やSNSを積極 した。	向け、ハ の際は区 的に活	パブリッ ホーム 用し、素案	分か表を	りやすい 行うとと 活用によ	形で施策の もに、SNS り、周知を	素案の公 等の積極		
③ 他区の実	パブリック・コメントの別り、施策の素案の内容をあわすい形で公表し、SNSで周知を徹底をする。 (実施 22 要綱・規則等により実施・条例により実施・5区	より分かり :も実施の <u>区</u> …17区	取り組んをうる。	んだ。 意見聴取に「 メント実施の やSNSを積極 した。	向け、ハの際は区的に活力を受ける。	パブリッ ホーム 用し、素案	分か表を	りやすい 行うとと 活用によ	形で施策の もに、SNS り、周知を	素案の公 等の積極		
③ 施状況 況 一	パブリック・コメントの別り、施策の素案の内容をあわれまで公表し、SNSで周知を徹底をする。 (実施 22 要綱・規則等により実施・条例により実施・5区 平成30年度6月会議 パブ	より分かり :も実施の <u>区</u> …17区	取り組んをうる。	んだ。 意見聴取に「 メント実施の やSNSを積極 した。	向け、ハの際は区的に活力を受ける。	パブリッ ホーム 用し、素案	分か表を	りやすい 行うとと 活用によ	形で施策の もに、SNS り、周知を	素案の公 等の積極		
③ 施状況 況(元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	パブリック・コメントの別り、施策の素案の内容をあわれまで公表し、SNSで周知を徹底をする。 (実施 22 要綱・規則等により実施・条例により実施・5区 で成30年度6月会議 パブ	より分かり :も実施の <u>区</u> …17区	取り組んをうる。	んだ。 意見聴取に「 メント実施の やSNSを積極 した。	向け、ハの際は区的に活力を受ける。	パブリッ ホーム 用し、素案	分か表を	りやすい 行うとと 活用によ	形で施策の もに、SNS り、周知を	素案の公 等の積極		
③ 施状況 況 一	パブリック・コメントの別り、施策の素案の内容をあわれい形で公表し、SNSで周知を徹底をする。 (実施 22 要綱・規則等により実施・条例により実施・・・5区 ア成30年度6月会議 パブ	より分かり :も実施の <u>区</u> …17区	取り組んをうる。	んだ。 意見聴取に「 メント実施の やSNSを積極 した。	向け、ハの際は区的に活力を受ける。	パブリッ ホーム 用し、素案	分か表を	りやすい 行うとと 活用によ	形で施策の もに、SNS り、周知を	素案の公 等の積極		

												NOI	
事務	事第	業コード		01-01-1	6				略プラン) 財務 <mark>○</mark> 人	事
事務署	事為	美名		自治体的	レンクタン			担当	者名 堀	米	際企画課 課長名 内線	漆畑 2113	
		を構成す。			01-0	2-02	自治総合	合研究所:	運営支援	<u>1</u>			
車 整 3	直当	業の種類	〇 新	担重業	(〇 5年	E 度 〇	4年度)	○建		● それ じょ	外の継続事業	
開始			平成		2008			根拠			川区自治総合研		ħ
終期記					·和 7 (法令等		に関する条		261711-717-05	,
実施				令基準内		基準内			計画		○計画	● 非計画	
			分里			進のた				_,,	нін	N HI II	
		評価	政策					る行財	ひ運営の かんしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	戦略的推進			
-	耒	体系	施領	〔 01		内な政策							
目的	þ	視点に立協力・支 の高い区	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	調査研究 制を構築 ービスの	を行い、 するなど 提供に寄	荒川区に 、研究所	に対し有3 fの安定i	効な政策	提言等を	を行うことが	こついて多角的だができるよう、ネ 区の政策形成能に	補助金の交付や)
対象:	者	荒川区 	☑自治	総合研究	所								
内容	4/1	課【る【【目【ジと1調査政人す情ムの調査政人す情ム	E携 · 究 · 成 · 农 · 农 · 成 · 成 · 成 · 成 · 成 · 成 · 人 · 人 · 人 · 人	協】 支】治・物力荒 援()体情等体川 】調連報を制を 課調合発通	の構築等 民総 発研究への (信】 で 通 に で で で の に で の の で の の の の の の の の の の	、度 戦職 も いの いの いの いの のの のの のの のの のの のの	な 大 と な	行関 成しの情をの情を広く ひょう でいい でんし でんし できる でんき できる はい こう いい かい	究プロシ るための 総合的な 援 集、整理 発信	ジェクトを()区への助詞 能力の向上	(2)「住民の動	改の課題に関す 幸福実感向上を	-
経過		H21年10 H23年8月 〈ここ 【元 【元 【元 【記 【記 【記 【記 【記 】 【記 】 【記 】 【記	月11で民の後研員験業日:可総貧の究のを後	: 一野幸困支】モ通の一般テ度社に べたど射 一(会関 一子も	GAH) 排除る ションも お お お お お お が が る が よ る い り る り る り る り る り る り る り る ろ る ろ る ろ る	川区自治 公益財 に研究】 別 究 別 で 記 で 記 の の の の の の の の の の の の の の の の	団法人に る研究】 研究】 研究】 取難に関 [・]	まる研究	1		本経営の基盤強化	と た 行 1) 猫 白	_
必要怕	生		≧国の								な調査研究を行う		
実施	<u> </u>	(<mark>1直営</mark>)	(直営の場	易合●	常勤職員	0	会計年度任	E用職員)		
方法													
73 12	•												
指		事務事業	の成績	果とする	指標名	0.45		指標の推	1 5年度	目標値	指標に関	目する説明	
,,,						2年度	3年度	4年度	見込み	(8年度)			
	1	区への研	究報告	·等		1	0	0	2	2	研究成果をまとめ発行等		
標	2	情報発信	数			4	4	3	5	6	ニュースレター等 区内外の啓発等の		`
	3	研究所へ			ミ対応数	2	3	11	15	50			
	_		事 耒()	分類				3	分類につ	いての説明	・意見等		
	5	年度		6年)		TTT	r o = =						
5年度 6年度 研究所の安定した運営に資 推進									に負する	る7c <i>の</i> 、適 ^t	驯 な文援を行つ。	5	

											No2
										(単位	1102 2:千円)
	・決算額等の推移		29年度	30年度		年度	2年月		3年度	4年度	5年度
予算			30, 303			, 587	30, 4		20, 042	19, 762	20, 045
	額(5年度は見込み)	-)	26, 599			, 234	18, 4		14, 215	14, 986	20, 045
実	事項名(5年度は見込	み)	29年度	30年度	元	<u>元年度</u> 0		度	3年度	4年度	5年度
績の	区への研究報告数 情報発信数			1 2 2 4		5		4	0	0 3	2 5
推	開報先信数 研究所への視察、マスコミ	対応件数	Δ	1 31		19		2	3	11	15
移	9120171 42 20221 171 47	17/0/11 32	·	1							10
予算	・決算の内訳										
	令和3年度(決算)			令和4年度()				F度(予算)	
節		金額(千円)	節	主な事	項		頁 (千円)	節		な事項	金額(千円)
負担金補助	法人運営費	14, 215	担金補助等	去人運営費		14	, 986 g	担金補助等	法人運営] 實	20, 045
						441			<u> </u>		注:千円)
	勘定科目	3年度	4年		10		定科目		3年度	4年度	差額
	給与関係費 物件費	1, 96	0	984	19	地方	ሺ寺 支出金		0	0	0
行	維持補修費		0	0	0 行	都支			0	0	0
政	行 扶助費		0	0	可政		ロル を及び負	担金	0	0	0
П 1	政補助費等	14, 21	5 14,	986 7	71 1		4及び手		0	0	0
スト	費減価償却費		0	0	0	その			0	0	0
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0		以入合計		0	0	0
計算	賞与・退職給与引当金繰入額	41					額(a)-(b)			▲ 17, 076	▲ 480
書	【その他行政費用 行政費用合計(b)	16, 59	0 17	076 4			支差額(額(c)+(d)		0 16, 596	0 ▲ 17, 076	<u> </u>
	特別費用(g)	10, 55	0	0		別収入) – (e)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0			差額(e)-	+ (h)	ŭ	▲ 17, 076	▲ 480
備	令和3年度と令和4年度を	北較し、補	助費等	が増額となっ	た主	な理由	として			7イルス感染	セ症により
岩	縮小していた理事会や評詞	義会等を再	開した。	ことで、役員	:幡辞	が発生	Εしたこ	とに。	よるものて	゙ ある。	
	- 現党は思については、2	ᆖᇎᇎ	- + \ 1 + Z +	ヒ価生べのご	. III / -	しじ士	- 2 -#	日仕も	カナ > Th 空 1-	ーつかがてり	・こみ生む
問	・研究成果については、行成を行う職員や区民と直打										
題点	区の実情に見合った調査				`~.	× 1± 10	0 5 0 0	01721	_ • и	P G C X 133 C	штос
·	・区民や区内外に向けたる	研究成果等	の情報		、広	く理解	な深め ないりゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう おいしゅう アスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティス	られる	るよう報告	書やレポー	-トなど、
課	様々な形で発信していく。	必要がある	0 0								
題											
問題	点・課題の改善策										
	令和4年度に取り約	<u></u> 且む	令和4年度に実施した 令和5年度以降に			度以降に取り	J組む				
	具体的な改善内			改善内容						的な改善内	

	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した 改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1	ら積極的に提案し、区と連携しなが	主任1年目職員を対象に「GAHを活用 した政策形成について」と題した研 修を実施。研究の中間まとめの報告 受け、意見交換を行った。	研究成果の活用に向けて、研究所 から積極的な提案を促し、各部署 と連携しながら区政に反映させて いく。
2		コミュニティカレッジの講座やRILAC NEWS、GAHレポートとあわせて、新たにSNSを活用した情報発信に取り組んだ。	様々な形で情報発信し、広く理解
3			
施他	(実施 4 区	未実施 18 区 不明	0 区)
施状況 他区の実	せたがや自治政策研究所(平成19年 北区政策課題研究会(平成22年4月	₹4月設置)、新宿自治創造研究所(平 設置)、港区政策創造研究所(平成23	
況議			
(要旨)			
世代			

事務事	詳	ロード		01-01-						∕ ○協働			財務	〇人事
事務事業名荒川区シンボルキャラクターの活用部課名総務企画部総務企画課課長名期担当者名遠藤、小林内線事務事業を構成する小事業名01-01-10シンボルマーク・キャラクターの活用推進												漆畑		
事務事 及び予	業算	を構成する	る小事 ド (5年	業名 度)	01	-01-10	シンボル	<u>レマーク</u>	• + + >	<u>ラクターの</u> 流	舌用推進_			
事務事	当	*の種類	〇 新:	事業	(0)	5年度 〇	4年度)	○建	設事業		それ以外	水の緋	:続車業
開始年			平成	20		008		根拠	U Æ	以于木		(1000)	/ ・Oフ 小 <u>戸</u>	池子木
終期設								法令等						
実施基				令基準区		都基準内	●区独	自基準	計画	区分	〇計	画	●非	計画
<i>4</i> =	πh	:評価	分野			画推進のた	めに							
		体系	政策							戦略的推進	Ė			
	<u> </u>		施策			格的な政策								
目的										「あらみぃ ₋ 発信し、区(
対象都等	МM		-		E学者、	事業主、	あら坊・)	あらみい	に関心の	のある方 🧐	等			
内容		(2) 平 (3) (4) デ (5) 有 (2) 商標 (1)	区内あ成な名川べ、 で 外 ら 3 4 4 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	イ方 E 4 月 日 トーペフレー は 1 月 月 物 山 一 参る の トーペフレー か 以 ~ へ そ の し か り ~ そ の の の の の の の の の の の の の の の の の の	566 降へパート 666 降の一向活商の一向活商にいませば 1年 利	あら坊の/ ヤラクタ- 用の拡大	D作成、 D一部: 絵本購入 ページ」 ーグッズ (平成25:	東日本大 、「あら ^り の情報発 作成、 年10月以	方」絵本 信 布 降全て無	コーナー	で弁償			
経過		平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成24年 平成25年 令和 4年	E E 6月 E 8月 E 5月 E10月 E10月		「ああ標らあったがあります。「商あであるであるですがありますがありますがある。」では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	用の無償化 販売店舗の	反売開始開始 の売開期 の の の の の の の の に を に に に に に に に に に に に に に	設 `るみの1 案の決定 あら坊」	貸出し開 「あら∂	始 みい」に特別			いけと	 なる。ま
必要性	Ė									田名度アッ			必要で	ある。
実施		(2一部)		(直営の均	易合 〇	常勤職員	Į O	会計年度任	E用職員)		
方法		キャラク	ター!	ブッズの)販売委	託								
								指標の推	 É 移					
指		事務事業	の成果	とする	指標名	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値(8年度)	· ‡	指標に関	する語	説明
(1)	キャラク (外部)		商標権使	用件数	52	62	90	126	150	新規+継	続使用件	-数	
標	2	着ぐるみ	のイベ	ント出演	回数/回	11	6	26	30	50	年間貸出	件数		
(3													
		事務	事業の	分類					と記録しつ	いての説明]。音目学	¥		
	5	年度		6年	度									
	;	推進		推	_ 進		の区への 等に資す			土への愛着 る。	を深める	とともに	こ、区	のイメー

(単位:千円)

							\ 	<u> </u>
予算	・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算	額	1, 336	1, 384	2, 323	1, 620	868	2, 667	1, 600
決算	額(5年度は見込み)	1, 008	1, 197	2, 014	965	552	2, 476	1, 600
実	事項名(5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
績								
の								
推								
移								

予算・決算の内訳

	令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	消耗品購入費	61		物品修繕等	72		物品修繕等	434
区加县	クリーニング代等	48	役務費	クリーニング代	95	役務費	クリーニング代	290
委託費	グッズ作成委託料等	442	委託費	グッズ作成委託料等	1, 918	委託費	グッズ作成委託料等	876
			公課費	商標権更新登録申請料	393			

(単位:千円)

							\ T	
	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	給与関係費	5, 614	5, 670			0	0	0
<i>,</i> _	物件費	552	2, 084	1, 532	_~ 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	収り担金及び負担金	0	0	0
コス	政補助費等	0	0	0	ル 使用料及び手数料	0	0	0
^	費減価償却費	137	137	0	へその他	508	1, 463	955
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	508	1, 463	955
笛	賞与・退職給与引当金繰入額	1, 190	304	▲ 886	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 6, 985	▲ 6, 732	253
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	7, 493	8, 195	702	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 6, 985	▲ 6, 732	253
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 6, 985	▲ 6, 732	253

・行政費用のうち、物件費については、限定グッズ作成委託料及び既存グッズの在庫確保のため増加してい る。 考

・行政収入のうち、その他の内訳は、雑入(キャラクターグッズの売上金)である。 ・シンボルキャラクターを通じて区への愛着形成や区の認知度向上を図るため、キャラクターの効果的な活用 について検討する必要がある。

・民間事業者による商標利用を促進する必要がある。

課 題

点

問題占・理題の改善等

L	问起,	は 一	
		令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した
		ホームページやSNS等により商標利用の促進を図るとともに、グッズをふるさと納税返礼品とし、より広く周知を図る。	き、ふるさと納税返礼品にもグッズ 推進するとともに、使用方法が取
		着ぐるみ等の利用希望者に分かりやすい案内となるよう、ホームページの記載を見直す。	
	3		
Ī	_t 他	(実施 22 区	未実施 0 区 不明 0 区)

施他 公式キャラクターを設定している区は3区(杉並区・平成18年度/練馬区・平成23年度/渋谷区・平成24年度) その他の区は観光・産業等の分野ごとに設定 度)その他の区は観光・産業等の分野ごとに設定

沢議 平成22年3定 「あら坊」のアニメを作成(ITを活用した区のイメージアップと活性化)について 会 平成23年1定 「あら坊」の徹底した活用について 平成29年度予特 「あら坊」の着ぐるみについて 合和元年度予特「あら坊」の新たな活用について 分和元年度予特 「あら坊」の新たな活用について 分和2年度予特 グッズの販路地土について

状 令和2年度予特 グッズの販路拡大について

No₁

															NO I
事務事	丰業	ミコード		01-01-	18				各プラ		○協働	O 業		財務	○人事
事務事	事業	美名		ニュー	タウン施設				者名	長島、	E <mark>画部総列</mark> 小林	8企画課	課長名 内線		中野 2119
		を構成す。 事業コー			01-0	01-06	ニュー	タウン施設	策の推	進					
		きの種類			() 54	年度 〇	4年度)		建設導	主 坐		それ以外	とと	结 重要
開始名			平成		(200			根拠		建议=	尹禾		てれいか	トリノ和生	<u> </u>
終期記				〇無	•		年度	法令等							
実施基				令基準I]基準内			計画	画区が	}	〇計	·画	● 非	計画
2 -	T/J	評価	分里			推進のた									
		体系	政領					多画と連携	 養化						
目的]	再開発とは異な交流や通	る行	で中高原 政需要が 図る。	番集合住宅 が生じるこ	ことが想象	まれ変わ とされる	り、人口 ことから	、地垣						
対象 等	者	南千住東	部地:	域(主Ⅰ	こ南千住 4	↓・8丁[目)在住	の区民等							
内容		地域情 「汐入か 〇 コミコ	報の わら - ータ - ニテ	提供に。 版」の ウン活 イ活動で	か発行の発行の支持の表別では、 できる	ニニティ派 そ行う。 会」の運序 きせるため	用 か、活性	化を促進							
経過	<u>1</u>	昭和44年 昭和56年 平成22年 平成22年 平成23年 平成24年 平成24年 十二十二	E6月 E2月 E3月 E412月 E3月 E3月 T2月 C12月 C12月 C12 E3月 C12 E3 E3 E3 E4 E4 E4 E4 E4 E4 E4 E4 E4 E4 E4 E4 E4	白集白リニ住り(「)	東廣合賃では、大学の大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	5000000000000000000000000000000000000	ミュニテ 実完一本 は は は は は は は は は は と い と い ま り と り と り る り で り で り で り で り で り で り で り で り で	ィ の ペ補年8月 イ 一 の	設 付要網 月、25 かわら を症の E4丁目	岡を制5年3月 5年3月 5版」 影響に 影自治	定(平成 8月に を年4回 こより年 会にも抗	t25年度 に開催) ペースで 3回発行 t大し、	で発行 ·) 部数を5	, 500部	に増部
必要性		げられる	。今	後、区区	中 同 層 の 第 内 に 集 合 信 資 す る も <i>の</i>	È宅の増加	□が想定								
中华		(<mark>1直営</mark>)				常勤職員	7		計年度任		•		
実施 方法			-タウ	ン事業	隹進員を酢	己置し、₺	也域特性	と課題を	整理し	/、地	!域コミ <i>=</i>	ュニティ	活動のサ	ナポー	トを行
73 12	`	う。													
指		事務事業	の成績	果とする	指標名		ı	指標の推	:移 5年度	∓ 	目標値	;	指標に関	する記	
担						2年度	3年度	4年度	見込∂		8年度)				
	\bigcirc	地域への	4 · 8				19. 3	21. 5	23.	0	23.0	区平均22	ケート調査 2.4%(4 ⁴	年度)	
標	(2)	地域の人(南千住	4 · 8	丁目)	(%)		11.4	18. 8	23.	0	23.0	区平均1	ケート調3 7.9%(43	年度)	
	3		4 • 8	丁目)			24. 6	20. 6	23.	0			ケート調査 0.4%(4 ⁴		
			事業の)分類		4		4	う類に	ついて	ての説明	• 意見 等	等		
	5:	年度		6年			\ -							1 12 2 2	
重	点白	的に推進		重点的	に推進			働で行う ミュニテ							のモデル 。

(単位:千円)

							, i i	
予算	・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算	額	3, 630	3, 853	4, 151	4, 943	4, 856	4, 829	4, 774
決算	額(5年度は見込み)	3, 328	3, 749	3, 731	4, 319	4, 269	4, 156	4, 774
実	事項名(5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
績	汐入かわら版発行回数	4	4	4	3	4	4	4
の								
推								
移								
~ M	は年の中田							

|予算・決算の内訳|

令和3年度(決算)				令和4年度(決算)		令和5年度(予算)			
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	
報酬等	ニュータウン事業推進員報酬・期末手当	3, 264	報酬等	ニュータウン事業推進員報酬・期末手当	3, 298	TIVIDITI	ニュータウン事業推進員報酬・期末手当	3, 325	
共済費	ニュータウン事業推進員健康保険料等	494	共済費	ニュータウン事業推進員健康保険料等	491	共済費	ニュータウン事業推進員健康保険料等	478	
旅費	特別旅費	64		特別旅費	67	旅費	特別旅費	71	
使用料及び賃借料	作成ソフト	0	使用料及び賃借料	作成ソフト	0	使用料及び賃借料	作成ソフト	0	
負担金補助等	汐入かわら版補助金等	447	負担金補助等	汐入かわら版補助金等	300	負担金補助等	汐入かわら版補助金等	900	

(単位:千円)

							\ -	
	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	給与関係費	4, 609	4, 731	122	地方税等	0	0	0
	物件費	64	67	3	_{。-} 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	政分担金及び負担金	0	0	0
コス	政補助費等	447	300	▲ 147	使用料及び手数料	4 0	0	0
^	費減価償却費	0	0	0	へその他	0	0	0
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a) 0	0	0
笛	賞与・退職給与引当金繰入額	201	59	▲ 142	行政収支差額(a)-(b)=(d	▲ 5, 321	▲ 5, 157	164
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	5, 321	5, 157	▲ 164	通常収支差額(c)+(d)=(e	▲ 5, 321	▲ 5, 157	164
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h	▲ 5, 321	▲ 5, 157	164

ニュータウン施策の推進に携わる職員の給与関係費を主な内容としている。補助費等は、汐入かわら版補助 金及びニュータウン活性化推進事業補助金である。

・町会に40代を中心とした青年部が発足し、活動が活発化している傾向にあるため、若年層や若い子育て世代 の地域活動についてもサポートしていく必要がある。

・現在の人口のボリュームゾーンである45~54歳がシニア層となる時期に、住民の高齢化に伴う地域活動にお ける問題が想定される。

・独居の高齢者の中で自宅に閉じこもりがちな住民に対しては、孤立しない仕組み作りが求められる。 ・汐入地区の事例を区内他地域へ波及させるため各地域の実情を調査しニーズを把握する必要がある。

問題.	点・課題の改善策						
	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容		14年度に実 §内容およ		令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容		
1	汐入かわら版で町会活動を行う若 年層の記事を掲載し、同世代に向け て、地域活動の魅力や人と交流する 楽しさを伝える。	たちを取材	し、かわら 云え、地域	子どもや若者 版に掲載。活 の魅力を語っ	層の活躍や し、地域愛	、かわら版紙上で若: 地域活動の様子を紹: の醸成や地域活動へ(付けていく。	介
2	ニュータウンにおいて、高齢者が 地域との結び付きをどれくらい求め ているか、実態を汐入町会にヒアリ ングする。	申込者を見る	ると、高齢 あれば積極	イベントへの 者も多数お 的に参加する	催されるの	けの新規イベントが で、取材を通して高 で、取材を通して高 き、今後に活かせる。 携する。	齢
3	幅広い地域団体の活動を支援する ニュータウン活性化補助金につい て、制度の改善に向けた運用フロー の見直しを行う。		きるよう、	業を年度当初 新しい運用フ		での実績を区内他地域 るよう、各地域の実 。	
施他	(実施 1 区	未実施	21	区 不明	0	区)	
施状況の実							
況議へ会				ヽて			

要質 目)

標 3 事務事業の分類 分類についての説明・意見等 5年度 6年度

荒川区政が目標とする区民の幸福実感の更なる向上を実現するために積 極的に取り組む必要がある。 重点的に推進 重点的に推進

									(単位	立:千円)	
予算	・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年	F度 F	3年度	4年度	5年度	
予算	額		2, 50	0 2, 210	2, 500)	710	2, 203	2, 913	2, 996	
決算額(5年度は見込み)			2, 37	6 2, 095	2, 123	3	0	2, 197	2, 230	2, 996	
実	事項名(5年度は見込	<u>、</u> み)	29年度	30年度	元年度	2年	F度	3年度	4年度	5年度	
績	幸せリーグ参加自治体		,	97 99	3	39	88	89	83	85	
の											
推											
移											
予算	・決算の内訳										
	令和3年度(決算)								<u>5年度(予算)</u>		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事	項	金額(千円)	節	主	な事項	金額(千円)	
委託	料 アンケート調査委託	2, 197	委託料	アンケート調	查委託	2, 230	委託料	アンケー	-ト調査委託	ቺ 2, 996	

							\ + i	
	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	給与関係費	1, 591	1, 134	▲ 457	地方税等	0	0	0
-	物件費	2, 197	2, 230	33	。 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	¹⁷ 都支出金	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	政分担金及び負担金収	0	0	0
コス	政補助費等	0	0	0	ス 使用料及び手数料	0	0	0
^	費減価償却費	0	0	0	へその他	0	0	0
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
笛	賞与・退職給与引当金繰入額	337	61	▲ 276	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4, 125	▲ 3, 425	700
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	4, 125	3, 425	▲ 700	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4, 125	▲ 3, 425	700
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4, 125	▲ 3, 425	700

物件費はアンケート調査委託費のみであり、入札で決定しているため、3年度と4年度で差額が発生してい る。

課 題

・研究成果が行政評価における指標等の活用だけでなく具体的な政策につながるよう、政策形成を行う職員や 区民と直接関わる職員にGAHの理解を深めていく必要がある。

- ・区民や区外に向けた研究成果等の情報発信について、広く理解を深められるよう報告書やレポートなど、 様々な形で発信していく必要がある。 ・自由記述など新たな観点から分析する方法を確立する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に 具体的な改		令和4年度に実施した 改善内容および評価				令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容		
1	研究成果の活用に向ら積極的に提案し、 ら、各部署の活用を	区と連携しなか	する研修と幸福実施	任職員を対 を行った。 惑との傾向 ートを発行	また、自 等につい	由記述	周知を図る。 おけるGAHの	して区民や職 とともに、コロ 傾向について 成につなげる。	コナ禍に 深く分
2	区民や他自治体へ研 な形で情報発信し、 よう努める。			、区公式SM)考え方や: 知した。			め、GAHの向	側面を促進す 上を目指した 団体等と協働し を検討する。	意見交
3									
施状況の実	(実施 0	区	未実施	22	区	不明	0	区)	
況 (要旨)	平成25年1定 「GAH	畐実感都市あら∂ への関心を高め の調査結果の施	る取り組み	の強化」	ィードバッ	ック」			

事務事業の分類 分類についての説明・意見等 5年度 6年度 引き続き文書関係事務の適切かつ効率的な執行に努める。 継続 継続

No2 (単位: 千円)

													立:千円)
		算額等の推移		29年度		30年度	元年		2年		3年度	4年度	5年度
予算				51, 93		55, 298		586	59,		60, 934	60, 943	57, 399
	額(5年度は見込み)		50, 91		54, 412		186	57,		59, 381	55, 012	57, 399
実		事項名(5年度は見込	み)	29年度	Ŧ ;	30年度	元年	F <u>度</u>	2年	度	3年度	4年度	5年度
績													
の													
推													
移													
予算	・決	算の内訳											
		令和3年度(決算)			令和	14年度(決算)				令和5年	F度 (予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節		主な事	項	金額	額(千円)	節	Ì	な事項	金額 (千円)
需用	費	肖耗品費、印刷製本費等	14, 783	需用費	消耗品	品費、印刷	製本費	等 12	2, 734	需用費	消耗品費	、印刷製本費	等 13,526
役務!	費	郵便料、保管料	22, 058	役務費	郵便	料、保管	料	21	1, 723	役務費	郵便料、	保管料	22, 872
委託》	料に	文書交換便業務委託等	22, 525	委託料	文書	交換便業剤	务委託:	等 20	0, 071	委託料	文書交換	便業務委託	等 20,522
使用料	等「	官報情報検索サービス	6	使用料等	官報	青報検索+	ナービ	ス	330	使用料等	官報情報	検索サービ	ス 330
備品購力	人費	公印	9	備品購入費	公印				153 f	備品購入費	公印		149
												(単位	立:千円)
		勘定科目	3年度	4 年	F度	差額		勘	定科目		3年度	4年度	差額
	析	給与関係費	12, 6		2, 757	1		地方	税等		0	0	0
		物件費	59, 3		5, 012		69	国庙	支出金		0	0	0
行		維持補修費	,	0	0		0 行	都支	出金		0	0	0
政		扶助費		0	0		0 四	分担金	金及び負	担金	0	0	0
		補助費等		0	0				料及び手		0	0	0
		咸価償却費	5	95	595		0 1	その			0	0	0
⊢		下納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0		0		<u>····</u> 収入合訂	† (a)	0	0	0
計算	_	賞与・退職給与引当金繰入額	2, 6	77	684	▲ 1.9			೬額(a)−(b		75. 285	▲ 69, 048	6, 237
書		その他行政費用	,	0	0				支差額		0	0	0
盲		行政費用合計(b)	75, 2	85 6	9, 048	▲ 6. 2			藝(c)+(d		75. 285	▲ 69, 048	6, 237
		川費用(g)	,	0	0			別収。			0	0	0
		川収支差額(f)-(g)=(h)		0	0					+(h)	75. 285	▲ 69, 048	6, 237
		丁 政費用のうち物件費の	ひ占める:	割合が大	きい	。令和 4							
備考		二伴う法令集追録の削減											
与													
問		>文書は事務を適正に					た、な	く開か	(原則で	であるこ	ことから、	全ての部署	畧におい
題		適切な作成と保存を持					0						
点	VX	て書事務の効率化と、「	内 部事務	における	より	一層のペ	-/\-	-レス	(化を度	山る必要	きがある。		
•													
課													
題													
問題	点•	課題の改善策											
		△和4年前119	D ± \			和在庄	一中依	: 1 +-			△和[左]	在 い 1/久 <i>1 -</i> 1777	11 4日 士 5
		令和4年度に取り約 具体的な改善内				和4年度) ෭善内容						度以降に取り 的な改善内	
						1 1 1					1 111	1 1 1	-
		き続き、オンライン(の活用等に	
1		る研修環境の整備を行り			ついて	て周知徹原	氐を凶	った	0			な公文書管	
		て書管理に向け継続して	(周知徹)	氐┃						け、	継続して	周知徹底す	る。
	する	0 。								1			
	電	3子決裁の活用と紙文書	書の削減	に電	子決表	成の活用。	と紙文	書の	削減に	庁	内研修や	通知等で電	子決裁の
	つし	ヽて周知することで、	電子決裁			別知徹底						書の基準を	
2	の向	可上と内部事務における	る一層の							し、	電子決裁	率の向上及	スぴペー
	ペー	-パーレス化を推進する	3 .							パー	レス化を	推進する。	
				-									
3													
施状況 他区の実		(実施 22	区	未実	施	0	区		不明		0	区)	
州区													
没の													
『二実													
況議	平瓦	t27年度2月会議「公文	書館につ	いて」									
	''												
会要質													
旨問													
一大													

事務事業分析シート(令和5年度) No1 事務事業コード 戦略プラン ○協働 ○業務 ○財務 01-01-21 〇 人事 部課名 総務企画部総務企画課 課長名 中野 事務事業名 印刷事務費 担当者名 関口 2214 内線 印刷事務費 01-03-03 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(5年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 (○5年度 ○4年度 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業 2000)年度 開始年度 根拠 平成 12 荒川区印刷物取扱規程 年度 終期設定 法令等 ○有●無 実施基準 〇 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ○計画 ●非計画 分野 VП 計画推進のために 行政評価 政策 積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進 事業体系 施策 03 事務の適正・公正な執行 主として印刷室に設置している印刷機器(デジタル印刷機、軽印刷機等)及び本庁舎内の印刷用紙を集 中管理することにより、効率的な事務執行に資することを目的とする。 目的 職員 対象者 令和4年度使用実績 (1) 印刷機器の設置・保守 台数 ①デジタル印刷機 6,067,615枚 14, 880, 519円 @ 2.45 1台 ②A1対応電子式複写機 3.478枚 61. 712円 @17. 74 1台 ③軽印刷機(印刷室4台) 4台 6,550,334枚 内容 (2) 印刷用紙の購入 全庁で使用する印刷用紙等の購入 平成11年度 デジタル印刷機導入(印刷物の内製化) 平成14年度 用品購入基金の廃止に伴い、コピー用紙の集中購入に加え、全庁の印刷用紙を集中購入 平成15年度 軽印刷機カラードラム導入 平成19年度 デジタル印刷機保守等業務委託開始 平成27年度 大判カラープリンター導入 令和元年度 印刷室の移転 経過 令和4年度 印刷物作成協議手続の見直し(庁内での印刷物の共有はデジタルデータによることを原則 とし、冊子類の庁内配付部数を削減) 令和5年度 業務開発推進担当への一部委託による障がいのある職員の能力の活用 全庁的に効率的な事務を執行していく上で必要不可欠である。 必要性 (2一部委託 (直営の場合 ○ 常勤職員 ○ 会計年度任用職員) 実施 軽印刷機 会計年度任用職員計1名及び業務開発推進担当による運営及び各所管課職員による操作 方法 デジタル印刷機 保守事業者がサポートを実施

		声数声業の	ポ 田 1. ナッ化 (指標の推	移		16.1元 18.3.7 元 5.5.00
指		事務事業の)	似未と 9 る拍標石	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	指標に関する説明
	1			22, 200	22, 465	21, 581	22, 082	20, 000	紙購入量の推移
標	2	デジタル印刷機活用比率(%)		25	25	28	26	.)()	デジタル印刷機使用枚数/総購入枚 数
	3	軽印刷機活用	月比率(%)	29	29 33 30 30 30 軽				軽印刷機使用枚数/総購入枚数
		事務事詞	業の分類			,	、米エニー	いての芸品	
	5	年度	6年度			7	ず親にづ	いての説明	I・息兄寺
	継続継続		継続	引き約	売き効率	的に事務	を執行し	していく 。	
		7 (1) (1) (2) (3) (3)	指	① 印刷用紙購入実績(千枚) ② デジタル印刷機活用比率(%) ③ 軽印刷機活用比率(%) 事務事業の分類 5年度 6年度	指 2年度 ① 印刷用紙購入実績(千枚) 22,200 標 ② デジタル印刷機活用比率(%) 25 ③ 軽印刷機活用比率(%) 29 事務事業の分類 5年度 6年度 引き系	指 事務事業の成果とする指標名 2年度 3年度 1 印刷用紙購入実績(千枚) 22,200 22,465 25 ごグタル印刷機活用比率(%) 25 25 33 軽印刷機活用比率(%) 29 33 事務事業の分類 5年度 6年度 引き続き効率	指 事務事業の成果とする指標名 2年度 3年度 4年度 ① 印刷用紙購入実績(千枚) 22,200 22,465 21,581 標 ② デジタル印刷機活用比率(%) 25 25 28 ③ 軽印刷機活用比率(%) 29 33 30 事務事業の分類 3 3 3 3 5年度 6年度 引き続き効率的に事務	程 2年度 3年度 4年度 5年度 見込み ① 印刷用紙購入実績(千枚) 22,200 22,465 21,581 22,082 26 ② デジタル印刷機活用比率(%) 25 25 28 26 3 軽印刷機活用比率(%) 29 33 30 30 30 事務事業の分類 5年度 6年度 引き続き効率的に事務を執行し	指 事務事業の成果とする指標名 2年度 3年度 4年度 5年度 日標値 (8年度) ① 印刷用紙購入実績(千枚) 22,200 22,465 21,581 22,082 20,000 25 25 28 26 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30

No2 (単位:千円)

予算	14 Mr - 17 Mr - 0 14 10		1 00 4 4		00 		- 1 04		0 – –		立:千円)
7 15 1	・決算額等の推移		29年度		30年度	元年度		F度 (CE 4	3年度	4年度	5年度
予算智			30, 84		31, 927	35, 04		, 654	34, 904	39, 278	42, 241
決算額			29, 25		29, 117	33, 43		, 585	33, 161	37, 341	42, 241
実	事項名(5年度は見		29年度		30年度	元年度		度	3年度	4年度	5年度
		-枚)	5, 8		5, 400	5, 5		5, 697	5, 631	6, 067	5, 617
	軽印刷機 (∃	-枚)	6, 7	129	6, 904	6, 9	81 (6, 482	7, 518	6, 550	6, 850
推		-枚)	23, 1		23, 228	22, 9	33 22	2, 200	22, 465	21, 581	22, 534
移			<u> </u>			, -			· · ·		
予質	・ ・決算の内訳		<u> </u>								
J JT	令和3年度(決算)			会 利	04年度(決質)			今和5 5	F度 (予算)	
節		金額(千円)	節	19.41	主な事		金額 (千円)	節		<u>に及べて新り</u> とな事項	金額(千円)
報酬等				印刷安	エ る 手・		2, 469	報酬等		<u>- ′ひ デ クス</u> :員報酬・期末手	
	_			!			349				
共済					≧嘱託員健身 ★ ★ ##	* 休快科寺		共済費		托員健康保険料	
旅費	特別旅費	129	旅費	特別		- 14 14 H	55	旅費	特別旅		30
需用領		16, 363	需用費		品費・物品		16, 399	需用費		・物品修繕	
役務		68			機研磨費		75	役務費			70
委託》		13, 115	委託料	保守			15, 040	委託料			14, 951
使用料	抖等 印刷機賃借料	662	使用料等	印刷	機賃借料		2, 956	使用料等	₹□印刷機賃	賃借料	3, 034
										(単位	立:千円)
	勘定科目	3年度	4年	F度	差額		勘定科目	I	3年度	4年度	差額
	給与関係費	17, 2		7, 462			<u>万元;</u> 方税等		0	0	0
	物件費	30, 3		2, 121		<u>84</u>	<u>万祝寸</u> 庫支出金	>	0	0	0
行	維持補修費	30, 0	0	0		7_	<u>岸久出。</u> 支出金		0	0	0
T/r			0	0			又山亚 担金及び負	当坦全	0	0	0
_			0	0		1111//	担金及び 用料及び		0	0	0
フ	政 補助費等							一			
, ·	費減価償却費	T .	0	0			の他	=1 ()	63	58	▲ 5
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入		0	0			政収入合		63	58	▲ 5
算	賞与・退職給与引当金繰入	須 3, (791			支差額(a)-(▲ 50,611	▲ 50, 316	295
書	その他行政費用		0	0			収支差額		0	0	0
_	行政費用合計(b)	50, 6	574 50	0, 374	▲ 3	00 通常収	支差額(c)+((d) = (e)	▲ 50,611	▲ 50, 316	295
	特別費用(g)		0	0		0 特別」	収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		0 当期収	z支差額(e)+(h)	▲ 50, 611	▲ 50, 316	295
	行政費用は、物件費の		合が大き	ارا _ه :	物件費の						品費は、主
備考	に軽印刷機のインク・マ										
	刷機の使用料である。										
	〇各種計画、資料、事業	(周知用ち	らし等と	して	、紙媒体	の需要に	は依然と	してあ	るが、経費	貴削減及び第	美務効率の しょうしん しょうしん しょうしん しんしん しんしん しんしん しんしん し
題	向上等を目的としたペー	-パーレス	化を推進	して	ハノ 細 上		n Eul Eu err a	~ □# 1		W = 4 V = 5	
促起					いく餓尽	から、日	」	の購入]	量及ひ印刷	川重を必要的	曼小限に抑
	制していく必要がある。		•		いく観点	から、日	1 市1 円 市氏(の購入	量及び印刷	削重を必要的	曼小限に抑
<i>\m\</i>	制していく必要がある。				いく観点	から、日	小帅开狱	の購入]	重及ひ印刷	削重を必要す	浸小限に抑
•	制していく必要がある。 				いく観点	から、日	11小11开 花式(の購入]	量及ひ印刷	削重を必要す	受小限に抑
. 課	制していく必要がある。 				いく観点	から、日	11市11 円 花式(の購入]	重及ひ印刷	削重を必要す	曼小限に抑
課題					い、既忠	から、日	1 市川 円 花式(の購入]	量及ひ印駅	削重を必要剤	曼小限に抑
課題	制していく必要がある。 				いく既忠	から、目	1 市川 开 花式(の 購入]	重及ひ印刷	削重を必要す	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
課題	点・課題の改善策							の購入] 			
課題	点・課題の改善策 令和4年度に取り	組む		令	·和4年度(<i>†</i> =	の購入] 	令和5年原	度以降に取 り	り組む
課題	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善の	組む 内容		令改	和4年度し 対善内容お	こ実施し および評	た 価		令和5年 <i>[</i> 具体	度以降に取 ^り 的な改善内	リ組む 容
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善の 紙媒体での印刷物作品	組む 内容 記部数が必	要「印」	令改制 制物化	和4年度に 対善内容 作成におり	こ実施し Sよび評 ナる協議	た 価 手続時		令和5年原 具体 電子データ	度以降に取 ^り 的な改善内 を積極的に	リ組む 容 活用する
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善の 紙媒体での印刷物作所 最小限となるよう周知能	組む 内容 記部数が必	要印は	令 改 制物作 電子	·和4年度 対善内容お 作成におり データのも	こ実施し 3よび評 する協議 3載によ	た 価 手続時 り可能な	事に	令和5年原 具体 電子データ こより、紙	度以降に取り 的な改善内 を積極的に 媒体の印刷	リ組む 容 活用する 物作成部
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善の 紙媒体での印刷物作品	組む 内容 記部数が必	要印に、	令さ 令さ 物子 で	和4年度し 対善内容 作成におり データのも 記付部数で	こ実施し まが まずる協議 まず を が は は は は は は は は は は は は は は は は に れ に た れ に た で れ に た で れ に た で れ に た で た で た で た で た で た の に た で た の た の と で と で と で と の と の と の と の と の と の と	た 価 手 手 ず き な い か き な い た	い数が	令和5年原 具体 電子データ により、紙 い必要最小	度以降に取り 的な改善内 を積極的に 媒体の印刷 限となるよ	リ組む 容 活用する 物作成部
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善の 紙媒体での印刷物作所 最小限となるよう周知能	組む 内容 記部数が必	要印に、	令さ 令さ 物子 で	·和4年度 対善内容お 作成におり データのも	こ実施し まが まずる協議 まず を が は は は は は は は は は は は は は は は は に れ に た れ に た で れ に た で れ に た で れ に た で た で た で た で た で た の に た で た の た の と で と で と で と の と の と の と の と の と の と	た 価 手 手 ず き な い か き な い た	い数が	令和5年原 具体 電子データ こより、紙	度以降に取り 的な改善内 を積極的に 媒体の印刷 限となるよ	リ組む 容 活用する 物作成部
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善に 紙媒体での印刷物作所 最小限となるよう周知能 る。	組む 内容 な部数が必 対底を継続	要 印 に、 限り 相談	令改 制物化力 である	和4年度に 対善内容が 作成におり データの対 記付部数で 記付の関り	こ実施 しい まず は は は は は は は は は は は に で る に が は は は は は は に で る た で た で た で た で た で た で た で た で た で	た 価 手続時 きないか きてった。	等数底を	令和5年原 具体 記子データ により要 より要 より と継続する	度以降に取り 的な改善内 を積極的に 媒体の印刷 限となるよ	り組む 容 活用する 物作成部 う周知徹
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善に 無媒体での印刷物作品 最小限となるよう周知能 る。	組む 内容 な部数が必 対底を継続 進課と連	要では、いまれば、関連を表現して、関連を表現して、関連を表現して、対象を表現して、まれるしまして、まれるしまして、まれるものでは、まれるものでものでは、まれるものでは、まれるものでものでものでものでものでは、まれるものでものでものでものでものでものでものでものでものものでものでものでものでもの	令改 作う西等 効果の 対象	和4年度は 対善内容が 作が一分の対 でではの数別に でででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	こま まる まる も も も も は は は は は は 減 内 に が は に 減 の に が は に が に が に が に が に が に が に が に が に	た 価 手りき行 使 前 が が が が が の の の の の の の の の の の の の の	まい 等 数 底 う	令和5年原 子が具体 子デリ要す を継続を でジタル推	度以降に取り 的な改善内 を積極の印 となるよ となるよ 進課と連携	り組む 容 活用する 物作成知 う周 が果
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り具体的な改善の 具体的な改善の 紙媒体での印刷物作品 最小限となるよう周知能 る。 引き続き、デジタル指 し、PPC用紙の使用に	組む 対容 対底を継続 を建課と連 は必要最小	要すに限相が減減に限りできまった。	令改 作う 朝電庁す りやう 対印 切り	和4年内 年前 年前 年前 年前 年前 年前 年前 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	ころ ナ曷をこっ 复変な 協に減内 用機の にかい ほんでき 紙の	た 価 手りき行 使 前 が が が が が の の の の の の の の の の の の の の	まい 削集 かき うた	令和5年原 子よの 子より要 で で で で で で で が 継 で り 要 す り 要 す り 要 す り ま り ま り ま り し れ り し り し り し り し り し り し り し り し り	度以降に取り 的な改善内 を積をのいる 媒体のいるよ 進戻用の制 進乗用の削	リ容 活物する 活作用 が る 部 が り の の の の の の の の の の の の の の の の の の
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善に 無媒体での印刷物作品 最小限となるよう周知能 る。	組む 対容 対底を継続 を建課と連 は必要最小	要すに限相が減減に限りできまった。	令改 作う 朝電庁す りやう 対印 切り	和4年度は 対善内容が 作が一分の対 でではの数別に でででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ころ ナ曷をこっ 复変な 協に減内 用機の にかい ほんでき 紙の	た 価 手りき行 使 前 が が が が が の の の の の の の の の の の の の の	まい 等数底 的討 で も が も	令和5年体 子よ必継 デリ要続 タP印 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	度以降に取り を はなな を を は を は を は と に を は と は の の の の の の の の の の の の の の の の の	リ容 活物する 活作用 が る 部 が り の の の の の の の の の の の の の の の の の の
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り具体的な改善の 具体的な改善の 紙媒体での印刷物作品 最小限となるよう周知能 る。 引き続き、デジタル指 し、PPC用紙の使用に	組む 対容 対底を継続 を建課と連 は必要最小	要すに限相が減減に限りできまった。	令改 作う 朝電庁す りやう 対印 切り	和4年内 年前 年前 年前 年前 年前 年前 年前 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	ころ ナ曷をこっ 复変な 協に減内 用機の にかい ほんでき 紙の	た 価 手りき行 使 前 が が が が が の の の の の の の の の の の の の の	まい 等数底 的討 で も が も	令和5年原 子よの 子より要 で で で で で で で が 継 で り 要 す り 要 す り 要 す り ま り ま り ま り し れ り し り し り し り し り し り し り し り し り	度以降に取り を はなな を を は を は を は と に を は と は の の の の の の の の の の の の の の の の の	リ容 活物する 活作用 が る 部 が り の の の の の の の の の の の の の の の の の の
問題	点・課題の改善策 令和4年度に取り具体的な改善の 具体的な改善の 紙媒体での印刷物作品 最小限となるよう周知能 る。 引き続き、デジタル指 し、PPC用紙の使用に	組む 対容 が底を継続 対底を継続 を進課最よる ・継続する	要すに限相が減にいいます。	令改 付っ酉等 切やい 切りの 対印で 対の がい がっぱい がい がい がい かい	和4年度は大田 本本 本本 本本 本本 本本 本本 本 に タ かま で かま	こと 実が 協に減内 用機。 でを 紙の	た価 手りき行 使使 続可なっ 用用 を がた の 手	等数底の討て	令和5年原 子よ必継 子よ必継 デシー、最す アロー、最す ルローの がより がより がより がより がより がより がより がより がより がより	度以降に取り を はなな を を は を は を は と に を は と は の の の の の の の の の の の の の の の の の	り組む 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番
問題 ① ②	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的な改善所 無媒体での印刷物作所 最小限となるようにある。 引き続き、デジタル的 し、するように 引き続き、通知文等に 引き続き、通知文等に	組む 対容 が底を が終続 を進課要する に必続 により印刷	要すに限相が減にでは、場がは、場ができます。	令改 小面等 見にす りやい 成ず子内る 効印で する 見にする 見にする 見にする しょう しょっ しょ	和4年内に夕部個な及を行記を開始を行いている。 和4年内に夕部個な及をの数別のでは、 の数別のでは、 のののでは、 ののののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 ののでは	に まよる まず は は は は は は は は は は は は は は は は は は	た価 手りき行 使使 続可なっ 用用 じ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	等数底の討て目のである。	令 子よ必継 ジP、知 間 利 男 一、最す ルC刷底 器 ルC刷底 器 が の 推用機す の	度以降に取り と はなな極いな を を を は を は は は は は の の の の の の の の の の の の の	リ容 活物する部 活作の周 、策に けっ がをつけい がきっ は が が が が は に が は り は り は り り り り り り り り り り り り り り
1 (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	点・課題の改善策 令和4年度に取り具体的な改善所 無媒体でのようののようののようののようでのようでののようでののようでがある。 引き続きにはないがある。 引き続きにはないがある。 引き続きの効率的な使い分ける。	組む おお が継 と 選要 が 単 と と に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ	要すりででは、おおいでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		・和4年内に夕部個 な及を 刷刷刷 ロロの は かん は か	における まま つ まま つ まま る 載削案 C 合た 性作 で は で 紙の に す に す に す に す か に す か と で を 紙 の に す か と で を 紙 の に す に す か と か と か と か と か と か と か と で を 紙 の に す か と か と か と か と か と か と か と か と か と か	た価 手りき行 使使 応る 続可なっ 用用 じこ いと の基 、と より	等数底 的討て を	令 子よ必継 ジP、知 間 利 男 一、最す ルC刷底 器 ルC刷底 器 が の 推用機す の	度以降に取り 的な改善内 を積ののる ・ 選使の使用 を は の の の の の の の の の の の の の	リ容 活物 う 活物 う る部 徹 見減 に い分 た つ け 等
1 (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	点・課題の改善策 令和4年度に取り、 具体的の副物をである。	組む おお が継 と 選要 が 単 と と に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ	要す 携限。 機周に限相 減に もで		和4年成一付、 的機計 印印機 なみを 刷刷及を 刷刷及を 刷刷及を 刷刷及を 刷刷がび かっぱん かんがん かんがん かんがん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	における まま つ まま つ まま る 載削案 C 合た 性作 で は で 紙の に す に す に す に す か に す か と で を 紙 の に す か と で を 紙 の に す に す か と か と か と か と か と か と か と で を 紙 の に す か と か と か と か と か と か と か と か と か と か	た価 手りき行 使使 応る 続可なっ 用用 じこ いと の基 、と より	等数底 的討て を	令 子よ必継 ジP、知 刷内 手体 夕紙小る 推用機す の効	度以降に取り と はなな極いな を を を は を は は は は は の の の の の の の の の の の の の	リ容 活物する部 活作の周 、策に けっ がをつけい がきっ は が が が が は に が は り は り は り り り り り り り り り り り り り り
1	点・課題の改善策 令和4年度に取り、 具体的な関係をなる。 引き続となる。 引き続いている。 まの対域には、 はいればいる。	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、 的機計 印印機 なみを 刷刷及を 刷刷及を 刷刷及を 刷刷及を 刷刷がび かっぱん かんがん かんがん かんがん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が 地 用 機 す し の 対 い か か い か い か い か い か い か い か い か い か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物する部 活作の周 、策に けっ がをつけい がきっ は が が が が は に が は り は り は り り り り り り り り り り り り り り
1	点・課題の改善策 令和4年度に取り、 具体的な関係をなる。 引き続となる。 引き続いている。 まの対域には、 はいればいる。	組む おお が継 と 選要 が 単 と と に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ に こ	要す 携限。 機周に限相 減に もで		和4年成一付、 的機計 印印機 なみを 刷刷及を 刷刷及を 刷刷及を 刷刷及を 刷刷がび かっぱん かんがん かんがん かんがん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	における まま つ まま つ まま る 載削案 C 合た 性作 で は で 紙の に す に す に す に す か に す か と で を 紙 の に す か と で を 紙 の に す に す か と か と か と か と か と か と か と で を 紙 の に す か と か と か と か と か と か と か と か と か と か	た価 手りき行 使使 応る 続可なっ 用用 じこ いと の基 、と より	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 刷内 手体 夕紙小る 推用機す の効	度以降に取り と はなな極いな を を を は を は は は は は の の の の の の の の の の の の の	リ容 活物する部 活作の周 、策に けっ がをつけい がきっ は が が が が は に が は り は り は り り り り り り り り り り り り り り
1	点・課題の改善策 令和4年度に取り、 具体的な関係をなる。 引き続となる。 引き続いている。 まの対域には、 はいればいる。	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たの物別 Pび行 物物びに なるを 刷刷及。	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が 地 用 機 す し の 対 い か か い か い か い か い か い か い か い か い か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物 う 活物 う る部 徹 見減 に い分 た つ け 等
1	点・課題の改善策 令和4年度に取り、 具体的な関係をなる。 引き続となる。 引き続いている。 まの対域には、 はいればいる。	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たの物別 Pび行 物物びに なるを 刷刷及。	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が か が か が か か か か か か か か か か か か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物する部 活作の周 、策に けっ がをつけい がきっ は が が が が は に が は り は り は り り り り り り り り り り り り り り
1	点・課題の改善策 令和4年度に取り、 具体的な関係をなる。 引き続となる。 引き続いている。 まの対域には、 はいればいる。	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たの物別 Pび行 物物びに なるを 刷刷及。	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が か が か が か か か か か か か か か か か か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物する部 活作の周 、策に けっ がをつけい がきっ は が が が が は に が は り は り は り り り り り り り り り り り り り り
点・課題 問 ① ② 施状況 値区の実	点・課題の改善策 令和4年度に取り、 具体的な関係をなる。 引き続となる。 引き続いている。 まの対域には、 はいればいる。	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たの物別 Pび行 物物びに なるを 刷刷及。	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が か が か が か か か か か か か か か か か か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物 う 活物 う る部 徹 見減 に い分 た つ け 等
点・課題 問 ① ② 施状況 況 機区の実 議	点・課題の改善策令和4年度に取り、具体的印刷を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引き、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たの物別 Pび行 物物びに なるを 刷刷及。	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が か が か が か か か か か か か か か か か か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物 う 活物 う る部 徹 見減 に い分 た つ け 等
点・課題 問 ① ② 施状況 況 機区の実 議	点・課題の改善策令和4年度に取り、具体的印刷を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引動を引き、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たの物別 Pび行 物物びに なるを 刷刷及。	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が か が か が か か か か か か か か か か か か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物 う 活物 う る部 徹 見減 に い分 た つ け 等
二二二二二3一他区の実議会質	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体的印刷を	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たの物別 Pび行 物物びに なるを 刷刷及。	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が か が か が か か か か か か か か か か か か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物 う 活物 う る部 徹 見減 に い分 た つ け 等
二二二二二3一他区の実議会質問	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体の印刷をである。 ・説はないである。 ・説はないである。 ・説はないでは、ではないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たのなり に夕部個 な及を 刷刷及。 開入 の数別 Pび行 物物びに かんがった いんしょう かんじょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はんしょう はんしょく はんしん	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が か が か が か か か か か か か か か か か か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物 う 活物 う る部 徹 見減 に い分 た つ け 等
二二二二二3一他区の実議会質	点・課題の改善策 令和4年度に取り 具体の印刷をである。 ・説はないである。 ・説はないである。 ・説はないでは、ではないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	組容 が継 と最す 印いを 必続 連小る 刷て図	要すりでは、明明では、明明では、明明では、明明では、明明では、明朝では、明朝では、「おいった」では、ままれば、「おいった」では、「いった」では、これ		和4年成一付、的機計 印印機たのなり に夕部個 な及を 刷刷及。 開入 の数別 Pび行 物物びに かんがった いんしょう かんじょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はんしょう はんしょく はんしん	における まま つ 复っ の を 印 まよ る 載削案 C 合た 性作 刷 施び 協に 減内 用機。 質成方 し評 議よでを 紙の にす法	た価 手りき行 使使 応るを 続可なっ 用用 じこ案 ・と内 ・ と内	まい 等数底 的討て をを で も も も も も も も も も も も も も も も も も	令 子よ必継 ジP、知 同内る デり要続 タP印徹 機し。 田 女 の 世 の 対 地 に は ま に の が 地 に 間 で が 地 に 間 に い か が 地 用 機 す し の 対 が か が か が か が か か か か か か か か か か か か	度以降に取り と はなででは、 を はないででは、 を はないでできる。 を はののででは、 はののででは、 を のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 のののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ので	リ容 活物 う に 活作 活 が た の が を つ に が に が に が に が に が に が に が に が に が に

	事務事業分析シート(令和5年度) No1												
事務	事美	業コード		01-01-2	2			戦日	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	√ 協働	〇業務	○財務	
事務	事業	 業名		訴訟事務	 务費					務企画部総		長名	中野
3 - 323				H/1 H 3 * 3.		3-02	訴訟事利		者名 田	澤、関口	内]線	2215
		を構成する			01 0	0 02	小山子	力貝					
					(0.55		1 to the	`	O 74	=n - - - -	. 7		W V+ -+ ALC
事務 開始:		業の種類 F	不明	·規事業 ((〇 5年	‡ <u>関</u>	4年度) 根拠	〇 建	設事業	● それ	℩以外の約	<u></u> 医統爭某
終期				●無	()		法令等					
実施	基组	人	〇法	令基準内			●区独	自基準	計画	区分	○計画	● 身	‡計画
行	页	評価	<u>分</u> 野 政策			推進のた		<i>(1= ∟ 1=</i> i	させか て	区政の推進	<u> </u>		
事	業	体系	施多				公正な勢		はられる	区以の推進	<u> </u>		
目白	ሳ	行い、迂	速か	つ的確に		とともに	こ、訴訟	等に発展	した場合		享生事務組合 内容に応じて		
対象等	者	各主管	課										
内容	\$	①一般 ②契法 (2) 実持 ②等もの (3) 特政 ②私 (3) 1 ②私 (3) 1 ②私 (3) 1 (3) 1	との は 対 は は は は は は は は は は は は は	法いりに事 しに紛れていい おいいい おいいり おいり アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ	約書作に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	に関する よる法等 (等、法務 会 法務 会 法務 会 法 を き が は は は は り は り は り で は り き は う き き き き き き き き き き き き き き き き り き き も り き き も り き も も も も	相談等 を、知的! で対応が による法 「政処分!	困難な法 ₹律相談、 若しくは	律相談等 事件処 財務会記	等(複雑な ^事 理等	事案で私法上 国家賠償に関 牛処理		
経道	<u> </u>	平成18年	- 1 / 3 / 3		≢相談の≦			` /公	-1J.S./ F-V/	八咬工1~6	る法律相談の	沙 大心	
必要	生	複雑多	ら岐か	つ専門性	が高くな	つている	る法律相関	談に迅速	に対応す	するため、』	必要である。		
実施	h	(<mark>1直営</mark>)			場合 O			会計年度任	- , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	_	
方法										こ応じて随い て随時行って	時実施してい ている	い る。	
		一一块口		/ I II又 工	5. 0/4	. 		J. 2. X	., = , 0 .	- 1/12/11 7	50		
		± 25 ± 11	- B-	= 1 → -	16.1 2. 6			指標の推	移		16.1-	/- BB -1 -	=24 00
指		事務事業	の成場	果とする	指標名	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	指標	に関する	説明
	1	相談回数				31	17	20	30		目標値は月1		
標	2	法律顧問	相談件	-数		41	33	31	36	12	目標値は月1 数	回1件実	施した最低回
	3												
			事業0	D分類		分類についての説明・意見等							
	5	年度		6年.	度	複雑・専門化している法律相談に迅速かつ適切に対応していく。							
	i	継続		継糸	売	後 雅	・専門化	している)	災に迅速か	つ週切に対応	ょしていく	• 0

											(出 /:	No2
予算	• }	 央算額等の推移		29年	· ·	30年度	元年月	迂 2年	F度	3年度	4年度	立:千円) 5年度
予算	額			1, 8		2, 319	1, 90		900	1, 900	1, 902	1, 902
	額	(5年度は見込み)		1, 7		2, 170	1, 73		, 788	1, 790	1, 734	1, 902
実		事項名(5年度は見込	み)	29年月		30年度	元年月		度	3年度	4年度	5年度
		談回数(回)			24	23		20	31	17	20	30
		護士謝礼(千円)			0	16		0	55	58	0	165
推移		律顧問(人) 金融 111 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1			- I	10		35	41	33	01	l l
		律顧問相談件数 快算の内訳			56	40		35	41	33	31	36
<u>了异</u>	· 17	 			会 利	14年度(決 質)			今和5 年	F度(予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節	13.11	主な事		金額(千円)	節		<u>な事項</u> な事項	金額(千円)
報酬		法律顧問報酬	1, 728	報酬	法律	顧問報酬		1, 728	報酬	法律顧問		1, 728
報償	費	弁護士謝礼		報償費		士謝礼		0	報償費			165
旅費		特別旅費	4	旅費	特別	旅費		5	旅費	特別旅費	ŧ	5
需用	費	食糧費	0	需用費	食糧	費		0	需用費			1
役務:	費	訴訟事務手数料	0	役務費	訴訟	事務手数	料	1	役務費	訴訟事務	务手数料	3
										1		
		おむりり	0/	1 4	左声	*************************************		出たされて	1	0左击		立:千円)
		勘定科目	3年度 12,9		年度 <mark>3,068</mark>	差額		勘定科目	1	3年度	4年度	差額 0
		給与関係費 物件費	12, 9	4	3, 068 6			!方税等 庫支出₫	_	0	0	0
行		維持補修費		0	0			译文山。 支出金	<u> </u>	0	0	0
政	行	扶助費		0	0		1.1.7	<u> と田业</u> 担金及び1	自拍金	0	0	0
⊐		補助費等		58	0	A		用料及び		0	0	0
ス		減価償却費		0	0		^	の他	7 20.11	0	0	0
<u>+</u>		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0			政収入合	計(a)	0	0	0
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	2, 3	380	608	▲ 1, 7				15, 399	▲ 13, 682	1, 717
書		その他行政費用		0	0		0 金融	収支差額		0	0	0
_		行政費用合計(b)	15, 3	399 1	3, 682	1 , 7		支差額(c)+	(d) = (e)	15, 399	▲ 13, 682	1, 717
		別費用(g)		0	0			収入(f)		0	0	0
		別収支差額(f)-(g)=(h)	日左曲珍	0	0						▲ 13, 682	1, 717
備		行政費用の大半を給与原 補助費等には法律顧問リ										ングは坐鼓
考		補助員寺には広洋顧问! 律相談の実績がないた&					の制度の	11.日か	11 (3)	ን、 ጉጥ4	十段にあり	・てはヨ豚
問		社会状況の変化、区の行					津問題が	多く発生	こしてお	り、その	ような問題	に対し適
題	切	に対応していく必要がる	ある。									
点		予防法務の観点から、	争訟に係	る区職員	員の基:	本的な法	務知識の	り習得に	より、쇸	争訟への発	と展を未然に	こ防いでい
-	<	必要がある。										
課												
題												
問題	点	・課題の改善策										
		 令和4年度に取り糸	 日す:		<u></u>	和4年度(二宝施	.t-		今和5年日	と	り組ま:
		具体的な改善内容				な善内容は					的な改善内	
		引き続き法律相談を周知		極	•	ト板を活月) ;±	. , , , .	内容等の周	_
		fic 祝る法律怕談を向か な活用を図ることで、約				N 似 で 心 / 寺等 の 周 タ					内谷等の局防止を図る	
1		することに努めていく。		, ,,,,	`	·) ·) •> /L] ›	מ נו ש מי	7-0	``	101 1, (1 0)	MT 6 E 0	0
		 訴訟事件ごとに、引き約	赤き綿宓	な	沙事化	‡ごとに、	綿密が	調査を間		(訟事件ご	とに、引き	続き適切
		が広事け <u>し</u> こに、				こより、					しつつ調査	
2		獲得することに努める。				獲得する					一層の法務	
									得す	ることに	努める。	
		法律顧問以外の弁護士へ	への相談・	体法	建顧 問	引への相談	炎を有効	に活用す	F L	り大規模	、複雑な相	談案件等
		について積極的に周知る				できたため					法律顧問以	
3	に	、相談を要する案件が会		合┃の弁	護士へ	への相談る			‡ 士を	活用する	ことにより	
	に	は、迅速に対応する。		が生	じなた	いった。			の遃	切な対応	を図る。	
Ш		(実施 16	区	 未実	施	6	区	不明	B	0	区)	
施区		(天心 10 注) 注) 注) 注) 注(注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	_						-			系 結 E

施区 状区 法律顧問設置(港、文京、台東、墨田、江東、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷、豊島、北、板橋、練馬、 足立、葛飾)

況 (要旨) 議会質問状

			車双車業の	出田し士で七冊々			指標の推	移		七冊に則士で説明			
拊	旨		争伤争未仍	成果とする指標名	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	指標に関する説明			
		1)										
桐	票	2)										
		3)										
			事務事詞	業の分類				ハギニー	~ ~≃ □□				
		5	年度	6年度			2	が親につ	いての説明	□・思兄寺			
			公业 公士	父业 父士	引き続る	き、審査	請求があ	った場合	合は公平かっ	つ迅速に対応していく。			
			継続	継続									

												/ 出 <i>I</i> -	No2
予質	. ;	 央算額等の推移		29年	F度	30年度		元 年度	F 2	年度	3年度	4年度	<u>z:千円)</u> 5年度
予算		八开识寸ⅥⅡછ		20-	328	330	_	33		330	329	312	312
決算		(5年度は見込み)			0	104		16		0	126	231	312
実		事項名(5年度は見込	み)	29年	E度	30年度	7	元年 度		年度	3年度	4年度	5年度
績	審	<u></u> 査請求件数	,		0	4	Ť		2	1	0	3	- 1 🕰
の		<u> </u>			0	1			2	0	2	4	
推													
移													
予算	• %	央算の内訳											
		令和3年度(決算)			수	·和4年度(拿)				<u> </u>	
節		主な事項	金額(千円)	節	_	主な事	項		金額(千円)	7/1-		な事項	金額 (千円)
極瞬		委員報酬	123	報酬		慢報酬			227	報酬	委員報酬		304
旅費		委員旅費	2	旅費		員旅費			4	旅費	委員旅費	ŧ	6
需用	貫_	賄・消耗品費		需用領	費 賄				ļ	需用費	り 類 に		2
					-					-			
										-			
												(単ん	」 2:千円)
	Ī	 勘定科目	3年度		4年度	差額	Т		勘定科		3年度	4年度	<u> </u>
		給与関係費	1, 5		2, 5		62		方税等	_	0	0	0
		物件費	., •	3	_, _,	4	1	国	庫支出	金	0	0	0
行		維持補修費		0		0		丁割	支出金		0	0	0
政	行	扶助費		0		0	0		担金及び	負担金	0	0	0
		補助費等		0		0	0	以使	用料及び	手数料	0	0	0
スト	費	減価償却費		0		0	0	7 7	の他		0	0	0
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		0	0		政収入台		0	0	0
算		賞与・退職給与引当金繰入額	2	97	1:	27 🔺 1			支差額(a)		▲ 1,827	▲ 2, 720	▲ 893
書		その他行政費用		0		0			収支差額		0	0	0
		行政費用合計(b)	1, 8	327	2, 7:				支差額(c)-	+ (d) = (e)	▲ 1,827	▲ 2, 720	▲ 893
		別費用(g)		0		0			仅入(f)		0	0	0
		別収支差額(f)-(g)=(h)	17 1. =	0	m	<u> </u>			文差額(▲ 1,827	▲ 2, 720	▲ 893
備		査会委員報酬227千円の したため、給与関係費及					₹を	土な	内谷と	している	5。令和4年	- 度は番金会	そを4四開
考	惟	しただめ、和子関係負担	又ひ初干	貝かを	im し	といる。							
問		ここ数年、毎年のよう	こ審査請	求が出	され つ	ている状況	です	あり、	審査会	委員が	迅速かつ公	正に審査で	きるよ
題		、円滑な審査会運営に											
点		窓口業務等での丁寧な記	説明を徹	底し、	手続	等の誤解が	発生	Εした	いよう	に努め	る必要があ	うる 。	
•													
課													
題													
問題	点	・課題の改善策											
		 令和4年度に取り約	日ま >			 令和4年度(- =	施工	<i>t-</i>		今和5年 度	と 以降に取り	糾さい
		具体的な改善内				改善内容都						的な改善内容	
		引き続き迅速かつ公正		き	事終月	として審			••	理 ;		正に審査で	
		よう、円滑な審査会運				の進行管理						正に毎点で 査会運営に	
1		め、制度理解を深めてし				公正な審						全体で制度	
	ľ		. 3			会運営に					ていく。		
				-		-							
				1									

	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した 改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1	引き続き迅速かつ公正に審査で るよう、円滑な審査会運営に努め ため、制度理解を深めていく。		行い、 う、円滑な審査会運営に努めると
2			
3			
施状況の実	(実施 <mark>22</mark> 区	未実施 0 区	不明 0 区)
況 (要旨)			

10				2年度	3年度	4年度	見込み	(8年度)	
	1	個人情報事故	文件数	0	0	0	0	0	
標	2	職員研修参加	口者数	313	276	300	300	300	令和2年度以降はeラーニングを活用
	3								
		事務事詞	業の分類				ン粉につ	いての説明	1.辛目学
	5	年度	6年度			7	万規にフ	いての記明	1.总兄守
				区民の基	基本的人	権を擁護	するとと	ともに、信頼	頼される区政を実現するため、

引き続き本事業を確実に実施していく。 継続 継続

(単位:千円)

							(早)	<u>u. TD/</u>
予算	決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算	額	1, 318	1, 516	1, 327	1, 386	934	1, 646	4, 315
決算	額(5年度は見込み)	1, 041	768	1, 063	635	753	1, 612	4, 315
実	事項名(5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
績	自己に関する個人情報の開示等請求件数	100	130	101	131	116	157	
の	審議会開催数	5	4	5	4	5	7	
推								
移								
予算	・決算の内訳							

	令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報酬	委員報酬	626	報酬	委員報酬	871	報酬	委員報酬	714
旅費	委員旅費	25	旅費	委員旅費	35	旅費	委員旅費	36
需用費	賄	5	需用費	賄	7	需用費	賄	7
役務費	会議録反訳	98	役務費	会議録反訳	151	役務費	会議録反訳	214
			委託料	個人情報ファイル簿等整備支援等業務委託	550	委託料	システム運用保守等	3, 289
						備品購入費	備品購入	55

(単位:千円)

							\—- I-	
	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	給与関係費	15, 129	22, 053	6, 924	地方税等	0	0	0
	物件費	128	741	613	国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
政	行扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
	政補助費等	0	79	79	使用料及び手数料	0	0	0
スト	費減価償却費	0	0	0	くるの他	0	0	0
計	用 不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
笛	賞与・退職給与引当金繰入額	3, 074	1, 140	1 , 934	行政収支差額(a)-(b)=(c)	1 8, 331	4 24, 013	▲ 5, 682
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	18, 331	24, 013	5, 682	通常収支差額(c)+(d)=(e)	1 8, 331	4 24, 013	▲ 5, 682
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	1 8, 331	4 24, 013	▲ 5, 682

備 令和4年度は、改正個人情報保護法への対応のため、職員の人件費及び審議会委員報酬として給与関係費が増加しているほか、審議会の開催数の増加により物件費が増加している。また、審議会委員への相談等を行ったため、補助費等が生じている。

- ・個人情報保護法の改正に伴い、職員に対して制度周知を徹底する必要がある。
- ・また、民間企業や自治体において個人情報に係る漏えい事故が依然として発生している中、職員に対する研修等を通して、個人情報保護の一層の意識付けを行っていく必要がある。
- 修等を通して、個人情報保護の一層の意識付けを行っていく必要がある。 ・番号法に基づき実施する特定個人情報保護評価の定期的な見直し、新規事務の発生に伴う同評価の実施等に ついて引き続き適切に漏れなく行っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

課題

1-1/25/			
	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した 改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1	個人情報保護法改正について、国から示されるガイドライン等を踏ま えて、適切に対応する。	法改正について、国から示された ガイドライン等を踏まえて、条例改 正等の対応を行った。	法が直接適用されるため、国から示されたガイドライン等を踏まえ、確実に制度運用を図る。
2	引き続き、全職員向けの研修及び 自己点検を実施し、個人情報保護制 度への意識向上を図る。	全職員向けの研修及び自己点検を 実施するとともに、改正法について も研修を行い、意識向上を図った。	漏えい事故が発生しないよう全 職員に対して周知徹底し対応す る。
3	引き続き、マイナンバー取扱事務 を適切に管理し、特定個人情報評価 を実施することで区民の信頼確保に 努める。	マイナンバー取扱事務を適切に管理し、特定個人情報保護評価を実施 し、区民の信頼確保に努めた。	引き続きマイナンバー取扱事務 を適切に管理し、特定個人情報保 護評価を実施することで、区民の 信頼確保に努めていく。
_佐 他	(実施 <u>22</u> 区	未実施 0 区 不明	0 区)
施状況の実			
況 (要旨)		いや不正利用に対する対策	

事務事業分析シート(令和5年度) No1 事務事業コード 01-01-25 戦略プラン ● 協働 ○ 業務 ○ 財務 〇 人事 部課名 総務企画部総務企画課 課長名 中野 事務事業名 情報公開制度 担当者名 大塚·伊藤 2191 内線 情報提供コーナー運営費 01-07-02 事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード(5年度) 事務事業の種類 〇 新規事業 (○5年度 ○4年度 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業)年度 開始年度 1988 根拠 昭和 63 荒川区情報公開条例、同施行規則 年度 終期設定 ○有●無 法令等 実施基準 〇 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ●計画 ○ 非計画 分野 VП 計画推進のために 行政評価 政策 積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進 事業体系 区政に関する情報提供の拡充 施策 01 区が保有する情報の公開を請求する権利を保障するとともに、区民本位の区政運営を果たすため情報提 供に努めることにより、区民の区政参加の促進と信頼関係の強化を図り、公正で開かれた区政を推進す 目的 る。また、情報提供コーナーの設置により、行政資料を収集・保管し、区民に情報を提供するとともに、 情報公開に関する相談に応じ、区民の区政参加の促進を図る。 区民等 対象者 1 荒川区情報公開条例に基づき、区が保有する情報に対し区民等から公開請求があったときは、公開の可 否を決定し、情報の公開を行う。また、情報提供できるものについては、情報公開制度の手続を経ずに情 報提供を行う。

昭和63年 情報公開条例制定

昭和64年 情報公開条例施行、情報提供コーナー設置

平成元年 情報提供コーナーに専門相談員を配置

平成 8年 情報公開条例改正

平成13年 本庁舎2階に来庁者への案内、情報提供等を行う情報提供専門相談員を配置

か、情報公開専門員を配置して、情報公開制度に関する総合的な案内・相談を実施する。

平成16年 インターネット接続パソコンコーナーの設置、情報公開条例改正(目的・利用者の責務・ 請求権者・非公開事由等の一部改正)

2 区政に関する資料室として情報提供コーナーを本庁舎地下1階に設置し、区の刊行物・パンフレット等の 展示頒布、有償刊行物の展示頒布、コピーサービス、特定台帳・予算書・決算書・契約情報等の閲覧のほ

平成17年 有償刊行物のインターネット販売開始、電子申請による情報公開請求受付開始

平成20年 特別区協議会での有償刊行物の委託販売開始

平成29年 情報提供コーナーを本庁舎地下1階に移転

区政に関する情報等を区民に提供することにより、区民の区政参加の促進を図るため、必要である。

必要性

経過

内容

(1直営 (直営の場合 ● 常勤職員 ● 会計年度任用職員) 実施 方法

	事務事業の成果とする指標	= A		指標の推	養		指標に関する説明
指	事務争業の成業とする相信	2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値(8年度)	拍标に関する就明
	1 情報公開請求件数	190	195	149	195	200	
標	② 利用者数 (人)	5796	4953	5670	5350	7000	情報提供コーナーの利用者数
	③ 有償刊行物頒布(冊)	300	244	228	240	550	
	ナルナルのハギ						

事務事業の分類 分類についての説明・意見等 5年度 6年度 情報の公開を請求する区民の「知る権利」を保障するとともに、区政に 関する区民への説明責任を果たすため、サービス向上に努める。 継続 継続

									(単位	: 千円)
予算•	決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年	F度	3年度	4年度	5年度
予算額	Į.		2, 452	2, 471	2, 440) 2,	, 900	2, 894	2, 856	6, 236
決算額	頁(5年度は見込み)		2, 440	2, 391	2, 406	6 2	, 830	2, 846	2, 846	6, 236
実	事項名(5年度は見込	み)	29年度	30年度	元年度	2年	F度	3年度	4年度	5年度
績	情報提供コーナー利用者	(人)	5, 775	5, 421	5, 18	35	5, 796	4, 953	5, 670	5, 350
	情報提供コーナー相談(件	,	335	369	32	25	1, 015	327	372	350
	情報提供コーナー資料提信	供(件)	514	610	66	88	559	586	566	580
移	情報提供コーナー刊行物:	貸出(冊)	31	37	4	18	27	3	7	5
予算•	決算の内訳									
	令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年	度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事	項	金額(千円)	節	主	な事項	金額(千円)
去品品以至	全計年度職員報酬 期末手当	2 /60	胡酬笙 🕹	計在使職員報酬	期末毛当	2 /60	胡酬笙	全計在	昌報酬 期末毛当	5 063

報酬等 会計年度職員報酬、期末手当 共済費 社会保険料
 2,469
 報酬等
 会計年度職員報酬、期末手当
 5,063

 354
 共済費
 社会保険料
 732
 共済費 社会保険料 367 732 特別旅費 旅費 旅費 409 0 特別旅費 0 特別旅費 23 30 需用費 消耗品費 11 需用費 消耗品費 需用費 消耗品費 その他の償還金利子及び割引料 2

(単位:千円)

							\ -	
	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	給与関係費	10, 552	10, 852	300	地方税等	0	0	0
	物件費	11	23	12	_{。-} 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	^{1丁} 都支出金	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金収	0	0	0
コス	政補助費等	0	0	0	λ 使用料及び手数料	0	0	0
^	費減価償却費	0	0	0	へその他	309	286	▲ 23
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	309	286	▲ 23
笛	賞与・退職給与引当金繰入額	1, 652	437	1 , 215	行政収支差額(a)-(b)=(c)	1 1, 906	1 1, 026	880
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	12, 215	11, 312	▲ 903	通常収支差額(c)+(d)=(e)	1 1, 906	1 1, 026	880
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	1 1, 906	1 1, 026	880

行政収入の内訳は、有償刊行物頒布代金、情報提供コーナー複写サービス代金及び情報公開手数料・写し交 付費用である。

○区民が情報の公開を請求する権利を引き続き保障する必要がある。

〇窓口・郵送以外の手段として、電子申請による請求の周知を行うなど、区民への説明責任を果たすための サービス向上に努める必要がある。

○区政の透明化と簡易・迅速な手続の実現のために、同一年度で同一内容の請求が複数回ある情報について は、各所管課において積極的に情報提供していくように推進していく必要がある。

問題点・課題の改善策

課 題

	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容	令和4年度に実施した 改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容
1	引き続き、制度担当者以外の職員 も制度の理解を深めることができる よう、研修や手引の周知等に努め る。	制度担当者以外の職員も制度理解を深めることができるよう、研修や手引の周知等に努めた。	制度担当者以外の職員も制度理解を深めることができるように、 研修や手引の周知等に努めていく。
2	引き続き、積極的な情報提供に努めるよう周知する。	ホームページで電子申請により請求することができる旨を周知した。	電子申請による請求することが できる旨を周知していく。
3	引き続き、積極的な情報提供に努 めるよう周知する。	情報公開制度によらず情報提供可能なものについては、積極的に提供するように努めた。	迅速な情報開示に努める等、区 民等が区政情報によりアクセスし やすく利便性の高い環境づくりを 引き続き行っていく。
+他	(実施 22 区	未実施 0 区 不明	0 区)
施状況の実	全区において、情報公開制度を実施している。	拖してい <mark>る。あわせて</mark> 区政等に関する〕	資料室を設け、利用者に情報を提供
況 (要旨)			

± 26 3	± 444	. *	lo-	1 01 00				Wh n	ı <i>t</i> z	1+ 1=1	علاد 🔾	7/7 0	No.	
事務:	事業コー	<u> </u>	0	1-01-26						ン 協働	〇 業		<mark>財務 <mark>○</mark> 中野</mark>	人事
事務	事業名		荒	訓さつき	会館管	管理運営	事業	部記	素名 オ 者名 フ	<mark>総務企画部総</mark> ₹ ►棒	力止凹話	ほ長名 内線	2271	
					01-0	1-01	さつき	会館管理		\1 同		P 3 49K	2271	
	『業を構成 『第ま#』				01-0			会館運営						
及びす	5算事業コ		(5年度	E)	01-9			会館営繕						
事務	事業の種類	頁 〇	新規	事業 (O 5年	F度 O	4年度)	O ថ្	建設事業		それ以	外の継続事業	業
開始				元(1989	9)		根拠		さつき会館		が施行規.	則、荒川さ	つき
終期			有●		()		法令等		管理運営要				
実施	基準			基準内		基準内	●区独	自基準	計画	区分	〇計	画	●非計画	
行	·政評価		<u>分野</u>	V		<u>創造都市</u>			D					
	業体系		政策	10				゠゚゚゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠゠	沙					
	tuh ta		施策	06 万态态及2		・平和の			活の白	上に寄与する	Z L L +	1- 1 t	を佐竿の性が	# <i>t</i> .
目的	図る		C07111.	互义派及(OHI	. 印7 /白 到) で	「促進し	, KKI	ᄻᄭᄞ	ᆂ୲ ᠳᢖ ᠀᠀	3 C C T	1 X 1	≝ 心 宋 ♥フ チ症 煌	ΞŒ
対象等	者区内	在住	主・在!	勤・在学	者等									
内容	② 歯 ③ ③ ③ ② 章 は ② (2) 令 そ	体館者権関ン書版2 施2 本事福・選テの	個業祉平関ス整維は人の課和連ト備持体	事業)等 啓発事業	ザへ(・	ラフ(カリカ) カリカ カリカ カリカ カリカ カリカ カリカ カリカ カリカ カリカ	ち)、体 ベル展・: ベル展・:)※直近 パーゴラ	育室開放 人権・ 北朝鮮人 実績 ・ 撤去工事	/週1億 和パネ 権侵害	会館まつり 回、電車でゴ ル展、夏休 の 問題啓発週 に	ーゴー/ み子ども	/月1回) 平和映画	三会、東京空	望
経過	昭和 平月 平月 平月	163年 九元年 九元年 九元年 九元年	E 7月 E10月 E 3月 E 6月 E 7月 E 4月	建設工 荒川さ 団体利	設検討 事竣工 つき会 用有料	委員会記 館開設 化		ため南千	住ひろ	ば館併設(^z	平成24年	3月まで)	
必要怕		住民	その相	互交流、同	自主的	活動の伽	産進及び	人権啓発	の推進	のための拠り	点として	必要性に	は高い。	
	(2-	部委	託)	(直営の均	易合 〇	常勤職員	(会計年度任	E用職員)		
実施		終	託 (:	夜間・休日	日)	委託料:	4, 019,	704円 🧸	季託先	(株)後藤ビ	ルサート	ニス		
方法				委託料:2							等			
								指標の推	移					
指	事務事	業の	成果。	とする指標	票名				5年度	■ 目標値		指標に関	する説明	
掴						2年度	3年度	4年度	見込み					
	1 年間利	用者	数(人)		9, 717	10, 324	27, 780						
標	② 年間団	体利	用件数	(件)		789	726	1, 372	1, 75	2, 343				
	③ 年間事	業参	加者数	(人)		886	1, 622	6, 902	5, 82	6, 304				
			業の分					3	う類につ	ついての説明	・意見等	手		
	8年度 継続			6年度 継続			主民の交 営を行う	流促進及		施策推進の			き続き適切り	な管

No2 (単位:千円)

										(単信	<u>立:千円)</u>
予算	・決算額等の推移		29年度		30年度	元年度		F度	3年度	4年度	5年度
予算	額		20, 18	32	28, 511	29, 68	38,	, 585	44, 526	23, 891	22, 403
決算	額(5年度は見込み)		17, 33	32	26, 897	26, 63	5 29	865	32, 480	21, 370	22, 403
実	事項名(5年度は見込	4)	29年月		30年度	元年度		度	3年度	4年度	5年度
天 績	団体使用料収入(単位:			72	873	1, 0		642	403	1,010	970
		ГП/									
の	団体利用件数(延べ数)		1, 7		1, 653	2, 2		789	726	1, 372	1, 757
推	荒川さつき会館まつり参加	11人数	1, 6	556	2, 599	2, 7	77	0	0	3, 186	2, 854
移											
予算	・決算の内訳						•				
	令和3年度(決算)			令利	14年度(決算)			令和5年	F度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	T	主な事		金額 (千円)	節		な事項	金額 (千円)
報酬・共済費		6, 668	報酬・共済費・旅費	卒은 교씨	 · 共済費		6, 447	報酬・共済費・旅		+済費 · 旅	貴 6,528
需用	ST THE STANK THE TEXT TO SELECT	3, 408	報償費	講師			76	報償費			200
		205	需用費		<u> iが] 个し</u> ・消耗品費・家	只体收线事体				し 毛品費・家屋等修繕費	
役務:							4, 601	需用費			-,
委託		8, 719	役務費		料・ごみぬ		428	役務費		ごみ処理券	
使用料・負担金		211	委託料		務委託・館内:		9, 143	委託料		モ・館内清掃委託	,
	視聴覚室テレビ	69	使用料・負担金補助等		借・さつきまつ	り補助金等	416	使用料及び賃借	響問易印刷	機・AED賃借	
工事請負	トイレ洋式化工事	13, 200	備品購入費	卓球	<u>台</u>		259	負担金補助等	等しさつきまつ	り補助金・償還	金 250
										(単位	立:千円)
	勘定科目	3年度	4 年	<u> </u>	差額		勘定科目		3年度	4年度	差額
	給与関係費	14, 7		4, 665			方税等		0	0	0
	物件費	11, 4		2, 784			庫支出金	}	0	0	0
行	維持補修費	14, 3		1, 820		48 行 契	支出金		0	0	0
政	行 扶助費	14, 0	0	1, 820	12, 3		<u>又山亚</u> 担金及び1	当坦仝	0	0	0
			39	320	_					•	607
ス	政 補助費等	40.4					用料及び	于数料	403	1, 010	
 	費減価償却費	12, 1	_	2, 196			の他		113	166	53
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0			政収入合		516	1, 176	660
算	賞与・退職給与引当金繰入額	1, 7	758	455	▲ 1, 3	03 行政収:	支差額(a)-((b) = (c)	▲ 54, 037	4 1, 064	12, 973
書	その他行政費用		0	0		0 金融	収支差額	(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	54, 5	553 4	2, 240	▲ 12, 3	13 通常収	支差額(c)+((d) = (e)	▲ 54, 037	4 1, 064	12, 973
	特別費用(g)		0	0		0 特別	収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0			支差額(e)+(h)	54 , 037	4 1, 064	12, 973
		きの給水	告改修 T				ドル笑み				は修費が減
備	令和4年度は、令和3年原			事及	びトイレ	便器洋式		修工事の	の完了によ	り、維持剤	
—— 備 考	令和4年度は、令和3年原 少している。物件費の増			事及	びトイレ	便器洋式		修工事の	の完了によ	り、維持剤	
考	令和4年度は、令和3年原 少している。物件費の増 る通信料等の増である。	の主な理	由は、燃	事及 料価	びトイレ 格高騰に	便器洋式 よる電気	気料金の:	修工事(増や1階	の完了に 』 ドロビーの	らい、維持社 フリーWiFi	導入によ
考問	令和4年度は、令和3年原 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 ○人権施策推進拠点として	の主な理 て、人権	由は、燃問題を身	事及 料価 が近な	びトイレ 格高騰に 問題とし	便器洋式 よる電気 て考えて	、料金の: こもらえ	修工事(増や1階 るよう ⁷	の完了によ ロビーの な施設運営	らい、維持社 フリーWiFi	導入によ
考 問 題	令和4年度は、令和3年度 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 ○人権施策推進拠点として ある。また、地域の交流	の主な理 て、人権 処点とし	由は、燃 問題を身 ての活用	事及 料価 近な 方法	びトイレ 格高騰に 問題とし について	便器洋式 よる電気 て考えて 検討して	、料金の: こもらえ こいく必!	修工事(増や1階 るよう ⁷	の完了によ ロビーの な施設運営	らい、維持社 フリーWiFi	導入によ
考問	令和4年度は、令和3年原 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 〇人権施策推進拠点とし ある。また、地域の交流 〇施設の利用率向上に向し	の主な理 て、人権 処点とPR	由は、燃 問題を身 ての活用 方法など	事価なける	び格 問題といてい 計してい	便器洋式 大機 で 大	試料金の: てもらえていく必じ である。	修工事の 増や1階 るよう ⁷ 要があ ²	の完了によ ロビーの な施設運営 る。	り、維持社 フリーWiFi 含を行ってい	導入によ いく必要が
考 問題点・	令和4年度は、令和3年原 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 〇人権施策推進拠点とし ある。また、地域の交流 〇施設の利用率向上に向し 〇平成元年の開館以来304	の主な理 て、 人と ル ル と ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト	由は、燃 問題を身 ての活用 を 発過し、	事価 なける おおお から	び格 問題に 問題して 問題かて が も で して い で い で い で い で い で い で い で い で い で い	便 器 注 ま き き き う き し き し き し き し き し き し き し き し	試料金のこもらえるごいくめがある。ご施設内	修工事で 増や1階 るよう ⁷ 要がある 外の設(の完了によ ロビーの な施設運営 る。 備や備品も	り、維持社 フリーWiFi 含を行ってい	導入によ いく必要が
考し問題点・課	令和4年度は、令和3年原 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 〇人権施策推進拠点とし ある。また、地域の交流 〇施設の利用率向上に向し	の主な理 て、 人と ル ル と ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト	由は、燃 問題を身 ての活用 を 発過し、	事価 なける おおお から	び格 問題に 問題して 問題かて が も で して い で い で い で い で い で い で い で い で い で い	便 器 注 ま き き き う き し き し き し き し き し き し き し き し	試料金のこもらえるごいくめがある。ご施設内	修工事で 増や1階 るよう ⁷ 要がある 外の設(の完了によ ロビーの な施設運営 る。 備や備品も	り、維持社 フリーWiFi 含を行ってい	導入によ いく必要が
考 問題点・	令和4年度は、令和3年原 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 〇人権施策推進拠点とし ある。また、地域の交流 〇施設の利用率向上に向し 〇平成元年の開館以来304	の主な理 て、 人と ル ル と ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト	由は、燃 問題を身 ての活用 を 発過し、	事価 なける おおお から	び格 問題に 問題して 問題かて が も で して い で い で い で い で い で い で い で い で い で い	便 器 注 ま き き き う き し き し き し き し き し き し き し き し	試料金のこもらえるごいくめがある。ご施設内	修工事で 増や1階 るよう ⁷ 要がある 外の設(の完了によ ロビーの な施設運営 る。 備や備品も	り、維持社 フリーWiFi 含を行ってい	導入によ いく必要が
考問題点・課題	令和4年度は、令和3年度 少している。物件費の増 <u>る通信料等の増である。</u> 〇人権施策推進拠点として ある。また、地域の交流 の施設の利用率向上に向し 〇平成元年の開館以来30年 大規模改修を含めた改修	の主な理 て、 人と ル ル と ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト	由は、燃 問題を身 ての活用 を 発過し、	事価 なける おおお から	び格 問題に 問題して 問題かて が も で して い で い で い で い で い で い で い で い で い で い	便 器 注 ま き き き う き し き し き し き し き し き し き し き し	試料金のこもらえるごいるのごかるのご施設内	修工事で 増や1階 るよう ⁷ 要がある 外の設(の完了によ ロビーの な施設運営 る。 備や備品も	り、維持社 フリーWiFi 含を行ってい	導入によ いく必要が
考問題点・課題	令和4年度は、令和3年原 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 〇人権施策推進拠点とし ある。また、地域の交流 〇施設の利用率向上に向し 〇平成元年の開館以来304	の主な理 て、 人と ル ル と ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト	由は、燃 問題を身 ての活用 を 発過し、	事価 なける おおお から	び格 問題に 問題して 問題かて が も で して い で い で い で い で い で い で い で い で い で い	便 器 注 ま き き き う き し き し き し き し き し き し き し き し	試料金のこもらえるごいるのごかるのご施設内	修工事で 増や1階 るよう ⁷ 要がある 外の設(の完了によ ロビーの な施設運営 る。 備や備品も	り、維持社 フリーWiFi 含を行ってい	導入によ いく必要が
考問題点・課題	令和4年度は、令和3年度 少している。物件費の増 <u>る通信料等の増である。</u> 〇人権施策推進拠点として ある。また、地域の交流 の施設の利用率向上に向し 〇平成元年の開館以来30年 大規模改修を含めた改修	の主な理 て処けませる 人とRが 大とRが 大との 大手を しんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん	由は、燃 問題を身 ての活用 を 発過し、	事料 近方を施買 令	- び格 問に討のえ ト高 題つし老を といて朽計 レてい化画 和4年度I		記料金の記している。 こいある設内に にないく。	修工事で 増や1階 るよう ⁷ 要がある 外の設(の完了によ たロビーの な施設運営 る。 構み 構品も ある。	り、維持社 フリーWiFi 含を行ってい	導入によいく必要がいており、
考問題点・課題	令和4年度は、令和3年度 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 〇人権施策推進拠点とし ある。また、地域の交流 の施設の利用率向上に向し 〇平成元年の開館以来300 大規模改修を含めた改修 点・課題の改善策	の主な て処ナ 大とP 大とP は で が は は は は は は は は は は は は は	由は、燃 問題を身 ての活用 を 発過し、	事料 近方を施買 令	- び格 問に討のえ ト高 題つし老を といて朽計 してい化画		記料金の記している。 こいある設内に にないく。	修工事で 増や1階 るよう ⁷ 要がある 外の設(か完了によった。 たロビーの な施設運営 る。 構品も ある。	り、維持 フリーWiFi まを行ってい 3 3 3 3 4 7 7 8 7 8 7 7 8 7 7 8 7 8 7 7 8 7 7 7 8 7 7 7 7 7 7 8 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 7 8 7 8 8 7 8 8 7 8 8 7 8	導入によ いく必要が きており、 り組む
考問題点・課題	令和4年度は、令和3年度 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 〇人権施策推進拠点をとした。 ある。また、地域の交流の 〇平成元年の開館以来30年 大規模改修を含めた改修 点・課題の改善策 令和4年度に取り終 具体的な改善内	の主な て処ナ年や 人とP上 様しRが、 む容	由 問で方経備 BR	事料 近方を施買 令改 令改	び格 問に討のえ を計 の 和 4 年 内 で の た を 計 の に れ で り の し そ き い て い て い て の り れ も も も う し る も る も る も る も る も る も る も る も る も る	便よ て検くと的 実び まよび ままび ここよ	記料金の記している。 これの記している。 になる。 たにのて、 た価	修工事で出ている。	の完了によ たロビーの な施設運営 る。 構品も ある。 令和5年原 具体	り、維持 フリーWiFi 含を行ってい 3 3 3 3 4 6 5 3 8 6 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7	導入によ いく必要が きており、 り組む 容
考問題点・課題	令和4年度は、令和3年度 少している。物件費の増 る通信料等の増である。 〇人権施策推進域の点とした。 ある。のが のがである。 〇人権施策がは ののでは のがである。 〇本では のがである。 〇本では のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは の	の て処ナ年や は 人と P 上繕 を 様し R が、 た た	由は、燃見の法過品の法過品の法過品の事業を表現の事業を表現の表現の場の事業を表現の事業を表現しませます。	事料 近方を施買 つる やり	- び格 問に討のえ 和善 ト高 題つし老を 年内 といて朽計 年内 に してい化画 度 ま	便よ て検くと的 こおい 実よ て	気料金の: たいまた たん たん たん たん たん こう たん こう たん こう たん こう	修増 る要 外必要がる	の 完 了 一 施 。 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 。 で も る 。 も る る る る る る る る る る る る る る る る	り、維持 フリーで を ・ 労 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	導入によ いく必要が きており、 り組む 容 して考
考 問題点・課題 問	令和4年度は、令和3年度 少しの 会の増生を の 会の増生を の 会の 会の 会に 会の 会に 会の 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に	か て処ナ年や は は 大点、以修 は 大と P 上繕 を えもし たに	由 問で方経備 調の法過品 事、 ままなし等 でため、 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	事料 近方を施買 和パカラ かけれ	- び格 問に討のえ	便よ て検くと的 こら ハお洋電 えし要も行 施び 考て にか にご まま てい まま てい まま てい まま てい きょう てい かい きょう てい かい こう いい いい こう いい こう いい こう いい こう こう いい こう にん こう こう いい こう こう にん こう	気料 もいあ施い た価 て平 もくる設い た価 ものの	修増 る要 外必 タッション かい かっこう いっこう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょ	の 完 に の 完 に の に で し で し で し で し で し で し で し で し で も る の も る る の も る り る り る り る し る る り る る る る る る る る る	り、 が りい が が が が が が が が が が が が が	導入によ いく必要が きており、 り容しして考い。
考問題点・課題	令和4年度は、令和3年度 小世界の 小世界の 小世界の 一世の 一世の 一世の 一世の 一世の 一世の 一世の 一世	か て処ナ年や は は 大点、以修 は 大と P 上繕 を えもし たに	由 問で方経備 事、よ 題の法過品 たラ たう やか ありまし かり かり かり かり あい あい あい かり	事料 近方を施買 和、ツやパセー から カー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー	-び格 問に討のえ 和善	便よ て検くと的 こら いおド 注電 えし要も行 施び 考てや し評 え「「	気料 もいあ施い た価 て平子 もくる設い た価 も和供 もの向に	修増 る要 外必 うべけ しょう かい ひまが の 要 が こう	の 京 で で で で で で で で で で で で で	り、 が りり、 が が が が が が が が が が が が が	導入によ いく必要が きており、 り容しして考い。
考 問題点・課題 問	令和4年度は、令和3年度 少しの 会の増生を の 会の増生を の 会の 会の 会に 会の 会に 会の 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に 会に	か て処ナ年や は は 大点、以修 は 大と P 上繕 を えもし たに	由 問で方経備 事、よ 題の法過品 たラ たう やか ありまし かり かり かり かり あい あい あい かり	事料 近方を施買 和、ツやパセー から カー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー	- び格 問に討のえ	便よ て検くと的 こら いおド 注電 えし要も行 施び 考てや し評 え「「	気料 もいあ施い た価 て平子 もくる設い た価 も和供 もの向に	修増 る要 外必 うべけ しょう かい ひまが の 要 が こう	の 完 に の 完 に の に で し で し で し で し で し で し で し で し で も る の も る る の も る り る り る り る し る る り る る る る る る る る る	り、 が りり、 が が が が が が が が が が が が が	導入によ いく必要が きており、 り容しして考い。
考 問題点・課題 問	令和4年度は、令和3年度は、令和3年度は、令者のの場合のの場合のの場合のの場合のの場合のの場合のの場合のであると、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	の て処ナ年や <u>祖容 見と容ま 、点、以修</u> む 据ととな 人とP上繕 <u>えもなる ないである。</u> たにる	由 問て方経備 事、よ	事料 近方を施買 和、ック かパセイ かん かんしょう かんしょく かんしょく かんしょ かんしょく かんしゃ かんしょく かんしゃ かんしゃ かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしょく かんしょく かんしん かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしゃく かんしん かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしん かんしゃく かんしん かんしん かんしん かんしん しんしん かんしん しんしん かんしん しんしん かんしん しんしん	-び格 問に討のえ 和4 権ルジパト高 題つし老を 年内 に展ボネージパー してい化画	便よ て検くと的 こお ハおドー 器る 考討必とに 実よ てい」を	私料 もいあ施い た価 て平子し もの人の この	修増 る要 外必 うべけ といと	の 京 で で で で で で で で で で で で で	り、 が りり、 を が が が が が の の し に を の の の に を の の の に を の の の の の の の の の の の の の	導入によいく かんし
考 問題点・課題 問	令和4年度は、令和3年度は、令和3年度は、令費の3年度は、令費の3年度は物である。 (本)	か て処ナ年や <u>祖容</u> 見と容 用ま 、点、以修 む 据とと 団な 人と P 上繕 えもな 体 たにる や	由 問て方経備 事、よ 他 題の法過品 たラ人 たう人 が 身用と、の 平めメ権 新	事料 近方を施買 和、ック たのでは、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ のト高 題つし老を 年内 に展ボネ 所で 上のででです。 してい化画 まる はいてが出す。 日本 はいてがれます。 ロール できる かいしょう はいかい かいしょう はいかい かいしょう はいい してい 化画 はい	便よ て検くと的こる ハおドー 果 まる 考討必とに実よ てい」を の あび 考てや展 講 えし要も行 し評 え「「示 座	気料 もいあ施て た価 て平子し 開発 らくる設い ちの向に ものの向に により はいかい こと こうり はいかい こと こうり はいかい こと こうり はいかい こうしゅう こうしゅう はいかい こうしゅう こうしゅう はいかい こうしゅう はいかい こうしゅう はいかい こうしゅう こう	修増 る要 外必 うべけ に しんてて	の 京 で で で で で で で で で で で で で	りリー 行 化 以な 近う分す ト で て 取内 題ネや を を かりり から どうがった から ないから ないから どうかん だんがん だんがん だんがん だんがん かん だんがん かん	導入によ いく な 必要 り、 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1
考 問題点・課題 問	令和3年度は、令和3年度は、令者のの 令者のの。 令者のの。 令者のの。 令者のの。 一、件である。 一、件である。 一、作ののの。 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	の て処ナ年や 祖容 見と容 用とな 人とP上繕 えもな 体もせ	由 問て方経備 事、よ 他、は 題の法過品 たラ人 る が 身用と、の 平めメ権 新会	事料 近方を施買 和、ック たのでは、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句	-び格 問に討のえ 和4 権ルジパト高 題つし老を 年内 に展ボネージパー してい化画	便よ て検くと的 こお ハおドー 果 まる 考討必とに 実よ てい」を の まてや展 講 えし要も行 し評 え「「示 座	気料 もいあ施て た価 て平子し 開発 らくる設い ちの向に ものの向に により はいかい こと こうり はいかい こと こうり はいかい こと こうり はいかい こうしゅう こうしゅう はいかい こうしゅう こうしゅう はいかい こうしゅう はいかい こうしゅう はいかい こうしゅう こう	修増 る要 外必 うべけ に 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の はる	り り う を	導入に よ が が が が が が が が が が が が が
考 問題点·課題 問 ①	令和3年度は、令和3年度は、令者の名を 令者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名と、作者の名の名と、作者の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名	の て処ナ年や 祖容 見と容 用とな 人とP上繕 えもな 体もせ	由 問て方経備 事、よ 他、は 題の法過品 たラ人 る が 身用と、の 平めメ権 新会	事料 近方を施買 和、ック たのでは、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ のト高 題つし老を 年内 に展ボネ 所で 上のででです。 してい化画 まる はいてが出す。 日本 はいてがれます。 ロール できる かいしょう はいかい かいしょう はいかい かいしょう はいい してい 化画 はい	便よ て検くと的 こお ハおドー 果 まる 考討必とに 実よ てい」を の まてや展 講 えし要も行 し評 え「「示 座	気料 もいあ施て た価 て平子し 開発 らくる設い ちの向に ものの向に により はいかい こと こうり はいかい こと こうり はいかい こと こうり はいかい こうしゅう こうしゅう はいかい こうしゅう こうしゅう はいかい こうしゅう はいかい こうしゅう はいかい こうしゅう こう	修増 る要 外必 う 、	の は る	り つ を	導入に よ が が が が が が が が が が が が が
考 問題点·課題 問 ①	令者のようでは、今和3年度は、令者のようでは、令者のようでは、令者を表現のでは、令者を表現のでは、中でのののでは、中でのののでは、中でののでは、中でののでは、中でののでは、中でのでは、中でののでは、中でののでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中	の て処ナ年や 祖容 見と容 用と竟主 、点、以修 む 据とと 団と整な 人とP上繕 えもな 体も備理 権しRが、 たにる やにに	由 問て方経備 事、よ 他、努は 題の法過品 たラ人 るた だろく るた	事料 近方を施買 和、ック た議及価 な法検設替 令改 リオース 低・	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視ト高 題つし老を 4件 に展ボネ 所聴 イ騰 といて朽計 年内 に展ボネ 所聴 してい化画 度容 つに してい化画 まる していれ	便よて検くと的こおいらドー 果室器る考討必とに実よ てい」を のの洋電えし要も行施び 考てや展 講利ごうでかけっし評 え「「示 座用	気料 もいあ施て た価 て平子し 開が もいあ施て も和供た 催あ らくる設い らの向。 にっ こう	修増 る要 外必 う、ナ よが の要 えいと 館団用 人ててた 磨の付き	の はる	り フ を 劣 と と と と と で と で い り リ か う と か ら か ら が ら か ら か ら が ら が ら か ら が ら が ら	導入 く て 組 し展い 近ら整 い で は で は で で で は で で で で で で で で で で で
考 問題点·課題 問 ①	令打動の では、	の て処ナ年や 祖容 見と容 用と竟 や主 、点、以修 む 据とと 団と整 修な 人とP上繕 えもな 体も備 繕理 権しRが、 たにる やにに 等	由 問て方経備 事、よ 他、努 をは 題の法過品 たラ人 るた だうく るた 平めメ権 新会。 利 の	事料 近方を施買 和、ック た議 用及価 な法検設替 令改 フィース 低・ の	- び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視 ト高 題つし老を 4内 に展ボネ 所聴 便な つにール 管覚 性に してい化画 度容 つにール 管覚 性に してい化画 100	便よて検くと的こおいおドー 果室中華器る考討必とに実よてい」をのの上注電えし要も行施び 考てや展 講利の上たでかけった	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めの え必。内くたの向。 にっ 卓野 もの向。 はっ 卓野 ものの はいます。	修増 る要 外必 「う	の はる	り フ を	導入 く て 組 し展い 道 を 保 で しま が で は で で は で で で で で で で で で で で で で で
考 問題点·課題 問 ① ② ②	令者のようでは、今和3年度は、令者のようでは、令者のようでは、令者を表現のでは、令者を表現のでは、中でのののでは、中でのののでは、中でののでは、中でののでは、中でののでは、中でのでは、中でののでは、中でののでは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中	の て処ナ年や 祖容 見と容 用と竟 や主 、点、以修 む 据とと 団と整 修な 人とP上繕 えもな 体も備 繕理 権しRが、 たにる やにに 等	由 問て方経備 事、よ 他、努 をは 題の法過品 たラ人 るた だうく るた 平めメ権 新会。 利 の	事料 近方を施買 和、ック た議 用及価 な法検設替 令改 フィース 低・ の	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視ト高 題つし老を 4件 に展ボネ 所聴 イ騰 といて朽計 年内 に展ボネ 所聴 してい化画 度容 つに してい化画 まる していれ	便よて検くと的こおいおドー 果室中華器る考討必とに実よてい」をのの上注電えし要も行施び 考てや展 講利の上たでかけった	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めの え必。内くたの向。 にっ 卓野 もの向。 はっ 卓野 ものの はいます。	修増 る要 外必 「う	の はる	り フ を 劣 と と と と と で と で い り リ か う と か ら か ら が ら か ら か ら が ら が ら か ら が ら が ら	導入 く て 組 し展い 道 を 保 で しま が で は で で は で で で で で で で で で で で で で で
考 問題点·課題 問 ①	令打動の では、	の て処ナ年や 祖容 見と容 用と竟 や主 、点、以修 む 据とと 団と整 修な 人とP上繕 えもな 体も備 繕理 権しRが、 たにる やにに 等	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利は 題の法過品 たラ人 るた 台 から から で話なし等 から から から で話なし等 アめメ権 新会。 利の 別 身用と、の であり は から かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱ かっぱい かっぱい	事料 近方を施買 和、ック た議 用更及価 な法検設替 令改 フィース 低・ のや	- び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視 ト高 題つし老を 4内 に展ボネ 所聴 便な つにール 管覚 性に してい化画 度容 つにール 管覚 性に してい化画 100	便よて検くと的こる いおドー 果室句照器る考討必とに実よ てい」を のの 上明洋電えし要も行施び 考てや展 講利ののののし評 え「「示 座用たLE	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めのの え必。内くたの向え必。内くらくる設いらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	修増 る要 外必 う	の なる	り フ を	導 へ き
考 問題点·課題 問 ① ② ②	令打動の では、	の て処ナ年や 祖容 見と容 用と竟 や主 、点、以修 む 据とと 団と整 修な 人とP上繕 えもな 体も備 繕理 権しRが、 たにる やにに 等	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利は 題の法過品 たラ人 るた 台た、 を活なし等 ため メ権 新会。 利のほ 別 身用と、の	事料 近方を施買 和、ック た議 用更及価 な法検設替 令改 フィース 低・ のや	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視 利ト朽ト高 題つし老を 4内 に展ボネ 所聴 便イ化 といて朽計 年内 に展ボネ 所聴 便イ化してい化画 度容 つにール 管覚 性レリ	便よて検くと的こる いおドー 果室句照器る考討必とに実よ てい」を のの 上明洋電えし要も行施び 考てや展 講利ののののし評 え「「示 座用たLE	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めのの え必。内くたの向え必。内くらくる設いらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	修増 る要 外必 うべナ 「	の なる	り フ を	導 へ き
考問題点·課題 問 ① ② ③	中の本のでは、 中であると、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力では、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 で、 に、 ののののののののののののののののののののののののののののののののの	か て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実及価 な法検設替 令3 フィース 低 のくれし	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行終らかりに る 卓行終	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き
考問題点·課題 問 ① ② ③	中の本のでは、 中であると、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力では、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 で、 に、 ののののののののののののののののののののののののののののののののの	の て処ナ年や 祖容 見と容 用と竟	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利は 題の法過品 たラ人 るた 台た、 を活なし等 ため メ権 新会。 利のほ 別 身用と、の	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実及価 な法検設替 令3 フィース 低 のくれし	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視 利ト朽ト高 題つし老を 4内 に展ボネ 所聴 便イ化 といて朽計 年内 に展ボネ 所聴 便イ化してい化画 度容 つにール 管覚 性レリ	便よて検くと的こる いおドー 果室句照器る考討必とに実よ てい」を のの 上明洋電えし要も行施び 考てや展 講利ののののし評 え「「示 座用たLE	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めのの え必。内くたの向え必。内くらくる設いらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらの向にらのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	修増 る要 外必 う	の なる	り フ を	導 へ き
考問題点·課題 問 ① ② ③	中の本のでは、 中であると、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力では、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 で、 に、 ののののののののののののののののののののののののののののののののの	か て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実及価 な法検設替 令3 フィース 低 のくれし	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行終らかりに る 卓行終	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き
考問題点·課題 問 ① ② ③	中の本のでは、 中であると、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力では、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 で、 に、 ののののののののののののののののののののののののののののののののの	か て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実及価 な法検設替 令3 フィース 低 のくれし	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行終らかりに る 卓行終	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き
考問題点·課題 問 ① ② ③	中の本のでは、 中であると、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力では、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 で、 に、 ののののののののののののののののののののののののののののののののの	か て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実及価 な法検設替 令3 フィース 低 のくれし	-び格 問に討のえ 和善 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行終らかりに る 卓行終	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き
考 問題点・課題 問 ① ② ③ 他区の実	中の名(内 中の名(内 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一	の て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命 区主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化 な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利 は 題の法過品 たラ人 るた 台た等 未 を活なし等 ため	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実 施及価 な法検設替 令改 ブイース 低・ のくえし	-び格 問に討のえ 和菩 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 20 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行終らかりに る 卓行終	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き
考問題点・課題問題①②③他区の実	中の本のでは、 中であると、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力のでは、 中で加い工力では、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 中で力が、 に、 で、 に、 ののののののののののののののののののののののののののののののののの	の て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命 区主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化 な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利 は 題の法過品 たラ人 るた 台た等 未 を活なし等 ため	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実 施及価 な法検設替 令改 ブイース 低・ のくえし	-び格 問に討のえ 和菩 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 20 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行総らの向。 しゅ 単行総	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き
考問題点・課題問題点・課題①②③他区の実議会	中の名(内 中の名(内 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一	の て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命 区主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化 な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利 は 題の法過品 たラ人 るた 台た等 未 を活なし等 ため	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実 施及価 な法検設替 令改 ブイース 低・ のくえし	-び格 問に討のえ 和菩 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 20 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行総らの向。 しゅ 単行総	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き
考問題点・課題問題点・課題①②③他区の実議会	中の名(内 中の名(内 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一	の て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命 区主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化 な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利 は 題の法過品 たラ人 るた 台た等 未 を活なし等 ため	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実 施及価 な法検設替 令改 ブイース 低・ のくえし	-び格 問に討のえ 和菩 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 20 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行総らの向。 しゅ 単行総	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き
考問題点・課題問題①②③他区の実	中の名(内 中の名(内 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の名)(大 ・ 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一 中の一	の て処ナ年や 日容 見と容 用と竟 や命 区主 、点、以修 む 据とと 団と整 修化 な 人とP上繕 えもな 体も備 繕及理 権しRが、 たにる やにに 等び	由 問て方経備 事、よ 他、努 を利 は 題の法過品 たラ人 るた 台た等 未 を活なし等 ため	事料 近方を施買 和、ック た議 用更か実 施及価 な法検設替 令改 ブイース 低・ のくえし	-び格 問に討のえ 和菩 権ルジパ の視 利ト朽た ト高 題つし老を 4冉 に展ボネ 所聴 便イ化。 20 レに してい化画 度容 つにール 管覚 性レし	便よて検くと的こる いおドー 果室句照と器る考討必とに実よ てい」を のの 上明自洋電えし要も行施び 考てや展 講利のの動こうででかにっし評 え「「示 座用たLEド	試料 もいあ施てた価 て平子し 開が めDア金 らくる設いもの向。 にっ 卓行総らの向。 しゅ 単行総	修増 る要 外必 う	の なる	りフ を 劣 以な 近う分す ト図すい 安施見いり そ 化 降改 な、かる なりいく 心設に維 T て に善 問パり。 どな環。 を点努 で 取内 題ネや をが境 確検め	導 へ き

															NOT
事務事	業コード		01-01	-27							○協働			財務	●人事
事務事	業名		人権	• 平和·	普及啓	発事業		担当	累名 者名		企画部総	務企画課	課長名 内線		中野 2271
主	業を構成す	- ス小車	業夕		01-10)-01	人権啓蒙	発事業費							
	算事業コー														
				± /	○ [左	· Б	1左座	`	_	7-‡- = Γ	1古光		7 40 121	H 0 411	体市
事務 引 開始 年	事業の種類		「規事業 53	(1978	·度 O		根拠			<u>と事業</u> :育及び人		それ以外		
終期記			i O無	<u>(</u>			年度	法令等			. 月及ひ入 12) 、人			判 9 る	运 律
実施基			令基準				●区独			<u> Z.</u> 画区		〇計		●非	計画
		分				」 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		口坐十	Р		. / J			95	山岡
	政評価	政策						ティの	形成						
争	業体系	施金	-				普及啓角								
目的	人権や	平和の	大切さ	を広く	く 普及	啓発する	5.				動団体に	対する補	助を行う	うこと	により、
対象 等		-						川地区人							
内容	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	朝人研啓絵・ 外の事コ和 明本の事コ和	権間実業ン団係事業のテ体	問題を 発力 (本語) 関連 (本語) 関連 (本語)	啓発週 発行 平和の 中展) 助	間パネル バラパネ	ル展、犯	罪被害者 、夏休 <i>み</i>	等支持	爰講: も平:	、人権週[演会) 和映画会、 、人権作]	東京空	産襲パネノ	レ展、	平和な
経過	平成13 平成26 平成28 平成30	年年年年年年年年年度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度度	人区平人人人平人区格報和権権権和権権	退人都。問推首教人間権市平題進長室権	宣和所旨会実問言れるののでは、一本ののでは、一本ののでは、一本ののでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、	実集 ル実策のを集 施号 展施定参小号 の 加学の ホーマ	見催 人権教 交1校・中 そ実		から、		学校2校 ·				
必要性	4 5 7	-		100人的	別 こ 「こ [・]	J61 C .	百及合:	光を極初	: L (=	夫他	し、区民 ²	い戦員の	人権思調	或 <i>()</i>)—	僧の向上
r+- +/-	(2-7	部委託)	(直営の均	易合 〇	常勤職員	Į	O ±	会計年度任	E用職員)		
実施 方法	八惟则							委託先 0円 委割			f聞印刷 経済新聞	西日暮	里専売所	等	<u> </u>
	事務事							指標の推							冶 印
指						2年度	3年度	4年度	5年原 見込。		目標値 (8年度)		指標に関		
(① <mark>人権がる</mark> 合 (%)	子られて	こいると	思う人	の割					70	100	(令和デ	亡年度80.	9%)	で未実施
標	② <mark>人権・□</mark>	P和事 業	美参加人	.数(人	.)	6, 028	29, 195	3, 880	4, 1	13	4, 898	講演会・ 室等の参	·映画会· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	パネル	展・人権教
(3														
		多事業(4	分類に	つい	へての説明	・意見	等		
	5年度		6	年度			- **							им.	
	推進		ŧ	准進		人権(り尊さや	半和の大	切さり	につ	いて区民	への晋及	な啓発を打	推進し	ていく。

											No2
											:: 千円)
	・決算額等の推移		29年度		30年度	元年度		F度	3年度	4年度	5年度
予算額			3, 18		3, 204	4, 02		, 552	3, 250	3, 144	3, 272
決算	額(5年度は見込み)		2, 55		2, 727	3, 47		, 536	1, 874	1, 978	3, 272
実	事項名(5年度は見込		29年度	ŧ	30年度	元年度		F度	3年度	4年度	5年度
績	人権週間講演会参加人数	(人)		75	143		59	0	54	99	104
の	区報特集号発行部数(部)		70, C	000	67, 000	64, 5	6 00	3, 800	62, 000	62, 000	62, 000
推											
移											
予算	・決算の内訳										
	令和3年度(決算)			令和	口4年度(決算)			令和5年	F度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節		主な事	頁	金額 (千円)	節		な事項	金額 (千円)
報償	性 人権啓発事業用講師謝礼等	0	報償費	人権型	8発事業用請	請師謝礼等	27	報償費	人権啓発導	事業用講師謝礼等	等 33
需用	費 食糧費・消耗品費・印刷製本費	404	需用費	食糧費	・消耗品費・日	印刷製本費	586	需用費	食糧費・消耗	ほ品費・印刷製本費	726
役務5	費 人権啓発事業用講師謝礼等	45	役務費	人権型	8発事業用請	師謝礼等	211	役務費	人権啓発導	事業用講師謝礼等	等 86
委託	料 区報製作委託等	1, 037	委託料	区報	製作委託	等	754	委託料	区報製作	乍委託等	1, 512
使用料	等 人権啓発事業用会場使用料等	26	使用料等	人権啓	発事業用会場	易使用料等	10	使用料等	人権啓発事	業用会場使用料等	99
負担金補助		362	負担金補助等	人権擁護	委員分担金・研	究会参加費等	390	負担金補助等	多れあい会食	輔助金・研究会参加費等	§ 816
	•			•			•	•	•	(単位	: 千円)
	勘定科目	3年度	4年	F度	差額		勘定科目		3年度	4年度	差額
	給与関係費	11, 9	22 12	2, 033	1	11 地	方税等		0	0	0
,_	物件費	1, 5	13	1, 561		48 国	庫支出会	È	0	0	0
行	維持補修費		0	0		0 7 都	支出金		515	370	▲ 145
政	行 扶助費		0	0		0 四分	担金及び:	負担金	0	0	0
	政 補助費等	3	62	417		55 人	用料及び	手数料	0	0	0
ス	費減価償却費		0	0		0 / そ	の他		0	0	0
+=1	用不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0		0 行	政収入合	計(a)	515	370	▲ 145
計質	賞与・退職給与引当金繰入額	2, 5	27	645	▲ 1, 8		支差額(a)-		15, 809		1, 523
算書	その他行政費用		0	0	,		収支差額		0	0	0
音	行政費用合計(b)	16, 3	24 14	4, 656	▲ 1.6		支差額(c)+		15, 809	▲ 14, 286	1, 523
	特別費用(g)	,	0	0			収入(f)		0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0				e) + (h)	15, 809	▲ 14, 286	1, 523
/#	令和4年度は、新型コロ	ナウイル	ノス感染	拡大に	より令和						再開した
備考	ため、物件費や補助費が対										
75	が令和4年度はなかっため										
問	○子どものいじめ・虐待な										
題	に対して正しい知識と理解										
点	〇社会情勢の変化等に伴い					人権課題	頃につい	て、最新	新情報の判	収集に努め、	人権推進
•	指針や普及啓発事業等に加	支映して	いく必要	があ	る。						
課											
題											
問題	 点・課題の改善策										
口及											
	令和4年度に取り約				和4年度					度以降に取り	
	具体的な改善内	谷		갆	対善内容は	るよび評	価		具体	的な改善内容	ř
	引き続き、社会情勢を見	支映した.	人人	権パス	トル展の作	也、憲法	週間パス	さ 社	会情勢を	反映した人材	を課題を
	権課題について、より多く			や東京	空襲パス	ネル展に	おいて、			な機会を捉え	
1	関心を持ってもらえる事業	業となる。			平和や戦争		るパネル		fい、併せ	て相談先の	問知を図
	う工夫していく。		を作	成し朝	啓発を図っ	った。		る。			
	多様化する人権課題につ	ついて :	<u></u>	BTのを	テーマに	宝施 □ 1	た人権调	問 서	会信熱や	国の動き等	を注視
	率的・効果的な啓発ができ				, 、、, c は、アク					る人権課題に	
2	内の関係部署と連携を図				s、ノノ g会に併t					・や啓発事業に	
		• (異を行っ <i>†</i>				/ (°	/ 5 7 / 1	
			— <u> </u>	5 JEN					+ 5		
3											
•											

他区の実 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 区) 人権週間に合わせて、講演や啓発映画上映、人権パネル展等を実施している。

インターネット上での書き込み 平和事業について

況議 平成29年11月会議 平成30年9月会議 平成30年11月会議 平成30年11月会議 令和4年2月会議

非暴力宣言について 平和都市宣言の理念、平和事業への取組状況について

No1 戦略プラン ○協働 ○業務 ○財務 事務事業コード 〇人事 男女平等推進センター管理運営事 部課名 総務企画部総務企画課 課長名 中野 事務事業名 担当者名 山本 内線 01-01-01 男女平等推進センター管理費 事務事業を構成する小事業名 男女平等推進センター運営費 男女平等推進センター営繕費 01-02-01 及び予算事業コード(5年度) 02-01-01 事務事業の種類 〇 新規事業 (O 5年度 〇 4年度) 〇 建設事業 ● それ以外の継続事業)年度 根拠 荒川区男女平等推進センター条例、男女平等推 開始年度 1996 平成 8 進センター予約手続きに関する要綱 年度 終期設定 法令等 ○有●無 実施基準 〇 法令基準内 〇 都基準内 ● 区独自基準 計画区分 ○計画 ● 非計画 分野 文化創造都市 行政評価 政策 活力ある地域コミュニティの形成 事業体系 人権・平和の普及啓発 施策 女性の社会的地位の向上及び社会参画を促進し、男女共同参画社会の実現を目指すための拠点とする。 また、区民の相互交流及び自主活動の場として施設を維持管理する。 目的 男女平等推進団体、一般団体、区民 等 対象者 (1) 運営事務 ①団体・個人利用の申請受付 ②事業の実施 ・交流・活動の場の提供 ・荒川区女性団体の会に対する補助金交付 ③男女共同参画関連の図書・関連事業の充実及び貸出 内容 (2) 施設の維持管理(補修・改修工事)※直近実績 平成29年度:地下ホール周辺カーペット張替 令和2年度:地下ホール空調設備改修工事 ※令和2年度から、「男女平等推進センター①管理費②運営事業③営繕事業」を統合 本シートの予算・決算額について、30年度までは①管理費のみの金額 平成 6年10月 建設工事着工 平成 8年 3月 建設工事竣工 平成 8年 7月 男女平等推進センター (アクト21) 開設 経過 女性の社会的地位の向上と社会参画の促進及び男女共同参画社会の実現を図るための拠点(核)とし て、また、区民相互の交流を推進するコミュニティ施設として維持する必要性は高い。 必要性 ○ 会計年度任用職員) (2一部委託 実施 ・受付事務等業務委託(夜間・休日) 委託料:9,011,904円 委託先:㈱後藤ビルサービス 方法 - 清掃業務委託 委託料: 3,598,856円 委託先: オーサム(株) 指標の推移 事務事業の成果とする指標名 指標に関する説明 5年度 目標値 指 3年度 4年度 2年度 見込み (8年度) 3年度は2か月ワクチン会場・4年 ① 年間利用者数(人) 16, 502 41, 357 51, 990 39, 192 43, 132 度は年間PCR検査で使用 842 1,795 2, 493 1,776 1,953 (2) 年間団体利用件数 (件) 標 1,415 1, 237 1, 267 1,312 図書コーナー蔵書数(冊) 1, 282 3 事務事業の分類 分類についての説明・意見等 5年度 6年度 男女共同参画社会の実現をめざす拠点施設として、更なる効率的運営を 行う。 継続 継続

												(畄人	No2 立:千円)
予算	• %	央算額等の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		29年月	美	30年度	元	年度	2年	度	3年度	4年度	5年度
予算				12, 10		12, 370		3, 898	41,	966	26, 030	27, 858	49, 913
	額	(5年度は見込み)		11, 40		12, 145		2, 658		450	24, 613	27, 293	49, 913
実		事項名(5年度は見込	み)	29年月		30年度		年度		度	3年度	4年度	5年度
		設利用料収入	L 40 = 1 >		568	4, 088		3, 592		723	3, 074		3, 584
が推	机片	用件数(ホール・会議室・創作	F至総計)	Ι,	705	1, 776		1, 598	8	842	1, 795	2, 493	1, 613
移													
	. :	 央算の内訳											
J JT		《弄》》,181、 令和3年度(決算)			令和	04年度(決算	[)			令和5:	年度 (予算)	
節		主な事項	金額(千円)	節	I	主な事			盆額(千円)	節		Eな事項	金額(千円)
報酬		非常勤報酬・手当・共済費・旅費	4, 390	報酬等	非常勤業	報酬・手当・丼	共済費・	·旅費	4, 280	報酬等	手 非常勤報酬	・手当・共済費・旅	株費 4, 279
需用		電気料金等	4, 730	需用費		料金等		(6, 979	需用費			9, 784
		電話料金等	494	役務費		料金等				役務費			710
		受付委託、清掃委託等						七等 1				毛、清掃委託 概 <i>集</i> # #/	
		軽印刷機賃借料 補助金・償還金	198 39	使用料等 負担金補助等		刷機賃借 金・償還			198 109		等 軽印刷		198 19, 734
貝担並補助	明寺		39	貝担並補助寺	無助	立 関 限	<u>जं</u>		109	上 争 胡 貝 負 担 金 補 助	費 工事請	<u>貝貝</u> ▪償還金	19, 734
					1					my	川川川立		立:千円)
		勘定科目	3年度	44	 F度	差額	T	勘	定科目		3年度	4年度	差額
		給与関係費	11, 6		1, 684		57		<u>元</u> 元税等		0	_	0
<i>2</i> -		物件費	19, 1	01 2	1, 142		41	_ 国庫	支出金	È	C		0
行政		維持補修費	1, 2		1, 915	6	70 1		出金		C	•	0
政コ		扶助費		0	0		0 収	v ——	金及び負		0.074	-	0
ス		補助費等	05.0	39	109		70	`	料及び	手数料	3, 074		1, 583
 		減価償却費 不納欠損・貸倒引当金繰入額	25, 9	0 2	5, 952 0		0	その		=L (a)	73 3, 147		44 1, 627
計	т	賞与・退職給与引当金繰入額	1, 5	•	413				(収入合 差額(a)-(<u>3, 147</u> ▲ 56, 406	,	1, 627 ▲ 35
算		その他行政費用	1, 0	0	- 413	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			支差額		1 30, 400		▲ 33
書		行政費用合計(b)	59, 5	•	1, 215				差額(c)+(▲ 56, 446	<u> </u>
	特	別費用(g)	33, 5	0	0	 		寺別収		, ,,	<u> </u>		0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		0 #	当期収支	支差額(e)+(h)	▲ 56, 410	▲ 56, 446	▲ 36
備		4年度は3年度と比べ、											
考		、交流コーナーの公衆領									が増加した	:。また、PC	R検査会場
		<u>の施設利用の増加により</u> 男女共同参画の推進拠が									ンターの	利田窓の向	- 左図って
問題		ラス六向多画の16年20/2 く必要がある。	m C O C	07 JEE 93 70	***	主切古元	/D 3/J	ינויטנ	0.7573	5, E	J J 0),	M + • ✓ • • 1	
題点		平成8年の開設から27年	が経過し	ており	、施討	と・設備の	り老村	朽化が	進んで	いるか	こめ、計画	前的に改修・	修繕をし
•	て	いく必要がある。											
課													
題													
問題	点	・課題の改善策											
1.3.2.			n + v			· 和左 庄 /	- +	佐 し ナ			△和□	中い1次1-取1	18日ナン
		令和4年度に取り約 具体的な改善内				·和4年度り 対善内容も						度以降に取り 的な改善内	
	立口	型コロナウイルス感染		성 연호						П 1466. 4		いない音が	
		空コロナワイルへ燃業! をとりながら、センタ-										ミ防止対束で よ施設運営を	
1		を図っていく。	07.H W			ったうえ゛						で記している。これでは、一の利用率	
				した							っていく。		
	耂	朽化に伴う修繕は、優秀	井順位	実 雨水	瀘溫;	ポンプ修約	進わ	消防田	記借係	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5年に伴っ	5修繕は、優	-
		時期を考えながら実施し				万化に伴っ						/ 吟幅は、後 きえながら実	
2	ح	もに、計画的に改修・さ				••			· ·	< .	とともに、	計画的に改	
	る	よう検討する。								が゛	できるよう	検討する。	
				1									
3													
	L			L									
1. 他		(実施 22	区	 未実	施	0	D	<u> </u>	不明	月	0	区)	
施状況の実		センター実施区22区内記											1 3区)
次の			,, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	I	- 、 ム		_ (1	~- E	· - = = +1	.,	, 18 V B	工口中汉外人	. • — / 1
‴実													
2口 章羊													

| 況(要旨)

		11.		101 01 0	_			wh =		- 1	- 11/2 -		= 1 = 4	NUI
事務	事多	業コード		01-01-3	2					/ ●協働			財務	○ 人事
事務	事美	業名		男女共同	司参画啓勢	羌・ 相談			者名 山			内線		中野
車致す	= **	を構成すん	2 小車	学 夕	01-0	2-02	男女平等	等推進セ	ンター』	運営費 (啓発	そ・相談事	業)	-	
		事業コー												
		業の種類			(〇 5年	F度 O)	O	設事業		それ以タ	外の継	続事業
開始。			平成	8 (199	6)		根拠	世田	区男女平等	444い	夕 — 冬 () 	体行担 則
終期記			〇有	無無	()	年度	法令等	וילטול		推進じン	ノ 木 i	7·1 \ 1□1	ルビーコス元兵コ
実施	基丝	隼	〇法	令基準内	0 都	基準内	●区独	自基準	計画	区分	O 計i	画	● 非	計画
4=	- т <i>Ь</i>	- = - 1 / - - -	分里	予 V	文化	創造都市								
		[評価 体系	政領	〔 10	活力	ある地域	コミュニ	ニティのチ	形成					
7	*未	神术	施領	〔 06	人権	平和の	普及啓角	Ě						
目的		区民に対	する	啓発事業	を計画的					画社会の実現 画社会づく「			その意	識変革と
対象等	者	│ 男女平 │ │	等推	進団体、	区民等									
内容	7	る。 清相金 T B 配国 3 4 5 6) ・事 22 諸者都 、共め 渡の・(ナ他 執着	、次のよ 実会の開催 第4水31年 が開催 が開催 が開催 が開催 が開催 が開催 が開催 が開催	うな啓発 崔 ①こころ。	事業 生 時) 義是フル き 第 4 り 会供 レ 推実 ト 及	● ・ D ∨ な・ 金・ 16時・ の作成	いる。 にんでもれ 水金:14 ~18時 で、配布	目談(平 寺30分~	区民に対す。 成20年に充 ·20時、第2 <u>-</u> 約	:実、改称	5)第1才	く:17時	;∼20時、
経過	<u>司</u>	平成28年 平成31年 令和 3年 令和 4年	E4月 E4月 E7月 E11月 E31月 E15 E4月	荒女荒荒荒荒し誰共同川性川川川川 Gも同性の区域をある。	配偶者暴力	参回か参りを出く進いからからない。 かられる いっぱん きゅうせい きゅうきょう るじ 制 かいまい きゅうしょう かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいま	推22 及推援推 こ第度進回び進セ進 と5 開計へ被計ン計 が次始 でいかい	回(第2 第2 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1 第1	ころと生 のための)策定)策定	き方・DV 計画策定 見を目指す実	行プラン	,~荒川		
必要怕	生	情報発信	を行	っていく		る。また				の実現を図るした配偶者も				
⇔ ₩	_	(2一部	委託)	(直営の均	易合 〇	常勤職員	C	会計年度任	£用職員)		
実施		・アクト	-21情	報誌制作	業務委託	委託米	斗: 2,538	8,800円	委託先	: (株)ドゥ・	アーバン	•		
方法	7													
指		事務事業	の成績	果とする	指標名	2年度	3年度	指標の推 4年度	移 5年度 見込み	目標値 (8年度)	- 排	信標に関	する記	说明
	1	男女の地	位の平	等意識(家庭)				المراجعة المراجعة	(0平度)	令和2~5:		:論調査	で未実施
	•	(%)									(元年度は	133.8%)		
標	2	審議会等合(%)	におけ	る女性委	員数の割	23. 3	24. 9	24. 9	24. 9	32			, -	-
	3	講座、講			(人)	500	44, 735	110, 371	70, 000	1, 600	3年度から 開催によ	長期間(り参加者	さよるが増	パネル展示 加。
		事務	事業0	D分類					- 1軽台	いての説明	. 音目笙	Ε		
	5	年度		6年	<u></u>			,	リスストー	ノロ・こ ロノ 記しげ	」。尼元寺			
	į	推進		推注	<u>隹</u>					区男女共同参 更に男女共				

												/ W LL	No2
マケ		は存むなの生物		20年	盘【	20左座	二左	虚	り左	#	2左座		: 千円)
<u></u> 予算		決算額等の推移		29年 5, 7		30年度 6,525	元年	度 788	2年	175	3年度 6,664	4年度 6, 285	5年度 6,407
		(5年度は見込み)		5, 3		6, 061		229		831	6, 428	5, 953	6, 407
	计	事項名(5年度は見込	7 , \	29年		30年度	 元年		2年		3年度	4年度	5年度
実	te	<u> </u>	<i>ማ)</i>	29平	及 335	351	九牛	<u>没</u> 358	2 4	336	<u>3年度</u> 241	279	299
績の		政件致 上上 上上, 上上,		1	559	1, 655	1	570		500	44, 435	111, 371	70, 000
推]//		١,	209	1, 000	١,	2		2	2	111, 3/1	70,000
移	_	ス			700	700		0		0	0	1, 000	1, 000
		決算の内訳			700	700				νI	U	1,000	1,000
」/ 异		次昇の内訳 令和3年度(決算)			수	和4年度(注 質)		1		全和5年	F度(予算)	
節	i	主な事項	金額(千円)	節	1 13	主な事		金額	〔千円〕	節		<u>「及 () 弄/ </u> [な事項	金額(千円)
報償		講師・相談員・委員謝礼	2, 856	報償費	: 議官	<u>エルチャ</u> 市・相談・多						<u>- ひずり</u> 談・委員謝礼	
需用		各種講座用事務費	491	需用費		重講座用事				<u>報便員</u> 需用費		E用事務費等	146
役務		オンライン相談通信料	28	役務費		主時/王/17 チ ノライン相詞				役務費		ン相談通信料	
委託		情報誌等作成委託等	3, 053	委託料		設誌等作成				委託料		手作成委託等	2, 937
X 11.	ተተ	旧机即分下沙安几寸	0, 000	女口。	I H +	ᇄᇞᇽᇆᄵ	女巾切		700	女ロレイフ		717/火女几寸	2, 307
								+					1
								+					\dagger
								+			_!	(単位	: 千円)
		勘定科目	3年度	4	年度	差額		勘定	定科目		3年度	4年度	差額
		給与関係費	4, 2		4, 25		41 :	也方			0	0	0
		物件費	3, 5		2, 92				支出金	,	0	0	0
行		維持補修費	-, -	0		0		郭支!			0	0	0
政	行	扶助費		0		0			<u>一一</u> ≳及び負	担金	0	0	0
		補助費等	2, 8	56	3, 02	27 1			料及び手		0	0	0
ス	費			0	,	0		その1			0	0	0
 -		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		0			又入合	t (a)	0	0	0
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	8	92	22	28 🔺 6	64 行政				▲ 11,530	▲ 10, 433	1, 097
書		その他行政費用		0		0	0 金融	虫収る	支差額	(d)	0	0	0
百		行政費用合計(b)	11, 5	30	10, 43	33 ▲ 1,0	97 通常	収支差	額(c)+(d)=(e)	▲ 11, 530	▲ 10, 433	1, 097
	特	f別費用(g)		0		0	0 特別				0	0	0
		別収支差額(f)-(g)=(h)		0		0	0 当期	収支:	差額(e))+(h)	▲ 11, 530	1 0, 433	1, 097
借		物件費の減は、3年度男	女共同参	画社会	推進	計画の策定	Eによ	り、言	計画書	の印刷	りや啓発促	進に係るリー	-フレッ
循		·作成委託を行ったが、4	年度は、	印刷象	本費	及び委託料	∮の額7	が減く	少した	ことに	こよる。		
_	Ļ	447-044-1-W2-1-E	10 <u>-</u> 1- 7 1-0	-11 /-/ 1		- B		== 18	<u> </u>		<u> </u>		l. a Thirti
問)生活での様々な悩みに										る万か迅速	かつ催実
題		:関係窓口につながるこ。)人々の意識や社会の習慣										田七井日名	ᇳᆉᄼᄲ
点	U #)人々の息誠や社会の音1 計画に基づきこれまで↓	貝の出に	び然 <i>と</i> ■ めか	してご	生別に奉 ノ	く 回 た	ある	収割を	が担思されて	諏かのり、 □ テいノ♪	男女共同学 西がちて	当任云推
		ミホド歯に基づさこれまで♪)従来の男女の概念だげ											の理解促し
題	進	と相談体制の充実を図っ						0.1		714.6.		- 107207	
問題	点	・課題の改善策											
		令和4年度に取り約 具体的な改善内3				令和4年度/ 改善内容/						度以降に取り 的な改善内容	
1	も上	・種相談について広く周9 に、庁内の関係部署等。 こ、相談者に適切な支援が 連携を図る。	と調整の	し、 う 庁	各種	ージや区割 相談の周9 I係部署と∃ I談対応に努	コに努 も連携	めた	ほか、	用しの影	レ広く周知 関係部署と	いて、広報妙 に努めるほか 調整し相談者 携を図る。	、庁内
	٠.	15-5-8 B / U = 6-7-1	// >// >= 146 -	_ 		· +				41.5	- // / 	=6-3% 14 == -41	

11	-1] 化丛 ;	成点 ・											
			年度に取 的な改き			令和4年度 改善内容 b				年度以降に 体的な改			
	1	各種相談にて もに、庁内の 上、相談者に 連携を図る。	関係部署	髻等と調整の	し、各種う 庁内の関	ページや区 種相談の周 類係部署と 目談対応に	ロに努め <i>た</i> も連携し、	こほか、 相談の	用し広くの関係部署	周知に努め	広報媒体を るほか、庁 相談者に支 る。	内	
	2	人権啓発・男 業を実施する ニーズに合っ	ため、訳	果題及び参加	者 と連動し	展を開催した動画コンス組の啓発で	ンテンツα	り制作等	の取組の記	果題及び参	男女共同参加者ニーズ 、検討する	CIE.	
	3	同性パートナ るとともに、 業を着実に推	理解促进	進事業や相談	事したほか、	-トナーシ [・] LGBTQsサロ - ☑った。		崖し、普		業や相談体	するための 制の充実を		
卞	他区	(実施	22	区	未実施	0	区	不明	0	区)			
<u>ار</u>	区	 相談窓口σ)設置区	22区									

- | 元間日銀刀旧欧文塚 ピンテー設画に 13位 | | 令和元年11月会議 | 男女共同参画社会推進計画の改定について | 令和2年2月会議 | ジェンダー平等の取組の強化 | 令和2年2月会議・6月会議・令和3年6月会議・9月会議・11月会議 | 令和4年2月会議 | パートナーシップ制度について | 令和3年9月会議・11月会議 | 申請書等の性別欄の見直しについて

ı										
		事務事業の成果とする指標名		指標の推移					+5.4m.1= 88.4+ 7.5¥ 00	
	指	事務争未の	耒の戍未とする指標名		3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)	指標に関する説明	
		① <mark>通訳クラウ </mark> 件	通訳クラウドサービス利用件数/ 牛		281	207	300	700		
	標	2								
		3								
I		事務事	業の分類	八粒についての説明、辛見笠						
I	5年度 6年度			- 分類についての説明・意見等						
		推進	推進	荒川区における外国人の国籍が多様化しており、窓口等の多言語対応の 必要性は高い。						

					\ 	<u>4 .]/ </u>			
29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			
497	6, 688	4, 544	3, 984	5, 592	3, 718	2, 535			
497	3, 175	4, 193	3, 315	1, 982	1, 667	2, 535			
29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度			
3	6	6	7	8	8	8			
	11	11	8	8	8	8			
予算・決算の内訳									
4	令和4年度(令和5年	15年度(予算)						
)	497 497 29年度 3	497 6,688 497 3,175 29年度 30年度 3 6 11	497 6,688 4,544 497 3,175 4,193 29年度 30年度 元年度 3 6 6 11 11	497 6,688 4,544 3,984 497 3,175 4,193 3,315 29年度 30年度 元年度 2年度 3 6 6 7 11 11 8	497 6,688 4,544 3,984 5,592 497 3,175 4,193 3,315 1,982 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 11 11 8 8	29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 497 6,688 4,544 3,984 5,592 3,718 497 3,175 4,193 3,315 1,982 1,667 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 3 6 6 7 8 8 11 11 8 8 8			

	令和3年度(決算)			令和4年度(決算)		令和5年度(予算)			
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	
	通訳クラウドサービス委託費	,	~ = 0 .~	通訳クラウドサービス委託費	3, 347	委託費	通訳クラウドサービス委託費	2, 165	
役務費	その他運搬費	370	役務費	その他運搬費	371	役務費	その他運搬費	370	

(単位:千円)

							\ -	
	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	給与関係費	1, 965	2, 457	492	地方税等	0	0	0
	物件費	1, 982	1, 667	▲ 315	』 国庫支出金	0	0	0
行	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
政	行 扶助費	0	0	0	政分担金及び負担金	0	0	0
コ	政補助費等	0	0	0	水 使用料及び手数料	0	0	0
	費減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
計	用不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
曾	賞与・退職給与引当金繰入額	416	132	▲ 284	行政収支差額(a)-(b)=(c)	4 , 363	▲ 4, 256	107
算書	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	4, 363	4, 256	▲ 107	通常収支差額(c)+(d)=(e)	4 , 363	4 , 256	107
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	4 , 363	4 , 256	107

備考

・外国人来庁者の動向や各窓口におけるタブレットの利用状況を把握し、適正な配置となるよう見直しを行う

課題

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む 具体的な改善内容				令和4年度に 改善内容お			令和5年度以降に取り組む 具体的な改善内容		
1	外国人来庁者の利用状況を把掘 正配置に努め、 を図る。	星し、タフ	ブレットの適	署を変更	記を鑑み、タ [するなど、			の利用状況	兄を踏まえ 置に努め、	やタブレット 、タブレット 区民サービス
2										
3										
施状況の実	(実施	21	区	未実施	1	区	不明	0	区)	
況(要旨)										